

舞鶴高専年報

- 2019年度の教育・研究活動 -



独立行政法人国立高等専門学校機構
舞鶴工業高等専門学校

第17号 2020年4月

舞鶴高専年報

—2019年度の教育・研究活動—



独立行政法人国立高等専門学校機構
舞鶴工業高等専門学校

第17号 2020年4月

はじめに

平成31年と令和元年は、年明けに新型コロナウイルスCOVID-19の感染が広がる前の、4月から12月にかけては、学校の授業や行事は比較的順調に進んでおりました。例年通りの様々な催事のほか、運動クラブでは、全国高専体育大会柔道競技女子の部 第3位入賞や、2019年世界女子ペタンク選手権大会出場、文化クラブでは、デザコン2019 in Tokyo 構造デザイン部門出場や、全国高専第30回プログラミングコンテスト競技部門出場などの数多くの活躍がありました。

また、本校が独立行政法人国立高等専門学校機構のキャンパスとして生まれ変わってから、16年が経ちました。独立行政法人は、国が定める中期目標に基づいて中期計画を策定し、これに従って業務が進められています。本年は平成31/令和元年～5年度までの第4期中期目標期間の初年度に当たります。

高専機構が教育の質保証を目指し整備を進めてきたモデルコアカリキュラム（MCC）が完成し、本校においてもMCCの本格実施に向けたカリキュラム改革が進められ、実施が始められました。Webシラバスへの移行、コンピュータによる試験実施手法（CBT）の試行などが行われ、教育におけるICTの導入を本格化させています。

機構本部は「GEAR5.0」と「COMPASS5.0」をスタートさせました。これまでの高専の個別活動を連携して面的に展開することが求められています。前者では課題解決のための研究・教育、後者では得られた成果を教育カリキュラムへ反映させます。

本校では、舞鶴市、KDDI株式会社と地域活性化を目的とした連携協定に基づいて、ICTを駆使した地域の課題解決に取り組んでいます。本年度が最終年度であるCOC+事業では、京都府北部の地域連携の取りまとめを行いました。北近畿地域の企業との連携については、北近畿地域連携会議と京都府中丹広域振興局ならびに舞鶴高専の企業協力会である地域テクノアカデミアなどの方々のご支援により、具体的な事業が着実に進んでおります。

文部科学省2019年度大学教育再生戦略推進費、Society 5.0に対応した高度技術人材育成事業として「KOSEN 型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築」が採択されました。放送大学、福島・長岡・福井・香川の4高専、長岡技術科学大学と協力して、全国の社会人を対象として、橋梁施設等の点検に関するリカレント教育を行います。世界が取り組んでいるSDGs（持続可能な開発目標）については、内閣府の地方創生SDGs官民連携プラットフォームのスタートアップ分科会のメンバーとなり、舞鶴高専の活動がワークショップのテーマとして取り上げられました。

科学技術振興機構のジュニアドクター育成塾「多自然居住地域における理工系人材の発掘と世界に羽ばたく人材育成プログラム」が採択されました。北近畿地域を主として小学5年～中学3年までの優れた理系人材を育てます。

上記の活動はありましたが、誠に残念ながら、年明けからの新型コロナウイルスの急激な蔓延により、入学式・開寮・授業の延期、クラブ活動などの学校行事の取り止めなどに至りました。

この様な状況の中ですが、今後とも、教育・研究・社会貢献の三分野に取り組みながら、地域志向教育の更なる充実、出前授業・公開講座の拡充、地方創生への貢献を行って参ります。この年報が皆様への本校の活動のご理解に役立てば幸いです。

校 長

内 海 康 雄

総目次

はじめに	2
総目次	4
学校運営	
目次	5
運営報告	7
学科・部門別教員一覧	73
教職員数	88
学校行事日程	89
教育活動	
目次	91
学生数	92
入試状況	95
就職状況(本科)	96
就職状況(専攻科)	97
進学状況(本科)	98
進学状況(専攻科)	98
進路先一覧(本科)	99
進路先一覧(専攻科)	100
卒業研究題目	101
専攻科特別研究題目	105
インターンシップ受入先(本科)	106
インターンシップ受入先(専攻科)	107
課外活動成績	108
課外活動に対する教員の活動状況	110
研究活動	
目次	112
研究業績	113
外部研究費受入	131
学協会委員及び学会・研究会等の開催協力	137
教職員の活動状況	139
地域・社会活動	
目次	140
地域・社会業績	141
地域共同テクノセンター技術相談	154
地域委員	157
報道記事	
目次	158
報道記事一覧	159

学 校 運 営

運営報告	7
教務委員会	7
学生委員会	1 1
学寮委員会	1 3
専攻科	1 6
人文科学部門	2 1
自然科学部門	2 4
機械工学科	2 6
電気情報工学科	2 8
電子制御工学科	3 0
建設システム工学科	3 2
図書館	3 4
情報科学センター	3 6
教育研究支援センター	3 8
地域共同テクノセンター	4 0
社会基盤メンテナンス教育センター（iMeC）	4 4
国際交流センター	4 6
知的財産委員会	4 8
生命倫理委員会	4 9
情報セキュリティ推進委員会	5 0
評価委員会	5 1
FD・ICT部会	5 2
広報委員会	5 4
教育プログラム（MDE）委員会	5 5
進路指導委員会	5 6
学生相談室	5 8
修学支援室	6 0
入試広報部会	6 1
留学生委員会	6 3
教育改善委員会	6 4
交通対策検討委員会	6 5
安全衛生委員会	6 6
緊急連絡／安否確認システムワーキンググループ	6 7
男女共同参画室	6 8
舞鶴高専ジュニアドクター育成塾	7 0
KOSEN型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築	7 2

学科・部門別教員一覧	73
教職員数	88
学校行事日程	89

教 務 委 員 会

教務主事 高谷 富也

1. 平成31（令和元）年度 教務委員会の役割分担について

役 割 名 等	担 当 委 員 名	備 考
総括	高谷	
副主事	奥村	
教務制度・教務規程・教育環境の見直し・整備等	高谷，教務主事補	第1合併教室 コール教室 図書館1F
学生の出欠確認システム (SharePointによる出席簿 等)	高谷，教務主事補・小林	
新カリキュラムへの対応（カリキュラム実施に伴う諸課題，空きコマ対応，AL，OH等）	高谷，教務主事補	内海・川田・ 加登参加
原級留置率の改善 (成績評価の情報交換・共有，学力補充，追試験等)	○児玉，奥村，石川，徳永	
Webシラバス，ポートフォリオによる学修評価 (MMCとルーブリック評価の対応)	○上杉，内海，田村，室巻	
アクティブ・ラーニングと教材開発 等	○室巻，上杉，小林	
定期試験・試験返却等到達度確認期間・時間割編成	○徳永，奥村，加登	
学年暦編成	○石川，川田	
英語教育の充実・強化（TOEIC対策）	○田村，小林	藤田参加
海外研修旅行	○石川，高谷	
学習支援（特別支援教育）	○児玉，上杉	
学習到達度試験，CBT到達度試験	○奥村，上杉，室巻，徳永	背戸柳参加
インターンシップ，キャリア（アントレプレナー）教育	○小林，高谷	
電子化による成績評価資料の保存体制の構築 【機関別認証評価（2010年度）対応】	高谷，小林，総務課長	
緊急連絡／安否確認システム作業部会	高谷，総務課長	
教務関係・自殺予防に関する講演会	高谷，田村	
その他教務上の問題対応	全委員（随時）	

敬称略，○チーフ責任者

2. モデルコアカリキュラム対応について

平成30年度1年生より，高専機構が進めている実験スキル評価シート（Excelファイル）について，1・2年生の実験スキルシートの作成保存を依頼した。また来年度の3年生の実験スキルシートの作成について依頼した。なお，この実験スキル評価シート（Excelファイル）は学生に自己評価をしてもらい，担当教員が学生から回収して電子媒体として保管する。

3. 高等教育における負担軽減対策について

大学進学者を有する保護者向けに学費の負担軽減が実施されるための条件の一つが実務経験のある教員による授業科目の配置である。実務経験者による科目単位数が本科4・5年次で7単位以上（必修，選択を問わない）設置していることと，Webシラバス上での記載と明示することが挙げられている。また，成績評価における指標の設定・公表と適切な実施が求められている。このため，本科4・5年次における実務経験者のリストを作成，実務経験者による科目のWebシラバスへの記述を行った。

4. 学生の出欠確認体制（電子版の出席簿）について

電子版出席簿（Office365におけるSharePoint上の出席簿）に教員が出欠状況を入力し、担任が学生の欠席を早期に把握できる体制を作った。4・5年生の各教室に点呼用のPC8台を設置し、教室から電子版出席簿に入力できるようにした。また、欠席した学生本人と担任・保護者にメールで連絡を行う体制を整備した。

5. 再試験制度の改訂について

従来の学力補充期間に代えて、4単位未満の不足単位により仮進級ができない学生を対象に学年末に実施する再試験制度を整備し、実施した。今年度の学年末再試験の対象者は22名で、うち18名が合格し、仮進級した。

6. 修学支援室の設置について

特別支援教育連絡協議会を廃止し、来年度より就学支援室を設置することとなった。

7. 成績評価資料の電子ファイル化について

来年度から成績評価資料を電子ファイルとして保存することが決まり、その体制が整備された。

8. CBT 実施について

昨年度よりCBT（Computer Base Test）が実施されている。

今年度、数学は1～3年、物理は1年、化学は2年がCBTを受験した。また専門科目のCBTにも参加し、電気情報工学科と電子制御工学科の4年が電気電子系のCBTを受験した。

9. 海外研修旅行・英語デーについて

(1) 海外研修旅行

令和元年11月12日（火）～16日（土）の4泊5日の海外研修旅行を実施した。

機械工学科：マレーシア、マレーシア日本国際工科院、日本電気硝子マレーシア法人

電気情報工学科：ベトナム、ハノイ交通通信大学、パナソニック・アプライアンス

電子制御工学科：台湾、国立聯合大学、台湾デンソー

建設システム工学科：ベトナム、ハノイ建設大学、ニャンタン大橋、ノイバイ国際空港、Takashi Niwa Architects（丹羽設計事務所）

舞鶴高専と協定を結んでいる大学を訪問し学生間の交流を行い、現地企業や建築物を見学することにより、技術者としての国際的視点を育成した。また、訪問国の文化に直接触れることで異文化理解の一助となった。

(2) 英語デー

令和元年10月23日（水）の午前中に「英語デー」を実施し、本科1・2年生はTOEIC Bridgeを、また本科3・4年生と専攻科1年生はTOEICを受験した。

10. 教務委員会の開催と協議内容について

○第1回教務委員会：平成31年4月2日（月）

1. 平成31年度教務委員会の基本方針について
2. 平成31年度教務委員会での検討事項について
3. 平成31年度教務委員会の役割分担（案）について
4. 平成31年度教務委員会年間スケジュールについて
5. 非常勤講師任用について
6. 平成31年度授業時間割表について
7. 平成30年度原級留置率について
8. 学生の出欠確認システムについて
9. その他

○第2回教務委員会：令和元年5月8日（水）

1. 学生表彰について
2. 非常勤講師の任用について

3. 転科生・留学生・編入学生に対する補講措置について
 4. 科目再履修免除願について
 5. 公欠の認定依頼について
 6. 新カリキュラムの完成年度を見据えた授業時間割について
 7. 「防災士」の受験に係る経費負担について
 8. 学力補充期間の再検討について（資料77）
 9. 特別支援教育連絡協議会の廃止および修学支援室の設置について
 10. 学生の出欠確認体制について
 11. その他
- 第3回教務委員会：令和元年6月4日（火）
1. 「特別追試験制度（仮称）」について
 2. 特別支援教育連絡協議会の廃止および修学支援室の設置について
 3. 平成30年度の平均点が低い科目および不合格者が多い科目について
 4. 学生の出欠確認体制（電子版の出席簿）について
 5. 来年度の学年暦（案）について
 6. その他
- 第4回教務委員会：令和元年7月24日（水）
1. 「特別追試験制度」について
 2. 平成30年度の平均点が低い科目および不合格者が多い科目について
 3. 定期試験における留意事項および定期試験監督者要領の改正について
 4. 成績評価資料の電子化について
 5. JABEE認定の廃止後の各種委員会の見直し等について
 6. 公欠について
 7. 混合学級の廃止について
 8. 定期試験について
 9. その他
- 第5回教務委員会：令和元年10月1日（火）
1. 平成30年度の平均点が低い科目および不合格者が多い科目について
 2. 進路変更指導用マニュアルの修正について
 3. 成績評価資料の電子化について
 4. 学生の病気による公欠について
 5. 特別追試験制度の規程改正について
 6. 令和2年度授業時間割表について
 7. 令和2年度学年暦((案))について
 8. 「追試験実施伺」について
 9. 「化学ⅠB・ⅡB」, 「材料学Ⅱ」の非常勤講師について
 10. その他
- 第6回教務委員会：令和元年11月26日（火）
1. 学生の問題行動について
 2. 学生の公欠認定について
 3. 留学の取扱いについて
 4. インターンシップの単位認定
 5. 特別追試験制度の規程改正について
 6. 進級・卒業に必要な条件について
 7. 成績評価資料の電子化について
 8. 令和2年度授業時間割表について
 9. カリキュラムマップとカリキュラムツリーについて
 10. 英語に関する協議事項について
 11. 配慮依頼について
 12. その他

- 第7回教務委員会：令和2年1月28日（火）
 - 1. 帰国子女特別選抜について
 - 2. 再試験関連規定の修正について
 - 3. 再試験の実施に向けて
 - 4. 追試験・再試験を実施しない科目
 - 5. Webシラバスについて
 - 6. 実務科目について
 - 7. 成績資料の保存について
 - 8. 川田次期教務主事の提案事項について
 - 9. 出席管理システムについて
 - 10. 海外研修旅行について
 - 11. 令和22年度非常勤講師の任用計画一覧
 - 12. 令和22年度科目再履修免除の対象とならない科目について
 - 13. 編入学生・留学生の補習単位認定
 - 14. 令和22年度学則別表の修正
 - 15. その他
- 第8回教務委員会：令和2年2月3日（月）
 - 1. 令和2年度学年暦について
 - 2. 再試験を実施しない科目（今年度と来年度）について
 - 3. 再試験の実施スケジュールの修正について
 - 4. 各種条文改正案新旧対照表
 - 5. 令和22年度学則別表の修正
 - 6. 次年度のSSHRRRおよび平均点算出について
 - 7. 帰国子女特別選抜について
 - 8. 成績評価資料の電子化について
 - 9. 学生の出欠確認体制について
 - 10. その他
- 第9回教務委員会：令和2年3月23日（月）
 - 1. 令和2年度学年暦について
 - 2. 令和2年度時間割について
- 第10回教務委員会：令和2年3月24日（火）
 - 1. 令和2年度時間割について

学 生 委 員 会

学生主事 小野 伸一郎

平成31（令和元）年度の学生委員会，並びにその指導のもとでの主な学生会・クラブの活動等について

1. 新入生支援・指導

4月10日（水）	クラブ紹介
4月10日（水）・11日（木）	新入生合宿研修・元気回復行動プランワークショップ
4月20日（土）	学生会新入生歓迎会
5月7日（火）～17日（金）	前期パートナシップ

2. 交通安全指導・禁煙指導

4月4日（火）	駐車場仮登録
4月15日（月）	交通安全講習会（2, 3, 4年生及び専攻科生）
4月17日（水）	交通安全講習会（5年生）
4月～8月	駐車指導，禁煙巡回指導
10月～12月	駐車指導，禁煙巡回指導
1月～2月	積雪時の駐車指導，禁煙巡回指導

3. 環境美化

6月7日（金）	第1回環境美化清掃
8月8日（水）	第2回環境美化清掃
12月5日（火）	第3回環境美化清掃
2月25日（火）～27日（木）	第4回環境美化清掃

4. 課外活動

<学生会>

4月13日（土）	スポーツフェスタ
5月27日（月）	クラブ顧問会議
6月15日（土）	松尾寺駅周辺ボランティア清掃（雨天中止）
7月2日（火）	校長フリートーキング
7月4日（木）	学生総会
10月1日（火）	球技大会
10月12日（土）	秋の音楽祭in松尾寺（台風中止）
10月14日（月）	舞鶴赤れんがハーフマラソン2019ボランティア
10月14日（月）	松尾寺駅周辺ボランティア清掃（雨天中止）
12月11日（水）	学生総会

<クラブ活動>

6月15日（土）	Hondaエコマイレージチャレンジ2018鈴鹿大会
5月11日（土）	福井高専との交歓試合
6月7日（金）	近畿地区高専体育大会抽選会
6月29日（土）30日（日）	近畿地区高専体育大会ハンドボール（舞鶴文化体育館）
7月6日（土）7日（日）	近畿地区高専体育大会ソフトテニス（東舞鶴公園）
7月10日（水）	全国高等学校野球選手権京都大会
10月13日（土）14日（日）	全国高等専門学校プログラミングコンテスト（宮崎）
10月13日（日）	高専ロボコン2019近畿地区大会（奈良市）
11月9日（土）10日（日）	近畿地区高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト（神戸市）
11月7日（土）8日（日）	全国高等専門学校デザインコンペティション（東京）
3月28日（土）	第43回関西高専合同演奏会（大阪）中止

＜高専祭関係＞

10月31日（木） 11月 1日（金） 高専祭準備・前夜祭
11月 2日（土） 3日（日） 本祭（一般公開）
11月 4日（月） 高専祭片付・後夜祭

5. 講演会

4月11日（木） いじめ防止講演会（1年生）
5月20日（月） メンタルヘルス講演会（2年生）
6月10日（月） ネット被害防止講演会（1年生，情報科学センター共同開催）
7月 8日（月） 薬物乱用防止講演会（3年生）
9月27日（金） 「防衛省・自衛隊における女性活躍推進～女性指揮官の経験から～」
（女子学生，男女共同参画室共同開催）
10月16日（水） 消費生活講座（4年生）

6. その他

6月10日（月） 第1回いじめに関するアンケート
6月11日（火） 第1回中丹高等学校補導連絡協議会
7月 2日（月） 防災訓練
9月 9日（月） 10日（火） 第16回全国国立高等専門学校学生支援担当教職員研修
10月 8日（火） 第2回中丹高等学校補導連絡協議会
11月 6日（水） 令和元年度学生顕彰式
11月28日（木） 29日（金） 通学生アパート訪問
12月 2日（月） 通学生アパート訪問
12月 9日（月） 第2回いじめに関するアンケート
12月25日（水） 26日（木） 令和元年度東海・北陸・近畿地区国立高等専門学校学生指導力向上研修会
2月11日（火） 第3回中丹高等学校補導連絡協議会

学 寮 委 員 会

寮務主事 仲川 力

平成31年度の学寮運営の理念および基本方針を以下に示します。

1. 平成31年度 学寮運営の理念

「全人教育（自主性と協調性）」

寮生活を通して1年生、2年生（低学年）は基本的な生活習慣を身に付け、人格陶冶と規則遵守の態度を養う。3年生以上（高学年）は寮生活の経験に基づき友情、相互寛容など人間関係について正しい理解と自主、自律の精神を養う。

2. 平成31年度 学寮運営の基本方針

(1) 4号館改修への対応

女子寮改修に伴い、1年生は3人部屋、それ以外も年度後半から1号館に寿司詰め状態となるため様々な問題が生じることが予想される。工事中は女子寮生だけでなく、寮生駐車場が少なくなるなど男子寮生にも影響があるのでこれに対応していく。

(2) 学寮オンラインシステム

点呼システムと喫食管理システムの利用を開始させる。点呼システムは準備を整えてゴールデンウィーク後から実施する。

(3) 寮生会との連携と活動の支援

最近、寮生会行事に教員があまり関与していない。例えば自転車整理などに教員が参加できていないなど寮生会との連携がうまくいっていない。また、他高専学寮訪問も実施できていないので検討する。

(4) 寮生に学習習慣を身につけさせる

学寮日課である自習時間が守られていないのでこれを改善したい。新カリキュラム移行に伴い、1年生は放課後の時間が長いので、学習の習慣が損なわれると勉強ができなくなるので自習時間を徹底させたい。

(5) 巡回指導の強化

昨年度後半に朝の巡回指導を行い、欠席時間累積者への指導としては効果があったと思われる。また、教員の巡回は、寮生への見守りと寮内の点検となるので今年度も実施したい。

3. 平成31年度学寮委員会役割分担

表1 学寮委員による活動（*＝責任者）

役 割	担 当	職 務 内 容
寮生会	*豊田 村上 山根	寮生会の活動（特に役員会）をサポートする。随時寮生会役員会との会合を持つ。学寮見学を企画・実施する。
指導寮生会	*豊田 牧野	指導寮生会の活動をサポートする。随時指導寮生会との会合を持つ。
給食検討・清掃	*山根 村上 大内	寮生会生活委員会の活動を、清掃・給食の面を中心にサポートする。給食検討委員会を主催する。1年生対象の栄養講座を実施する。
広報	*喜友名 谷川	寮生会文化報道委員会の活動をサポートする。鶴友たよりを年2回発行する。学寮HPを維持管理する。
防災・防犯	*牧野 毛利	寮生会防災委員会の活動をサポートする。防災・防犯に関する寮務を企画する。避難訓練を実施、防犯講習会を実施、AED講習会を実施する。学寮食堂における重食、盗食の防止。

	船木	
車輛	*喜友名 背戸柳 中川	寮生会車両委員会の活動をサポートする。車輛許可申請の受付。無許可車輛、駐車違反の取締り、自転車の整理等を実施する。
点呼	*清原 丹下	点呼結果の集計及び毎月のパソコン点呼の集計とその改善。
寮室点検	*山根 毛利	寮室の清掃と整理整頓の指導、違反物品の持込みの取締り等を実施する。
宿日直割当	*清原 高木	年2回宿日直割当を行う。宿日直割当表作成方法の改善を図る。
特別支援	*村上 牧野	特別支援教育連絡協議会の支援活動をサポートする。
交換寮生	*村上 今村	交換寮生の話題が浮上した際に対応する(ただし、必ずしも実施を前提としない)

表2 フロア担当

・女子寮1号館	今村、仲川、大内
・女子寮4号館2階	
・2号館	村上
・3号館	山根、高木、船木
・4号館1階・4号館3階	喜友名、丹下
・5号館1階	豊田、背戸柳、毛利
・5号館2階・6号館2階西	
・5号館3階・6号館3階西	
・6号館	仲川、牧野
・7号館	清原、中川、谷川

○学寮関係行事

- 4月 1日 (月) 開寮、学寮委員会
- 4月 2日 (火) 入寮式(学生の入寮と保護者懇談の開催)
- 4月 4日 (木) ~5月7日 (火) フロアミーティングの実施
- 4月20日 (土) 寮生会主催による新入生歓迎球技大会
- 6月10日 (月) 防災訓練
- 6月12日 (水) ~6月26日 (水) 第1回寮室点検
- 7月 1日 (月) 栄養講座
- 7月15日 (月) サマーフェスティバル
- 8月 9日 (金) 閉寮
- 8月10日 (土)、11日 (日) オープンキャンパス(学寮施設見学)
- 9月23日 (月) 開寮
- 10月20日 (日) ~1月14日(火)フロアミーティングの実施
- 10月21日 (月) ~11月5日 (火) 第2回寮室点検
- 12月 2日 (月) 近畿国立高専寮務主事会議(本校)
- 12月 4日 (水) クリスマス企画

- 12月 5日（木）～12月19日（木） 第3回寮室点検
- 12月12日（木） 寮生総会（寮生会長、寮生副会長の選挙）
- 12月21日（土） 閉寮、2019高専女子フォーラムin関西
- 1月 5日（日） 開寮
- 2月 7日（金） 入寮選考結果発表
- 2月28日（金） 学寮部屋替え
- 2月29日（土） 閉寮

○学寮委員会等の開催

- 4月 1日（月） 第1回学寮委員会
- 6月 6日（木） 第2回学寮委員会
- 7月24日（水） 第3回学寮委員会
- 10月16日（水） 第4回学寮委員会
- 10月24日（木） 第5回学寮委員会
- 11月26日（火） 第6回学寮委員会
- 2月 5日（水） 第7回学寮委員会

※学生指導などに関連し、複数回の主事・主事補会議を開催。

○近畿地区寮務主事会議

令和元年12月2日（月）本校にて明石高専、奈良高専、和歌山高専および本校の近畿地区国立4高専寮務主事が集まり、本会議が開催された。

本会議では、以下に示す協議事項および承合事項について協議と情報交換が行われた。

【協議事項】

1. 寮務主事会議の会場について（提出校：明石高専）
2. 国際寮の整備について（提出校：和歌山高専）

【承合事項】

1. 入寮許可について（提出校：明石高専）
2. 寮の食事について（提出校：明石高専）
3. 海外からの入寮希望者（日本人学生）への対応について（提出校：奈良高専）
4. 入寮を認めなかった事例について（提出校：奈良高専）
5. 学寮でのバリアフリー化について（提出校：和歌山高専）
6. 下級生を指導する寮生の選任方法について（提出校：和歌山高専）
7. 学寮での学習支援体制について（提出校：和歌山高専）
8. 学寮の宿日直体制について（提出校：舞鶴高専）
9. 女子寮の宿日直対応について（提出校：舞鶴高専）
10. 寮の食事提供について（提出校：舞鶴高専）

○4号館改修工事

老朽化に伴う4号館改修工事を令和元年10月から開始した。改修後の4号館は、全室個室の女子寮として令和2年度より運営予定である。

○6号館1階簡易改修

6号館1階の4人部屋を分割し、2人部屋にする簡易改修を行った。

専攻科

専攻科長 川田 昌克

1. 年間活動の概要

専攻科の年間活動の概要を表1に示す。

表1 活動内容

年 月	内 容
平成31年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻科総合システム工学専攻入学式 (4/2) ・新入生オリエンテーション (4/2~4/3) ・第1回専攻科委員会 (4/4) ・1年生, 2年生研究室配属決定 ・専攻科学生のTA募集 ・学位申請説明会: 1年生 (4/18) ・第2回専攻科委員会 (4/25)
令和元年5月	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻科推薦特別選抜書類選考 (5/15) ・第3回専攻科委員会 (入試委員会と合同) (5/17)
令和元年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・特例適用による学位申請説明会: 2年生 (6/4) ・第4回専攻科委員会 (6/10) ・専攻科一般学力検査選抜試験 (前期) (6/16) ・第5回専攻科委員会 (入試委員会と合同) (6/18)
令和元年7月	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回専攻科委員会 (7/9) ・JSTS2019 (Japan Seminar on Technology for Sustainability) への学生派遣 [福島県いわき市] (7/7~7/12) ・第3ブロック専攻科長会議 [ウインクあいち] (7/26) ・前期期末試験 (7/31~8/7)
令和元年8月	<ul style="list-style-type: none"> ・第7回専攻科委員会 (8/5) ・特例適用による学位申請説明会 (事務手続き): 2年生 (8/7) ・海外インターンシップへの学生派遣 (~9月) ・国内インターンシップへの学生派遣 (~9月)
令和元年9月	<ul style="list-style-type: none"> ・学修総まとめ科目「履修計画書」の確認 (9/5~9/14) ・特例適用による学位申請入力 (学内締切: 9/27) ・特例適用専攻科変更の届出 (9/28)
令和元年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・学修総まとめ科目計画書提出 (2年) ・特別研究基礎中間発表 (10/3) ・専攻科一般学力検査選抜試験 (後期) (10/20) ・第8回専攻科委員会 (入試委員会と合同) (10/23) ・ISTS2019 (International Seminar on Technology for Sustainability) への学生派遣 [タイ バンコク (タマサート大学ランシットキャンパス)] (10/8~10/12) ・コース長による学生面談 (1年生) ・国内インターンシップ報告会
令和元年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・海外インターンシップ発表会 (11/5) ・第9回専攻科委員会 (11/19) ・第10回専攻科委員会 (11/28)
令和元年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・合同学校説明会での専攻科説明 (12/7) ・近畿地区高専専攻科長会議 (12/23)
令和2年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・第11回専攻科委員会 (1/7) ・特別研究発表会 (1/14)

令和2年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻科2年生後期期末試験（1/24～1/30） ・特別研究基礎発表会（1/30） ・特別研究論文提出（1/30） ・学修総まとめ科目「成果の要旨」の確認（1/28～2/10）
令和2年2月	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻科特別研究報告集原稿の提出（2/4） ・第12回専攻科委員会（MDE委員会と合同）（2/5） ・専攻科1年生後期期末試験（2/12～2/20） ・特例適用による学位申請入力（学内締切：2/20） ・高専機構海外インターンシッププログラムへの学生派遣〔マレーシア クアランプール（東洋エンジニアリング株式会社）〕（2/23～3/14） ・第3ブロック専攻科研究フォーラムへの学生・教員派遣〔名古屋国際センターNIC〕（2/28）……開催中止
令和2年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・第13回専攻科委員会（3/2） ・専攻科修了証書授与式：総合システム工学専攻14名（3/13） ・令和3年度専攻科学生募集要項配布

2. 専攻科の運営

2.1 専攻科委員会の構成と役割分担

専攻科の活動は専攻科委員会が担い、委員長、教務主事の他、学科・部門から各1名程度の教員および学生課長と学生課長補佐が委員として所属し、教務関係担当職員が事務手続き業務に当たっている。平成31（令和元）年度の人員構成と役割分担および事務手続き担当職員は表2のとおりである。

表2 専攻科の運営メンバー

氏名	役職	主たる役割分担	備考
川田昌克	委員長	総括	専攻科長
高谷富也	委員	教務関係事項への助言	教務主事
井上泰仁	電気電子システム工学コース長	当該コースの運営，進路指導，教育関係書類の整備，特別研究審査資料等の確認	電気情報工学科
野毛宏文	機械制御システム工学コース長		機械工学科
加登文学	建設工学コース長		建設システム工学科
伊藤 稔	委員	教育関係書類の整備，特別研究審査資料等の確認	電子制御工学科
藤田憲司	委員	国際交流	人文科学部門
岡田浩嗣	委員	進路指導委員会との連携	自然科学部門 進路指導副委員長（進学）
窪田 仁	委員	事務手続きの承認	総務課長（学生課長代理）
富田 誠	委員		学生課長補佐
嵯峨信子	陪席	事務手続きの実施	学生課職員

2.2 入学と修了

平成31（令和元）年度入学者は、総合システム工学専攻17名（電気電子システム工学コース8名、機械制御システム工学コース5名、建設工学コース4名）であった。また、平成31（令和元）年度修了者は、総合システム工学専攻14名（電気電子システム工学コース4名、機械制御システム工学コース5名、建設工学コース5名）であった。

2.3 入試関係

2.3.1 令和2年度（2020年度）入試

今年度から入試の実施方法を以下のように変更した。

- ・推薦特別選抜および一般学力検査選抜（前期日程）の試験日程を早くした。
- ・推薦特別選抜の推薦基準を変更した。

・推薦特別選抜は原則、書類選考とした。
その結果、志願者が大幅に増加した。

2.3.2 次年度以降の入試

令和3年度入試から実施方法を順次、以下のように変更する。

- (1) 入学者確保と、入学者数の適正化のため、令和3年度専攻科入学試験（令和3年4月入学）から、一般学力検査選抜（前期日程）をA方式とB方式の二方式とする。
- (2) 令和3年度専攻科入学試験（令和3年4月入学）から、本校本科卒業・卒業見込以外の志願者については、本校の成績区分で記入した成績証明書を提出するように変更する。
- (3) 前年度に決定されたとおり、令和3年度専攻科入学試験（令和3年4月入学）から、一般学力検査選抜の専門科目出題範囲を変更する。
- (4) 前年度に決定されたとおり、令和4年度専攻科入学試験（令和4年4月入学）から、一般学力検査選抜における英語の筆記試験に替えて、TOEICスコア（TOEIC IPを含む）による評価を行う。

2.4 追試験および再試験の区分の変更

令和2年度より、病気等で欠席した学生に対する試験のみを「追試験」と呼び、過年度および修了年度前期・学年末において不合格となった科目に対する試験を「再試験」と呼ぶよう、名称変更することとなった。

2.5 カリキュラム改正

令和3年度専攻科入学生より、開講科目の削減、科目の開設年度の移動等、軽微なカリキュラム改正を行うこととなった。詳細は、令和3年度の専攻科委員会で議論する。

2.6 特例適用専攻科変更の届出

令和元年8月までに令和2年度専攻科入学者に対する1年次と2年次のWebシラバスへの入力を行った。また、科目表および学修総まとめ科目担当者変更の届出を9月に行った。学修総まとめ科目については、課題名を限定しすぎないこと、一つの課題に対する指導教員を複数名とすること、を基本方針とした。

2.7 学位授与申請

1年生に対しては、「特例適用による学位申請説明会」を受講登録締切日前の4月18日（1年生対象）に行い、履修単位確認と書類作成の説明をした。

2年生に対しては、「特例適用による学位申請説明会」を6月4日に行い、履修単位確認と書類作成の説明をした。また、8月7日に「特例適用による学位申請説明会（事務手続き）」を実施した。9月に「学修総まとめ科目履修計画書」の確認作業を行い、10月に特例適用による学位申請の手続を行った。また、2月に当該学生に対する履修単位の確認と「学修総まとめ科目成果の要旨」の確認作業を行い、学位申請の手続を行った。そして、特例適用による学位申請に対する大学改革支援・学位授与機構の審査を経て、令和2年3月、申請者全員に「学士」の学位が授与された。なお、通例（従来の学位申請方式）適用による学位の申請はなかった。

3. 学生教育関係

3.1 学生の研修

令和元年7月7日～12日の間、福島県いわき市で行われた「持続可能な社会構築への貢献のための科学技術に関する日本セミナー2019」（JSTS2019: Japan Seminar on Technology for Sustainability）に機械制御システム工学コース学生1名を派遣した。本事業では、グローバルリーダーに不可欠なグローバルコミュニケーション能力と、多様な集団で協働する能力の向上を目指し、SDGs17をベースとしたグループでのワークショップや様々な交流活動が実施された。

また、JSTSの延長として、令和元年10月8日～12日の間、タイのタマサート大学ランシットキャンパス（Thammasat University, Rangsit Campus）行われた「持続可能な社会構築への貢献のための科学技術に関するセミナー2019」（ISTS2019: International Seminar on Technology for Sustainability）に同学生1名を派遣した。日本を含む5の国・地域から総勢123名（日本：57名、タイ：50名、香港：

10名、シンガポール：5名、台湾：1名）の学生が参加し、多国籍の学生で構成されたチームが JSTS で学んだ SDGs のフレームワークを応用した社会の問題解決に取り組んだ。

3.2 研究成果の発表

専攻科では、学生が自身の研究成果を積極的に学会等で発表することを奨励している。これは、研究発表技術を涵養するためだけではなく、学外での客観的な評価を受けることによって、研究に関する新たな発見や今後の方向性に繋がるためでもある。今年度の発表件数の内訳を表 3-1 に示す（本人発表のみ）。

また、昨年度に引き続き、第 3 ブロック専攻科研究フォーラムが 2 月 28 日に名古屋で開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため、開催が中止となった。ただし、提出したプレゼン資料およびポスターにより、発表扱いとなった。本校からの発表件数の内訳を表 3-2 に示す。

表 3-1 学外での研究発表件数（第 3 ブロック専攻科研究フォーラムを除く）

所属コース名	発表件数		
	1 年生	2 年生	合計
電気電子システム工学	2	2	4
機械制御システム工学	0	1 (1)	1 (1)
建設工学	0	3	3
合計	2	6 (1)	8 (1)

※ 括弧内の数字は国際会議（内数）

表 3-2 第 3 ブロック専攻科研究フォーラムでの研究発表件数（専攻科 1 年生）

所属コース名	発表件数		
	オーラルセッション	ポスターセッション	合計
電気電子システム工学	0	6	6
機械制御システム工学	1	4	5
建設工学	0	3	3
合計	1	13	14

3.3 インターンシップ

表 4-1 国内インターンシップ

番号	派遣先	所属コース名	派遣期間
1	日立造船株式会社	電気電子システム工学	8/26～9/6
2	奈良先端科学技術大学院大学	電気電子システム工学	9/9～9/20
3	島津メディカルシステムズ株式会社	電気電子システム工学	9/2～9/7
4	奈良先端科学技術大学院大学	電気電子システム工学	9/9～9/20
5	奈良先端科学技術大学院大学	電気電子システム工学	8/19～8/30
6	オープンテクノロジー株式会社	電気電子システム工学	9/2～9/13
7	キャノンシステムアンドサポート株式会社	電気電子システム工学	9/2～9/6
8	パナソニック株式会社アプライアンス社	機械制御システム工学	8/26～8/30
9	株式会社小松製作所 大阪工場	機械制御システム工学	9/2～9/13
10	神鋼テクノ株式会社	機械制御システム工学	8/19～8/23
11	近畿地方整備局舞鶴港湾事務所	建設工学	9/2～9/13

注：番号 3, 7, 8, 10 はインターンシップ期間が規程に満たないので単位認定されていない。

今年度は 11 名の学生が国内インターンシップに、4 名の学生が海外インターンシップに参加した。これらの学生はインターンシップ報告会で報告を行うとともに、評価に基づいて規程に従って単位認定が行われた。ただし、派遣日数が規程に満たないケースが 4 件あった。また、国立高専機構が募集してい

る海外インターンシッププログラムに1名の学生が参加した。該当学生のインターンシップ報告会は、次年度の年度当初に実施する予定である。

派遣先と派遣期間を表4-1～4-3に示す。

表4-2 海外インターンシップ

番号	派遣先	所属コース名	派遣期間
1	タイ国立キングモンクット工科大学ラカバン校 (KMITL)	電気電子システム工学	8/26～9/8
2	タイ国立キングモンクット工科大学ラカバン校 (KMITL)	電気電子システム工学	8/26～9/8
3	タイ国立キングモンクット工科大学ラカバン校 (KMITL)	機械制御システム工学	8/26～9/8
4	タイ国立キングモンクット工科大学ラカバン校 (KMITL)	機械制御システム工学	8/26～9/8

表4-3 国立高専機構が募集している海外インターンシッププログラム

番号	派遣先	所属コース名	派遣期間
1	東洋エンジニアリング株式会社 [マレーシア クアラン プール]	建設工学	2/23～3/14

4. 進路状況

平成31(令和元)年度の進路状況を表5に示す。今年度も専攻科の求人状況は好調であり、就職希望者全員が内定をいただいた。また、大学院への進学希望者全員が合格し、前年度と同様、1/3程度が大学院に進学することとなった。

表5 進路状況(令和2年3月)

電気電子システム工学コース	機械制御システム工学コース	建設工学コース
【就職】 TOA 株式会社 ニチコン草津株式会社 三菱電機株式会社 【進学】 奈良先端科学技術大学院大学	【就職】 住友ゴム工業株式会社 株式会社日本触媒 出光興産株式会社 【進学】 大阪大学大学院 京都工芸繊維大学大学院	【就職】 株式会社飯島建築事務所 JR西日本不動産開発株式会社 西日本高速道路株式会社 株式会社日本触媒 【進学】 大阪市立大学大学院

5. その他

5.1 第3ブロック専攻科長会議

平成31(令和元)年度は豊田高専を担当校として、7月26日(金)にウィンクあいちで開催された。協議事項では、「JABEE対応」、「レビューの実施および準備の状況」、「大学との連携教育プログラム」、「履修届及び履修取消の取扱い」について議論され、情報共有がなされた。また、承合事項では、「特例適用専攻科関係」、「JABEE関係」、「入試関係」、「履修関係」等について各校の状況が説明された。

5.2 近畿地区高専専攻科長会議

平成31(令和元)年度は奈良高専を主幹校として、12月23日(月)に大阪府立大学 I-site なんばで開催された。協議事項としては「専攻科の学習・教育目標と授業科目」、「アドミッション・ポリシーに沿った入学者受入れの検証」、「近畿地区専攻科長会議の実施方法」について議論された。承合事項では、「特例適用専攻科関係」、「入試(志願者確保)関係」等について各校の状況が説明された。

以上

- ・(研究代表者) 山岡記念文化財団研究助成金「大正・昭和戦前期の監獄法改正事業—山岡萬之助関係文書を用いて」
- ・(研究代表者) 基盤研究(C)「官吏・典獄と被収容者から読み解く、明治日本の監獄」
- 牧野雅司教員
 - ・(研究代表者) 若手研究「外交文書の「見た目」から読み解く近世日朝関係の特質」
- 荻田みどり教員
 - ・(研究代表者) 研究活動スタート支援「源氏物語の受容を中心とした食に対する意識の変遷に関する研究」

6. 「地(知)の拠点整備事業」関連

「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」に関連する講義として、「現代社会と宗教Ⅰ,Ⅱ」(吉永進一教員担当)、「地域学Ⅰ,Ⅱ」(牧野雅司教員担当)、「現代日本の政治・経済と法Ⅰ,Ⅱ」(児玉圭司教員担当)が開講された。吉永教員は、5月29日、舞鶴地方史研究会会員の廣瀬邦彦氏をお招きして「江戸時代の元伊勢ガイドブック～西国巡礼略打道中記(1820)を読む～」と題する講演会を実施、また、5月22日と12月18日にはそれぞれ、松尾寺と西舞鶴の朝代界隈の寺社見学を行った。このほか、荻田みどり教員は、大学COC事業を契機として設立された舞鶴高専地域テクノアカデミアの企業見学会・講演会(10月31日、本校第一合併教室(舞鶴市))において、「『源氏物語』の食の世界」と題する講演を行った。

7. 国際ソロプチミスト クラブ・ユース・フォーラム

5月19日(日)、舞鶴グランドホテルにて開催された「国際ソロプチミスト・クラブ・ユース・フォーラム」に本校の3年生女子2名が参加し、「20年後のあなたと対話する」のテーマの下、プレゼンテーションとディスカッションをおこなった。論文作成とプレゼンテーションの指導には田村修一教員、荻田みどり教員ほか電気情報工学科の芦澤恵太教員(男女共同参画室長)があたり、田村教員が引率した。国際ソロプチミストとは、女性と女兒の生活向上のためのプロジェクト等を推進している国際的なボランティア組織であり、その日本中央リジョンでは「次の世代の優秀なリーダー育成」等を目的に2年に一度ユース・フォーラムを開催し全国のクラブから各1名の代表者を募っている。舞鶴でもその選考会を兼ねて、2年に一度市内の女子高校生が集まってクラブ・ユース・フォーラムが開催されている。

8. 「京菓子展「手のひらの自然—万葉集」2019」京菓子デザイン部門の受賞

1年生「古典A, B」(荻田みどり教員担当)の授業において、「万葉集を通して表現される小さな芸術」というテーマで京菓子をデザインし、「京菓子展「手のひらの自然—万葉集」2019」(主催:公益財団法人 有斐斎弘道館・京都市文化財公開施設運営管理事業受託コンソーシアム、共催:京都市・公益社団法人 京都市観光協会・古典の日推進委員会)の京菓子デザイン部門に応募した。その結果、学生1名が入選した。11月1日に入賞者表彰式があり、11月2日～17日には、入賞デザインをもとにして、プロの菓子職人により実作された菓子が、有斐斎弘道館(京都市)にて展示された。

9. 国税庁「令和元年度 第58回 税に関する高校生の作文」部門の受賞

3年生「総合国語ⅡA,ⅡB」(田村修一教員・荻田みどり教員担当)の授業において「税に関する高校生の作文」に応募し、本校学生4名が「京都府知事賞」、「京都府租税教育推進連絡協議会賞」、「舞鶴税務署長賞」、「舞鶴地区租税教育推進協議会長賞」をそれぞれ受賞した。本校も「租税教育推進校等表彰」を受賞した。12月11日、舞鶴税務署長による授賞式が本校校長室にて執り行われた。

10. 「放課後教室」の実施

本年度も、自然・人文科学部門合同で「放課後教室」を開催した。これは、学生に学習する習慣を身につけてもらうこと、学生が教員に接しやすい環境を整えることを目的としたもので、定期試験の数週間前から週に2回程度、放課後(16:30～18:00)に低学年の教室を利用して行った。「放課後教室」は今年度を通じて24回開かれ、延べ人数で教員104人、学生539人が参加した。

11. 教員の動き

平成30年度末をもって、特任教授・荒川吉孝先生（英語）および准教授・畑恵里子先生（国語）が退職された。平成31（令和元）年度4月からは新たに荻田みどり先生（国語）を講師として、大内真一郎先生（英語）を助教として、さらに5月からはKHAN SAMIA HASEEB先生（英語）を助教（有期）としてお迎えした。

自然科学部門

自然科学部門長 背戸柳 実

1. 学力向上のための取り組み

(1) 中学数学の復習と数学基礎力診断テスト（1年生対象）

今年度は、数学基礎力診断テストを、年度当初の「総合演習」の時間に実施しました。分析結果は例年と同様に教員間で共有し、このテストによって基礎学力の不足が判明した学生に対しては、その後の「基礎数学」の授業において授業担当者が特に注意を向けることにしました。

また4月入学の新生生に対する、昨年から始めた取り組みとして、奥村先生と岡田先生が作成した入学前の数学の事前課題（宿題）を今年も配布しており、新年度の「基礎数学演習A」の授業時間内に喜友名先生が作成した確認テストを実施する予定です。

(2) CBT（1年生・2年生・3年生対象）

CBT「数学」・「物理」・「化学」を、教務係および情報科学センターの協力を得てクラス毎に実施しました。具体的には、「数学」については1年から3年の全クラス（1月6日（月）～1月29日（水））、「物理」については1年（1月23日（木）、1月30日（木））と2年全クラス、「化学」については1年全クラスを対象として実施しました。トライアルを含めて3年目になり、スムーズに実施することができました。

物理については、CBTの実施に合わせて学生に復習用のプリントと演習問題を作成・配付し、事前学習を促しました。

また今年度はCBT（数学）のレビュー担当校になっており、数学教員全員でレビューを実施しました。

(3) 学力向上対策（編入生・留学生対象）

今年度の4年次編入学生は4Eに2名、3年次留学生は3Eに1名ありました。編入生については本人の希望と担任からの要請を受けて教科担当者が学習相談を実施し、学習についてのアドバイスをしました。

留学生については学生の希望並びに学科からの要請がありませんでしたので、補習は実施しませんでした。

(4) 総合演習（1年生対象）

1年生の総合演習の時間に、理科関連の事柄（例えば星や舞鶴の気候）について調べさせて、パワーポイントを使って発表するという「調べ学習」を行いました。発表した内容は一人一人レポートにまとめさせ、また感想シートを記入させて取り組みに対する振り返りも行いました。

総合演習ではその他にも、数学や物理の日々の学習を補う課題プリントや、物理実験レポートの書き方について指導を行いました。

(5) 放課後教室（主に低学年の希望者）

人文・自然科学部門が合同で、学生に学習する習慣を身につけてもらうこと、学生が教員に接しやすい環境を整えることを目的とする「放課後教室」を今年度も実施しました。

具体的には、定期試験の約3週間前から週に2回程度、放課後に人文・自然の教員が数名待機する教室に学生を集めて予復習や試験勉強の学習支援をしました。

今年度の「放課後教室」は年間を通じて24回開かれ、1・2年生が延べ人数で538名の参加がありました。

2. 子育て交流授業（5年生対象）

今年度も舞鶴市健康・子ども部子ども支援課子育て支援基幹センターと共同で「子育て交流授業」を実施しました。「保健体育Ⅴ」の授業時間において、5年生全クラスを対象として、クラスごとに分かれて2歳前後の乳児と保護者の皆さんと交流をしました。

子育て真最中の保護者の皆さんからお話を伺うことで、学生にとって将来の子育てや家族計画について考える良い機会となりました。

3. KMITL 留学生の受け入れ

今年度は電子制御工学科が受け入れてそれに人文・自然科学部門が協力するという形で実施されましたが、人文科学部門が主体となって企画・実施したプログラムに加えて、保健体育の時間に留学生に実際に防具を付けさせて、剣道の実技指導を実施しました。

4. オープンキャンパス

8月10日（土）、11日（日）のオープンキャンパスにおいて、本年も人文科学部門と共同での教科書展示の他、授業の板書の抜き書きや曲面模型、演示実験に使用している実験器具等の展示を行いました。今年度はドローンの360度カメラで撮影した校舎全体の空撮映像や1年生の授業映像のVR体験が中学生たちの興味を惹いていました。また教員の研究紹介のパネル展示も実施しました。

5. 授業公開

令和2年1月15日（水）木村健二教員の授業公開を1年3組の保健体育Ⅰの授業に於いて、学外評価者2名と学内評価者2名で実施しました。

6. 人事

- 平成31年3月31日、人事交流の高倉克人准教授が鈴鹿高専に戻られました。

- 各教員の校務分担（校務分担表記載のみ）と顧問

教員名	校務分担と顧問
上杉 智子	教務主事補，学生相談室，修学支援室員，男女共同参画室員，COCプロジェクト推進会議室，ジュニアドクター育成塾推進会議(実施主担当者)，女子バレーボール部顧問，吹奏楽部顧問
岡田 浩嗣	学生主事補，1年2組担任，専攻科委員，国際交流センター運営委員，進路指導副委員長，軽音楽部顧問，ESS同好会顧問
奥村 昌司	教務副主事，2年1組担任，教育改善委員長，教育プログラム（MDE）委員，吹奏楽部顧問
小野伸一郎	学生主事，企画室員，評価委員，教育改善委員，情報公開委員，留学生委員，危機管理委員，交通対策検討委員会委員長，人権侵害・ハラスメント防止委員会委員長，陸上競技部顧問，ボランティア同好会顧問
喜友名朝也	寮務主事補，広報委員，国際交流センター運営委員，ソフトテニス部顧問，柔道部顧問
木村 健二	学生主事補，2年3組担任，入試広報部会員，学生相談室員，ソフトテニス部顧問，サッカー部顧問
背戸柳 実	部門長，学寮委員，評価委員，情報公開委員，教育研究支援センター運営委員，本科高度化再編WG委員，硬式野球部顧問，雪上スポーツ同好会顧問
宝利 剛	1年4組担任，学生委員，学術情報センター運営委員，地域共同テクノセンター運営委員，ジュニアドクター育成塾推進会議，サッカー部顧問
宮崎 昭仁	学術情報センター運営委員，FD・ICT部会員，教育改善委員

機 械 工 学 科

機械工学科長 篠原 正浩

1. 年間活動の概要

年 月	活 動 内 容
平成31年4月	・新入生対象学科ガイダンス (4/2)
令和元年5月	・プレオープンキャンパス (京都会場, 5/18) ・出前授業「ペットボトル掃除機を作ってみよう」(京都市立近衛中学校, 5/29)
6月	・プレオープンキャンパス (舞鶴会場, 6/9) (三田会場, 6/22) ・出前授業「クレーンを作って遊ぼう！」(舞鶴市立若浦中学校, 6/20)
7月	・プレオープンキャンパス (京都会場, 7/6) ・公開講座「ドローンを飛ばそう」(7/27)
8月	・公開講座「ドローンを飛ばそう」(8/3) ・オープンキャンパス (8/10, 11) ・さかさにしてもこぼれない水等の展示, 夏の特別企画「まわす?まわる!」, あそびあむ, 舞鶴市, (8/10 - 8/25)
9月	・公開講座「エンジンを作ろう」(9/16) ・出前授業「技術・家庭(木材編)～木材にヒントを得た断熱材の形成実験ならびに木工ガジェット製作～」(舞鶴市立和田中学校, 9/19) ・公開講座「クレーンを作って遊ぼう！」(9/22) ・公開講座「考えて動かそう! きみにもできるロボットづくり」(9/23)
10月	・公開講座「魚釣りともものづくり」(10/19) ・インターンシップ報告会 (10/2, 機械工学科4年生) ・卒業研究中間発表会 (10/24) ・工場見学 (三菱重工工作機械株式会社, 三菱ロジスネクスト株式会社 京都工場, 10/16, 機械工学科3年生)
11月	・海外研修旅行 (マレーシア, 11/12～16, 機械工学科4年生)
12月	・女子中学生一日高専体験会 (12/8) ・公開講座「プログラミングによるドローンの自動飛行」(12/21)
令和2年1月	・工場見学 (株式会社イシダ 滋賀事業所, 1/7, 機械工学科4年生) ・海上自衛隊舞鶴地方隊 補給艦「ましゅう」見学 (1/16, 機械工学科3年生) ・公開講座「さわやかエネルギー風車入門」(1/25) ・工場見学 (株式会社イシダ 滋賀事業所, 1/27, 機械工学科3年生) ・授業公開「材料力学 I」(授業実施者: 谷川教員, 1/15)
2月	・科博連出展「MDF材を用いてネームプレートを作ろう！」(2/2) ・卒業研究発表会 (2/7) ・公開講座「プログラミングによるドローンの自動飛行」(2/22) ・工場見学 (SECカーボン株式会社 京都工場, 2/21, 機械工学科2年生)

2. COC+事業による京都府内企業の工場見学

令和2年1月7日に(株)イシダの滋賀事業所を機械工学科4年生が見学しました。会社概要の説明を受けたのち、本校卒業生によるキャリア経験に基づく機器開発の講演を聴講、つぎに、3グループに分かれて工場の見学をしました。その後、本校卒業の若手OBの方3名との懇談会が催され、活発な交流ができたようで、進路選択の参考になったようです。

1月27日には同じ（株）イシダの滋賀事業所を機械工学科3年生も見学しました。

令和2年2月21日にSECカーボン株式会社の京都工場を機械工学科2年生が見学しました。会社概要の説明を受けたのち、3班に分かれてカーボン製品の生産現場を見学しました。見学の合間には、高専の学生らしい技術的な質問も出て、有意義な工場見学となりました。

この他にも、多くの企業の協力を得て、5件の工場見学を行い、地域企業に対する見聞を広めるとともに地域志向マインドを高めることが出来たと思います。



（株）イシダの工場見学（4年生）



SECカーボン（株）の工場見学

3. 地域企業の協力による製品企画の流れの体験

地元企業の協力を得て製品の企画・製作などの流れを体験できる授業を4年生の設計製図Ⅲの授業を利用して2件行いました。

1件目は、オムロン株式会社による課題解決型授業を行いました。綾部事業所で導入されているLCIA（簡便自動化）課題の解決設計に取り組みました。昨年度と同様、部品を供給するレールの設計を行い、10月4日（金）に本校OB技術者の前で成果発表を行い、生産コストや加工性の面から質疑応答を行いました。

2件目は、株式会社イシダによるメンテナンス実習授業を行いました。イシダから故障を仕込んだ計量器付きラベラーを借り、それらの故障に対するメンテナンスを行いました。11月22日（金）と12月20日（金）はイシダの技術者の前で、メンテナンス報告、機器改善の提案等を行うと同時に、メンテナンス現場で必要なこと等の説明を受けました。

どちらも学生にとって学校の授業だけでは経験できないとても実りの多い実習となりました。



企業技術者とのディスカッション



成果報告会

電 気 情 報 工 学 科

電気情報工学科長 片山 英昭

1. 年間活動の概要

電気情報工学科の年間活動の概要を下表に示します。

年 月	内 容
平成31年 4月 2日 24日	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生を対象としたガイダンス ・「創造工学」コンセプト発表会
令和元年 5月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・プレオープンキャンパス(京都市)体験学習「スマホでプログラミング体験！」
令和元年 6月 9日 22日 24日	<ul style="list-style-type: none"> ・プレオープンキャンパス(本校)体験学習「スマホでプログラミング体験！」 ・出前授業「羽ばたけ！君のイルミネーションプログラム」(若浦中学校) ・プレオープンキャンパス(三田市) 体験学習「スマホでプログラミング体験！」
令和元年 7月 6日 6日 11日 19日 21日 21日 23日	<ul style="list-style-type: none"> ・プレオープンキャンパス(京都市)体験学習「スマホでプログラミング体験！」 ・公開講座「光であそぼう ～セロテープのステンドグラス～」(はまっこ夜の市) ・出前授業「ブロックを使ったプログラミングを体験しよう」(丹後中学校) ・1年生見学会(関西電力原子力サポートセンター, 原子力運転サポートセンター) ・公開講座「夏休み太陽電池教室 ～太陽電池で遊ぼう～」 ・公開講座「夏休み太陽電池教室 ～太陽電池を学ぼう～」 ・「創造工学」成果発表会
令和元年 8月 6日 10日 24日 31日	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の先生を対象としたオープンキャンパス ・オープンキャンパス(8/10, 8/11) 体験学習：「振れば絵が出る残像イルミネーション!」「ゲーム開発を体験しよう!」 ・公開講座「夏休み親子工作教室～作って遊ぶソーラーカー～」(大浦会館) ・パワーエレクトロニクス公開講座「フォワード型DC/DCコンバータの基礎から応用まで」
令和元年 9月12日 16日 22日	<ul style="list-style-type: none"> ・公開講座「イルミネーションを作ろう!」(9/12, 13, 18, 若浦中学校) ・公開講座 in 舞鶴「ゲーム開発を体験しよう!」 ・出張！公開講座 in 大津「振れば絵が出るイルミネーション」
令和元年10月 2日 3日 17日 24日	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ報告会 ・工学基礎研究の研究室配属決定 ・卒業研究中間発表会(上位2名高専卒業研究発表会参加) ・電気情報工学科特別講演会(電気三学会関西支部主催)「最新のパワーエレクトロニクス」 東芝三菱電機産業システム株式会社 パワーエレクトロニクスシステム事業部 技監 玉井伸三氏
令和元年11月 2日 9日 12日 20日 22日	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーエレクトロニクス公開講座 「演習によるリアクトル・トランスの徹底理解とDC/DCコンバータ入門」 ・青少年のための科学の祭典出展「プログラミング教室」 ・4年生研修旅行出発(ベトナム, 引率; 内海, 丹下)(研修旅行期間11/12～16) ・東舞鶴駅イルミネーション点灯式(点灯期間11/20～2/20) ・出前授業「総合的な学習の時間」(岩滝小学校)
令和元年12月 8日 8日	<ul style="list-style-type: none"> ・女子中学生1日高専体験会 ・公開講座「聖夜を彩る光るクリスマスリース」
令和2年 1月25日 28日 31日	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開「電気機器II」(公開者：七森, 主査：芦澤) ・最終講義(平地・金山) ・4年生工学基礎研究発表会
令和2年 2月 1日 13日 21日	<ul style="list-style-type: none"> ・科博連サイエンスフェスティバル出展協力 「フルカラーLEDを用いたものづくり」 ・5年生卒業研究発表会 ・1年生工場見学(日立造船株式会社舞鶴工場)
令和2年 3月 7日 10日 21日	<ul style="list-style-type: none"> ・電気学会関西支部主催 高専卒業研究発表会 中止 ・出前授業「プログラムによる計測制御」(若浦中学校)中止 ・パワーエレクトロニクス公開講座「電圧共振・電流共振・LLC・E級スイッチング」中止

2. 学生による学会発表など

電気情報工学科学生の学会発表を下表に示します。また、高専ワイヤレスIoT技術実証コンテスト（総務省主催）のワイヤレスIoT活用部門に、尾藤大喜君、内田竣也君、出水幹太君の3名が提案した「あやなすー黒谷和紙×IoTによる緩なすインテリア」が採択されました。

年 月	発 表 学 会	発 表 者
令和元年 9月	Japan ATフォーラム2019 in 富山 「指一本で自由自在に操作できる着脱可能な電動車いすの操作部の開発」	坂本舜亮
	「バスの空席検出のための学習用データラベリング手法の検討」	杉本翠葉
令和元年12月	パワーエレクトロニクス学会 第231回 定例研究会 「GaN HEMTの誤点弧ロック現象に関する研究」	碓井璃菜
令和2年 3月	平成30年度電気学会関西支部高専卒研発表会 「黒谷和紙を用いたIoT 表具の開発」	尾藤大喜 内田竣也
	「交流成分予測を用いた高精細画像の非可逆圧縮法」	渡邊紘矢
	第67回応用物理学会春季学術講演会 「液体金属を用いたショットキーバリアダイオードの開発」	足立幹夫
	令和2年 電気学会全国大会 「近接配線によるゲート電圧保持現象の検証」	松本瀬名
	令和2年 電気学会U-21 学生研究発表会 「名探偵フェイス」	奥田真 日下紘

3. 電気情報工学科特別講演会

令和元年10月24日(木)に本学科の特別講演会として、電気三学会関西支部主催の「准員および学生員のための講演会」を本校視聴覚教室にて開催しました。東芝三菱電機産業システム株式会社技監の玉井伸三先生に講師をお願いして、「最新のパワーエレクトロニクス」と題してご講演頂きました。学生達は、パワーエレクトロニクスの基礎の解説や実際に開発されたパワーエレクトロニクス製品について、非常に興味深く聞いていました。

4. ジュニアドクターの取り組み

平成31(令和元)年度、本校は科学技術振興機構が行っている事業のジュニアドクター育成塾に採択されました。本学科は、基礎講座(2回目)「小さなコンピュータを利用したプログラミング」、総合的学習(2回目)「電気エネルギー」及び課題学習4コースのうちの1つである「AI・IoTコース」を担当しました。コースでは、センサー機能をもつMESHタグを用いて、身近な課題の解決のための開発を行いました。



課題学習の風景

5. 5年生の進路状況

今年度の5年生は在籍者32名で、就職希望者が17名(53%)、進学希望者が15名(47%)でした。

【就職(内定企業)】: アイテック阪急阪神, エクセディ, NECネッツエスアイ, NHKテクノロジーズ, NTTネオメイト, オプテージ, 京セラコミュニケーションシステム, 京都大学施設部, コニカミノルタ, 三精テクノロジーズ, サントリースピリッツ, 駿河生産プラットフォーム, TOA, 日新電機, 博報堂アイ・スタディオ, パナソニック インダストリアルソリューションズ社, 堀場製作所

【進学(合格先)】: 大阪大学, 九州大学, 京都大学, 京都工芸繊維大学, 高知工科大学, 豊橋科学技術大学(2名), 舞鶴高専専攻科(7名)

6. 教員の人事

5月1日に、フレキシブルデバイスの電子物性と応用を研究テーマとする廣芝伸哉准教授が着任しました。本学科だけでなく本校に多大な貢献をされた平地克也特任教授と金山光一特任教授が今年度末で退職となりました。



最終講義(平地)



最終講義(金山)

電 子 制 御 工 学 科

電子制御工学科長 野間 正泰

1. 年間活動の概要

電子制御工学科の年間活動の概要を下の表に示す。

月 日	活 動 内 容	備 考
平成 31 年 4 月 2 日	新入生・専門学科ガイダンス	電子制御工学科全教員
令和元年 5 月 18 日 6 月 9, 23 日 7 月 6 日	プレオープンキャンパス (京都 2 回, 舞鶴, 三田)	川田 (京都, 舞鶴), 野間 (舞鶴, 京都), 高木 (舞鶴), 伊藤 (三田)
8 月 10, 11 日	オープンキャンパス・学科展示と体験学習	電子制御工学科全教員, 畑
8 月 18 日	全日本小中学生ロボコン・舞鶴高専地区大会, 公開講座「作ってみよう! 移動ロボット」 (対象: 小学生, 中学生)	小学生は 11 月 2 日, 中学生は 11 月 3 日に競技を実施
9 月 30 日	インターンシップ報告会	対象: 4S, 3S
10 月 10 日	卒業研究中間発表会	2 会場で実施
11 月 5 日	電子制御工学科特別講演会 「工場自動化とロボット, ドローンの現状」 「伸銅業界とその設備の概要」	講師: (株) T-ROBO 林 弘幸, 生田産機工業 (株) 那谷典史
11 月 12~16 日	4 年生海外研修旅行: 台北 (台湾) 台湾電綜, 国立聯合大学	引率: 高木, 若林
12 月 8 日	女子中学生一日高専体験会	女子学生 5 名
令和 2 年 1 月 16 日	授業公開: 電子工学 II (2S)	実施: 清原 (主査: 高木)
2 月 13, 14 日	卒業研究発表会	2 日間にわたり実施
2 月 21 日	創造設計プロジェクト競技会 (COC+事業)	オムロン綾部工場より 2 名出席



プレオープンキャンパス (京都)



オープンキャンパス



卒業研究発表会



創造設計プロジェクト競技会

2. 教員人事

令和元年 10 月 1 日付で藤司純一氏が助教として着任された。令和 2 年 3 月に明治大学大学院工学研究科博士後期課程を修了された。専門分野は制御工学であり, 教育・研究に大いに活躍が期待される。

3. 学科特別講演会

11月5日には、京都市にある株式会社 T-ROBO の林 弘幸氏に「工場に自動化とロボット，ドローンの現状」，生田産機工業株式会社的那谷典史氏に「伸銅業界とその設備の概要」と題して特別講演をお願いした。両氏は本校機械工学科電子機械コースの卒業生であり，海外で仕事をする際のエンジニアの心得や注意点等にも言及された。現在，各々代表取締役社長，生産本部副本部長として活躍中である。電子制御工学科 3～5 年生および教職員が聴講した。卒業生の活躍は学生ならびに教職員の誇りである。



特別講演会（林）



特別講演会（那谷）



海外研修旅行（台湾）



海外研修旅行（台湾）

4. KMITL 学生の受入れ

6月10日～7月13日までKMITLの学生1名が研修生として来校し，電子制御工学科が後半の7月1日～13日に研修を担当した。テーマは「ベーシックFA学習キットを用いたシーケンス制御技術の習得」，「LEGO MINDSTORMSを用いたプログラミング（基礎）の習得」および「LEGO MINDSTORMSを用いたロボットハンド，ロボットアームの製作」であり，主担当は若林助教と高木准教授であった。



KMITL 学生の成果発表会



KMITL 学生（中央）の送別会

5. 進路状況（5 年生）

最近 5 年間の進路状況を下の表に示す。本年度の進路指導は 5S 担任の伊藤教授が担当し，就職希望者と進学希望者の進路が確定した。

年度	卒業予定者数	就 職	進 学 (専攻科・大学編入学)	その他 (自営業・専門学校)
平成 31 年度	28	14	14	0
平成 30 年度	37	22	15	0
平成 29 年度	27	17	10	0
平成 28 年度	35	18	15	2
平成 27 年度	33	14	18	1

建設システム工学科

建設システム工学科長 加登 文学

1. 年間活動の概要

建設システム工学科の活動概要を下表に示す。

年 月	活 動 内 容
平成31年 4月	・新入生対象専門学科ガイダンス (4/2)
令和元年 5月	・プレオープンキャンパス in 京都 (5/18)
令和元年 6月	・プレオープンキャンパス in 舞鶴 (6/9) ・プレオープンキャンパス in 三田 (6/22)
令和元年 7月	・出前授業「レオナルド・ダ・ヴィンチの橋をつくろう」(嵯峨中学校) (7/5) ・プレオープンキャンパス in 京都 (7/6) ・公開講座「住宅建築模型製作(住吉の長屋)」(7/28) ・公開講座「テンセグリティ～宙に浮かぶ構造体～を作ろう！」(7/28)
令和元年 8月	・オープンキャンパス (8/10～11)
令和元年 9月	・公開講座「レオナルド・ダ・ヴィンチの橋をつくろう」(9/16) ・公開講座「篠原一男の住宅作品「白の家」の模型作り」(9/29)
令和元年 10月	・インターンシップ報告会 (10/9) ・卒業研究/卒業設計 中間発表会 (10/17) ・建設技術展 2019 近畿 学校ブース出展 (10/23, 24) ・4C(都市環境コース)現場見学会 桂川横大路下島地区河道掘削工事 (10/25)
令和元年 11月	・4C(都市環境コース)見学会 舞鶴港「和田国際埠頭」, 「第2ふ頭」(11/8) ・出前授業「住まいの設計」(加佐中学校 (11/19)) ・4C 海外研修旅行 ベトナム(ハノイ) (11/12～16) ・特別講演会 細見直史氏(日本ファブテック株式会社) (11/25)
令和元年 12月	・出前授業「住まいの設計」(城北中学校 (12/10, 18))
令和2年 1月	・建設システム工学科全体集会 (1/9) ・授業公開 今村教員「建築論Ⅱ」(1/10) ・4C(建築コース)現場見学会 第一次大極殿院南門復原整備工事 (1/17) ・公開講座「水をきれいにする試み」(1/18) ・公開講座「住宅建築模型制作(白の家)」(1/25) ・出前授業「住まいの設計」(白糸中学校 (1/28, 31, 2/3))
令和2年 2月	・出前授業「住まいの設計」(和田中学校 (2/5)) ・卒業研究/卒業設計 発表会 (2/13) ・まいづる土木・建築フォーラム (2/21)

2. 教育活動

(1) 4年生インターンシップ・体験学習

夏期休業中に実施される企業・役所等のインターンシップ、大学の体験学習に31名の学生が参加した。学生はその結果を「インターンシップ報告会」で発表した。

(2) 4年生海外研修旅行

令和元年11月13日(火)から17日(土)の4泊5日で、海外研修旅行としてベトナムのハノイ市を訪問した。訪問期間中にはベトナム国立建設大学との交流会(写真-1)、ハロン湾、タンロン城遺跡などの見学を実施した。



写真-1 研修旅行

(3) 現場見学会

4C 都市環境コースの学生 17 名が桂川横大路下島地区河道掘削工事の見学を行った。また、舞鶴港の見学を行い、港湾整備について学んだ。4C 建築コースの学生 18 名が第一次大極殿院南門復原整備工事の見学を行った（写真-2）。



写真-2 現場見学会

(4) 建設全体集会

令和2年1月9日（水）に建設全体集会を実施した。4年生のインターンシップ報告と5年生の進路活動報告が行われた。1年生から4年生が参加した。

(5) 第9回まいづる土木・建築フォーラム

令和2年2月25日（月）に当学科主催、舞鶴市共催のフォーラムを舞鶴市政記念館ホールで開催した。このフォーラムでは、5年生が卒業研究で取り組んだ地域に関連したテーマを中心に、6件の口頭発表と5件のポスター発表を行った（写真-3）。



写真-3 まいづる土木・建築フォーラム

3. 学科活動

(1) 公開講座，出前授業

公開講座は住宅建築をテーマとした「住宅建築模型制作」シリーズを実施した。また、都市環境系のテーマとして、「レオナルド・ダ・ヴィンチの橋をつくろう」、「水をきれいにする試み」などを実施した。出前授業では、7月に嵯峨中学校で「レオナルド・ダ・ヴィンチの橋を作ろう」を、11月から2月にかけて「住まいの設計」を舞鶴市内の城北中学校、加佐中学校、白糸中学校、和田中学校で実施した（写真-4）。

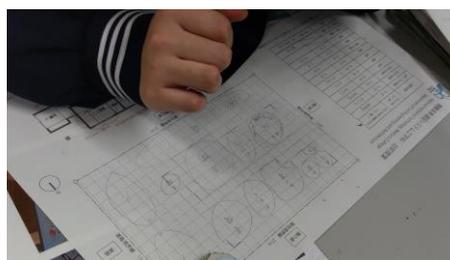


写真-4 出前授業（住まいの設計）

(2) プレオープンキャンパス，オープンキャンパス

舞鶴、京都、三田でのプレオープンキャンパスでは本学科の概要（学習内容、進路等）について説明すると共に、設計製図などの授業で取り組んだ学生の建築作品やドローンなど最新の測量機器について紹介した。

オープンキャンパスでは、都市環境系の実験室を公開すると共に、建築模型など学生の成果品などを展示した。また、体験学習として「篠原一男の住宅作品「白の家」の模型作りと「レオナルド・ダ・ヴィンチの橋」の制作を実施した。卒研性を中心とした補助学生の協力と活躍により、参加した中学生や保護者から高評価をいただいた（写真-5）。



写真-5 オープンキャンパス展示

4. 進路状況

平成31（令和元）年度卒業生の進路は下表のとおりである。近年は企業や官公庁の採用意欲が旺盛で就職は好調である。建築コースでは進学するものが多い傾向がある。

表 平成31年度進路状況

コース	就職			進学・編入学			合計
	民間企業	官公庁	小計	専攻科	大学学部	小計	
都市環境	12	2	14	2	3	5	19
建築	7	0	7	5	5	10	17
合計	19	2	21	7	8	15	36

図 書 館

学術情報センター長 片山 英昭

1. 長岡技術科学大学・高等専門学校統合図書館システム (E-Cats)

長岡技術科学大学附属図書館が、全国立高専55キャンパスと連携し、当該システムを管理・運用している。このシステムの最大の特徴(利点)は、同大学にサーバ管理業務を集約し、システム管理やメンテナンス等を同大学が一元的に行っている点である。

なお、現行システムは第3期に当たり、平成29年3月に開始された。

2. ブックハンティング

ブックハンティングにより購入した書籍を夏休み前に貸出ができるように、今年度は昨年度より早い時期での実施を学生会図書委員長と調整した。その結果、前期中間試験前の土曜日(5月18日)に、大垣書店イオンモールKYOTO店で実施した。学生35名(学生会図書委員及び専攻科生代表)と引率教員が、学習参考書や教養図書等を選書し、133冊(215,973円)を購入した。

学生たちは、本を選ぶ楽しさと共に、各クラス、各学科の代表として多くの学生たちの学習や興味の対象となる書籍を選ぶことを喜んでいようにも感じた。この活動が、学生たちの図書館活用につながる感じた。

参加者：片山英昭、山根秀介、荒賀順一、松宮正明



ブックハンティング風景

3. 「紀要」第55号の発刊

紀要の発刊は、今年度より広報委員会より学術情報センターの担当となった。今年度は、室巻孝郎、山根秀介、船木英岳委員が主導して発刊した。8月に募集を開始し、論文4件と報文2件の応募があった。令和2年の1月に紀要編集委員会を開催し、投稿された原稿全てを掲載と決定した。著者校正を経て3月中旬に発刊された。

4. 「舞鶴高専図書館だより(NIT, Maizuru College Library Information)」第98号の発行

今年度は2月に、室巻孝郎と山根秀介委員が主導して発行した。第98号では、図書館だよりへの親しみやすさを増すために、表紙イラストを学生に作成してもらった。また学生の読書感想文に加え、図書館所蔵のDVDの閲覧数を増やすための工夫として学生による映画紹介や、ブックハンティングにより購入した図書の利用者を増やすための工夫としてブックハンティング購入図書の紹介が掲載されている。

「図書館だより」が、それを手に取った学生・教職員にとって、図書館への興味や関心を喚起する一助になっている。また今年度よりWebでの公開を実施している。

5. 新1年生向け図書館利用オリエンテーション

4月15日(月)のホームルームの時間に実施した。図書館利用促進を目的とし、蔵書検索の方法及び本の借り方や配架場所などを説明した。

説明者：片山英昭、荒賀順一



図書館だより表紙

6. 研究支援サービス

図書館ホームページ中の「研究支援サービス」のページより、以下の電子ジャーナル及び学術情報データベースを提供している。

(1) 長岡技術科学大学によるコンソーシアムを介して提供しているサービス

- ・ ScienceDirect, AIP(American Institute of Physics), APS(American Physical Society), JDreamIII

(2) 機構本部によるコンソーシアムを介して提供しているサービス

- ・ Science, MathSciNet, CiNii

(3) ヨミダス文書館

- ・ 読売新聞がネットで読めるオンライン・データベース

また図書館で提供（利用）している他のサービスとして、以下のものがある。

(1) 国立情報学研究所(NII)が行っているサービス

- ・ NACSIS-ILL（図書館間で行われている相互貸借サービス（文献複写や資料現物の貸借の依頼及び受付）のメッセージのやりとりを電子化したシステム）
- ・ ILL文献複写等料金相殺サービス（NACSIS-ILLの料金情報を元にして参加機関同士の利用料金を相殺するシステム）
- ・ Webcat Plus(NII図書情報ナビゲータ)
- ・ KAKEN(科学研究費助成事業データベース)
- ・ JAIRO(学術機関リポジトリポータル)

(2) その他の機関が行っているサービス

- ・ NDL-OPAC(国立国会図書館蔵書検索, 複写・貸借申込みシステム)

またNACSIS-ILL等の平成31年（令和元年）における利用件数は以下のとおりである。

(1) NACSIS-ILLの利用件数(平成31年1月～令和元年12月)

- ・ 文献複写依頼：19件, 図書貸借依頼：4件, 文献複写受付：6件, 図書貸借受付：0件

(2) 国立国会図書館への文献複写等の依頼件数

(平成31年1月～令和元年12月)

- ・ 文献複写依頼：2件, 図書貸借依頼：0件



1年生向け図書館利用オリエンテーション

7. 「研究支援サービス」で挙げた資料についての補足説明

- ・ ScienceDirect

エルゼビアが提供するデータベース。エルゼビア発行の2,500タイトル以上の電子ジャーナルが搭載され、バックファイルについては、1995年以降のものが収録されている。検索雑誌の本文全てを閲覧できる「フルテキストデータベース」であり、オンライン上での閲覧やダウンロードが可能である。

- ・ JDreamIII

JSTより提供されてきたJDreamIIを引き継ぎ、(株)ジー・サーチにより提供されている科学技術や医学などの文献情報検索システム。データベースに収録されている学術論文の抄録等の情報を閲覧することが可能である。

- ・ Science

アメリカ科学振興協会(AAAS)発行「Science」誌のオンライン版。1997年以降の本文閲覧が可能である(本校は平成25年1月からコンソーシアムへ参加)。

- ・ MathSciNet

米国数学会が提供するデータベース。1940年以降の世界の数学文献情報を包括的に収録。検索した学術論文の抄録及びレビュー等の情報を閲覧することが可能である。

- ・ CiNii

国立情報学研究所が提供するデータベース。国内の学術論文情報を中心に収録し、一部の論文に関しては、本文の閲覧が可能である。



館内風景

情報科学センター

情報科学センター長 片山 英昭

情報科学センターには、「教育・研究部門」と「機器運用部門」の2つの部門がある。教育・研究部門では、学术交流に関する講演会、全学生対象のネットワーク講習会、情報科学センター年報の発行などを行っている。機器運用部門は、校内の教育、研究および業務において使用するサーバやネットワーク機器類の維持管理と教育用電子計算機システムの運用を行っている。

1. 教育・研究部門

(1) 情報学センター講演会

情報科学センターでは産官学の技術交流の一環として、学内外の技術者や研究者が一堂に会し、活発に情報交換ができる場を提供するとの主旨のもと、情報科学センター講演会の企画・開催を継続してきており、今回で44回を数えることとなった。本年度の講演内容を表1に示す。

上野卓也助教の講演要旨は、以下のとおりであった。近年、ニュースで取り沙汰されているように、集中豪雨による河川氾濫・土砂災害が多発しており、早急な対応が社会的に求められている。舞鶴市においても、浸水被害が発生しており、産学官連携で問題解決に取り組んでいる。本講演では、浸水対策の取り組みの1つである舞鶴市志楽川に関する研究を紹介する。降水量と河川水位の関連性および潮位変動と河川水位の関連性について、本年度4月からの調査結果について報告する。さらに、今後の活動計画について報告するとともに、調査の対象や内容について意見交換を行う

七森公碩助教の講演要旨は、以下のとおりであった。「電気自動車のはじまりは約190年前といわれており、馬車の時代から開発が進められていた。しかし後発の内燃機関（エンジン）を搭載した自動車が爆発的に普及し、電気自動車は1920年ごろには衰退していく。衰退から約100年、温室効果ガス排出抑制のため現在では世界各国で電気自動車やハイブリッドカーに注目が集まっている。そんな長い歴史を持つ電気自動車の発展と現在の電気自動車について紹介する。

いずれの講演においても活発な質疑応答が行われ、今年度も成功であった。今年の参加者数は昨年より8名増えて、42名となった。この人数を最低でも維持できればと考える。

表1 2019年度情報科学センター講演会

第44回講演会（令和元年11月28日（木） 13：30～15：30）	
参加者35名（教職員32名，外部聴講者3名，学生0名）	
(1) 建設システム工学科	上野卓也助教：「舞鶴市志楽川の浸水対策に関する取り組み」
(2) 電気情報工学科	七森公碩助教：「電気自動車のはじまりから現在」



写真1 講演者の写真
（七森助教（左）と上野助教（右））



図1 第44回情報科学センター講演会
ポスター

(2) 情報科学センター年報

昨年度までは、情報科学センターでは、情報科学および研究・教育上の有益な情報を提供する機関誌として毎年3月に情報科学センター年報を発行してきた。予算削減への対応や刊行物の見直しの観点より、今年度よりセンター年報の発刊は中止となった。

2. 機器運用・セキュリティ部門

(1) 教育用電子計算機システムの管理・運営

教育用電子計算機システムは、平成29年3月に更新されて丸3年が経過した。大きな障害が発生することもなく、4部屋同時使用時のWindows起動においても大きな遅延なく授業や自習にフル活用されている。リース契約が5年であるため、来年度より機種更新の検討を始める必要があるが、安定して運用できていることと現在の端末スペックで十分であることより、リース延長とする方が良いであろう。サーバはハードウェア・ソフトウェアともに障害は発生しなかった。端末はメモリ不良による起動障害が1件、ローカルキャッシュの破損が2件あった。どちらも部品交換やキャッシュのリビルドにより復旧している。また、情報科学センター演習室内でコンセントボックスの脱落が複数個所で確認され、修理により対応した。学生が自由に使用できるプリンタは利用率が高く、特に演習室のプリンタが不調であるため、プリンタの更新を進めている。

今年度も昨年度に引き続きCBTでも大いに活用された。昨年度よりもCBT実施の科目・学年がさらに増えた。今年度から高専機構Office 365アカウントを使用するCBTシステムに変更され、パスワード忘れやログインIDの誤り等で初回には若干の混乱があったが、本システムの端末一斉起動や一斉匿名ログオンの機能を活用することができ、今年度のCBTを無事に終えることができた。

一方で、将来検討されているPC演習室削減に対応するべく、学生の持ち込みPCによる授業も試行されているが、試行される授業数が少ないことが問題である。

(2) 校内LAN基幹システムの運用

校内LAN基幹システムは、1年間のリース・保守期間延長を含めた6年間の運用を終え、昨年度末に新システムへと更新された。学内サーバを削減するべく、外部メールサービスをはじめとする各種クラウドサービスの利用、不要なサービスの停止等の見直しを行い、物理サーバを6台から3台へ削減することができた。更新後約1年が経過したが、ハードウェア障害は発生していない。ソフトウェア障害としては、ファイルディスクリプタ数の不足によるプロキシサーバのサービス停止が1件発生したものの、対策を講じた後は安定している。

外部メールサービスの利用も開始から1年が経過した。事前検証や移行手順書の準備を行い、また、利用者の設定変更や環境の変化ができる限り少なくなるよう努めたが、多要素認証の必須化や、移行期間が短かったことと春休みという時節柄、利用者には若干の混乱があったかもしれない。その後は、Spam判定の設定やサーバ等のアラートメール送受信の設定等を少しずつ改善し、概ね安定したサービスを提供できていると考える。移行してみて、学内外を問わず以前より安全にメールを利用できる、メールボックス容量が大幅に増加した、大手でありサービスが安定している、定例の電気点検等停電時にも利用可能である、スパムフィルタやマルウェア除去の機能がしっかり働いている、などのメリットを感じている。一方で、利用者が管理しなければならないアカウントが増えた、最初だけであるが多要素認証やメーラーの初期設定が若干煩雑である、高専機構Office 365 のアカウントと混同する、などのデメリットもあった。外向けDNSについては、Azure DNSの利用を開始した。年度内にはオンプレの外向けDNSを停止する予定である。公式webサーバについても、外部サーバへの移行が進められており、今年度末には更新される。これにより停電や障害により学内サーバが停止するような場合でも、メールの利用と情報公開ができる体制が整備されつつある。

平成29年度の夏に導入され利用開始から2年半が経過した高専統一ネットワークシステムについては、大きな障害は発生しなかった。昨年度末に追加した無線LANアクセスポイントも有効利用されている。電気点検による計画停電明けに無線接続が不安定なことがあったが、アクセスポイントの再起動により解消している。これは、復電時、無線LANコントローラーとアクセスポイントとがほぼ同時期に起動することが原因と考えられる。停電時には注意しておきたい。

(3) Moodleの更新

課題であったMoodle 3.7 (<https://moodle2.maizuru-ct.ac.jp/>) への更新を行い、後期より、本格的に活用をしている。授業、実験・実習科目、進路指導、アンケートなど、100ものコースが設置され、学生に利用されている。スマートフォンのブラウザによる閲覧にも対応し、iOSやAndroidなどのスマートフォンに対応したアプリケーションも公開されているため、いつでも、どこからでも、Moodleにアクセスし、必要な情報を利用できるようになった。また、これまで利用してきたMoodle 1.9 (<http://moodle.maizuru-ct.ac.jp/>) は、今年度末に閉鎖する。

教育研究支援センター

教育研究支援センター長 高谷 富也

教育研究支援センターでは、昨年度に引き続いて、教育研究の支援ならびに地域貢献等に関連して、さまざまな取組みを行った。現在、常勤11名、再雇用1名体制で職務を遂行している。

以下に、本年度に技術職員が取り組んだ活動および成果について報告する。

1. 教育研究支援

本年度も昨年度までと同様に、実験・実習を中心として教育研究支援の役割を果たしてきた。本年度はその支援の中で得たノウハウや新たな技術を基に、西日本地域高等専門学校技術職員特別研修会（電気系）に1件、令和元年度 全国高専フォーラムに1件、令和元年度 東海・北陸地区国立高等専門学校技術職員研修会に1件等その成果を発表した。また、第11回高専技術教育研究発表会in福井で5件、実験・実習技術研究会2020鹿児島大学で1件の発表を予定していたが、新型コロナウイルスの影響によりやむなく中止された。その他、京都大学技術職員研修、令和元年度 近畿地区国立高等専門学校 技術職員懇談会等への参加を通し、技術職員としての業績の積み重ねや他機関との交流が積極的に行われた。

研究支援においては、卒業研究や受託試験等、技術職員の視点で支援を行っている。

また、各学科で行われている地域貢献や学校PR事業、学校事務などに多数の支援を行い、学校運営に大きく貢献している。

2. 公開講座および出前授業

平成31（令和元）年度は公開講座2件、出前授業1件を行った。受講生の皆さんに、なぜ？と不思議に感じてもらうことや、身近にある材料で作成できることなどを考慮し、公開講座や出前授業用の教材を開発している。当センターの公開講座等WGでは、ものづくりの楽しさを感じてもらおうと同時に、さまざまな科学技術にも触れてもらうことなども考慮し、公開講座や出前授業の教材を開発している。

令和元年7月27日には、教育研究支援センター主催の公開講座「水中UFOキャッチャーをつくろう」を開催した。開催日が夏休みなので、自由研究の題材になりそうな、浮沈子の原理を用いた「水中UFOキャッチャー」と簡単な科学実験を行った。

浮力に関する実験や工作を通して浮力の性質を知り、科学に親しんでもらうことが目的で、プールやお風呂に入るとからだが軽くなることをイメージして、なぜからだが軽くなるのか（アルキメデスの原理）を学んでもらった。また、水中での浮力を調節して浮沈子に輪ゴムを拾い上げる「水中UFOキャッチャー」を作った。浮沈子からパスカルの原理とアルキメデスの原理を遊びながら学んでもらえたと思う。

初めに原理と簡単な実験を行い、「水中UFOキャッチャー」の作成を行った。浮沈子（魚型の調味料入れ）の水の量の調整に苦労しながらも楽しく取りくんでいる様子が見受けられた。科学実験としては、「つかめる水」と「空気砲」を行った。今回の公開講座が、身近なものにも目を向け、科学に興味を持ってもらうための手助けになればと思う。

令和元年7月31日には、舞鶴市大浦会館にて、教育研究支援センター職員による出前授業「リニアモーターをつくろう」を開催した。今回は小学校が夏休み期間中なので、時間のある夏休みに科学への興味を抱いてもらえるような題材を選んだ。



リニアモーターは「直線のモーター」という意味で、回転するモーターを切り開いて帯のように繋いだもので、本講座では、乾電池にネオジウム磁石を取付け、裸銅線のコイルの中に入れると、電車に見立てた乾電池がコイルの中を移動する実験を行った。乾電池から流れる電流によってコイルが電磁石となり、それとネオジウム磁石の磁力が吸引・反発し合うことを利用して乾電池を動かしている。

銅線をパイプに隙間なく巻くことや、強力な磁石を利用したため磁石同士を引き離す時に苦労が見られたが、職員のサポートの下、完成させることができ、コイルの中で動く乾電池を観察することができた。その後、恐竜模型の組立てを行った。炭酸ガスレーザ加工機で加工しておいた木製組立てキットと竹ひごを材料として組立てを行った。時間の都合上、ティラノサウルスカトリケラトプスの内、1体のみの組立てになったが、希望者には残り1体を手渡し、盛況だった。

令和2年2月1日には、教育研究支援センター主催の公開講座「身の回りにある金属を探そう～金属探知機をつくろう～」を開催した。

金属探知機は、例えば古いブロック塀の中の鉄筋の有無を調査するときに使われる。交流電磁石を金属などの導体に近づけると、電磁誘導により導体に渦電流が流れる現象を利用して金属を検知する。

講座の最初に、金属探知に関する電磁気学現象の説明を行った。次に組立手順書に掲載された写真を見ながら、ブレッドボードの穴に電子部品を差込み、金属探知機を組立てた。穴の位置の確認に手間取る面も見られたが、全員完成させることができた。



3. 舞鶴工業高等専門学校 技術職員研修

本研修は、技術職員研修で講義・実習・校外学習を実施することにより、他分野を交えた相互啓発の機会を与え、技術系職員の資質向上を図るとともに、自らの見識を広めることを目的としたものである。高専・大学を中心にお声かけをして、本校教育研究支援センター主催で技術職員研修を開催した。

令和元年度 第2回 舞鶴工業高等専門学校 技術職員研修

開催日：令和元年9月6日（金）

場 所：舞鶴高専 図書館 1階ワークスペース

参加者：高等専門学校および大学職員 9名



開会に先立ち、本校桑原事務部長の挨拶で幕を開け、本校教育研究支援センター北代副技術長による研修日程の説明があった。午前には本校の内海校長による講演「北近畿地域の産学連携」が行われた。地域の課題と地方創生や北近畿地域における構想と活動などをお話いただき、大変有意義な講演だった。

午後からは本校機械工学科室巻准教授・教育研究支援センター櫻井第1部門員・石井第1部門長による実習「レーザー加工機でノギスをつくろう」を行った。初めに室巻准教授よりレーザーの仕組みや、レーザー加工機を用いて作成した作品例などを写真とともに説明して、その後ノギスの作製を行い、合わせて実習工場の見学も行われた。



次に行われたワークショップでは事前に提出していただいた自己紹介カードを基に参加者が自己紹介を行い、持ち寄った議題について討論が行われた。主に「高専と大学の技術職員の違い」や「技術職員のこれからの在り方」などが議論され、各高専の特徴や取組み、色々な意見を知る良い機会となった。

地域共同テクノセンター

地域共同テクノセンター長 玉田 和也

地域共同テクノセンターは地域貢献活動の推進、および地域の企業や官公庁との連携の強化を目的として、種々の活動を実施しています。平成31（令和元）年度の主な活動内容を以下に報告します。

1. 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）

地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）は、地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）で築いた地域の拠点としての役割と経験を生かして、地域に貢献できる技術力を有する学生を育成し、学生の地域への定着を目指す事業です。地域共同テクノセンターはCOC+事業の推進にも貢献しています。本事業は、今年度で完了となりますが、事業の継続及びフォローアップについては引き続き取り組んでいくことになります。

2. 舞鶴高専地域テクノアカデミア

舞鶴高専地域テクノアカデミアは、本校と地域産業界の連携強化のために設立された企業団体です。地域共同テクノセンターはその活動推進を担当しています。今年度は、7月2日に総会、10月31日に以下の2件の講演会と、関西電力株式会社様のご協力により、舞鶴発電所の見学会を実施しました。

- ・人文科学部門 荻田みどり講師 「『源氏物語』の食の世界」
- ・電気情報工学科 七森 公碩助教 「新素材半導体のパワーエレクトロニクス応用」



荻田講師の講演

七森助教の講演



集合写真



関西電力(株)舞鶴発電所 角倉所長

発電所内の見学の様子

3. 科研費説明会

科研費の獲得を目的として、本校教職員を対象とした科研費説明会を5月9日（木）、6月6日（木）および7月11日（木）の3回に渡って開催しました。科研費を取得した経験をもつ本校教員を講師として、今年度は第1回を七森教員に、第2回を清原教員に、第3回を牧野教員に応募準備と書類作成について各先生が工夫されている点をわかりやすく説明してもらいました。また、研究テーマの整理方法や研究グループ作りなど、科研費応募に向けた準備に関して、テクノセンター副センター長の内海淳志教員が説明を行いました。



科研費説明会

4. 研究グループの構築

高専全体の運営交付金の減額が続く状況において、外部資金を獲得することは不可欠となります。また充実した教育を行うためには、教職員が関係する分野における科学・技術や教育方法などの研究が必要です。本校においては、これまでに外部資金の獲得のための説明会、科研費の申請書へのアドバイス、教員とKRAとの研究テーマについての面談、研究推進・産学連携本部が行う研修会への参加などを行ってきました。

より活発な外部資金の獲得と教育研究を含む研究を推進するために、「研究グループ形成支援事業」を創設し各分野あるいは分野を横断したメンバーから構成される研究グループを構築することにしました。これにより、複数の教職員が連携して、より広いあるいは深い教育・研究のテーマの発見や内容の展開、研究の企画・申請・実施の能力の向上、講演や論文数の増加、研究成果の教育への還元などの効果を期待するものです。

平成31（令和元）年度は、本校の研究活動の活性化（学会発表、論文掲載など）、外部資金獲得（国プロ、科研費、企業との共同研究、その他）の大幅向上を目的として、研究グループの形成および研究グループによる外部資金獲得に向けた必要経費（予算上限40万円/年）に対して支援を行いました。採択された研究グループについては、本事業の趣旨に即し成果報告を求め、その報告に基づいて事後評価を行うこととします。

本年度は、8件の申請があり予算総額200万円の枠内かつ申請内容のうち対象外の予算科目を除いた上で6件が採択されました。

5. 展示会

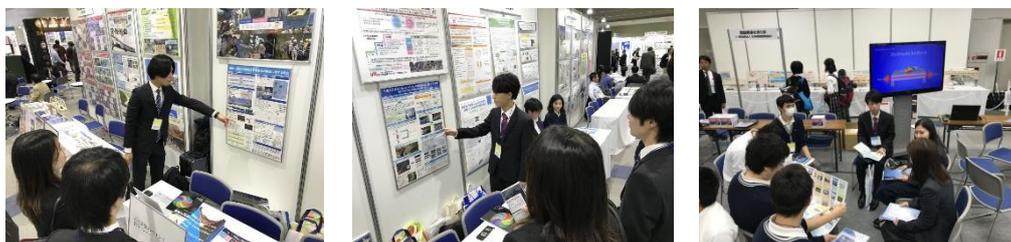
舞鶴高専および教員の研究成果をPRするために積極的に展示会に出展しています。

(1) 建設技術展2019近畿（10月23日、24日）



「マイドームおおさか」にて開催された建設技術展2019近畿に学校ブースを出展しました。今年度の建設技術展は、ブース数226（内、学校14ブース）、来場者数延べ14,238人でした。

舞鶴高専の学校ブースでは、学校紹介、学生募集、学科紹介、iMecの紹介などのパンフレットの配布を行いました。多くの進路先企業の皆様と情報交換を行うとともに、舞鶴高専のOB/OGがブースにたくさん足を運んでくれました。また、建設工学コースの専攻科生も帯同し、特別研究のポスター発表と2日目の「学生のためのキャリア支援～相談にのります、将来への道づくり～」に参加しました。



6. 公開講座・出前授業

舞鶴高専では、地域貢献の重要な手段として、公開講座と出前授業に積極的に取り組んでいます。平成31（令和元）年度は公開講座を66件、出前授業を32件実施しました。地域共同テクノセンターは公開講座・出前授業を管轄しており、その推進のための環境を整備しています。



「はまっこ夜の市」
プログラミング体験教室
光の性質を利用した工作



与保呂小学校出前授業
「真空で遊ぼう」



北部産業創造センター

7. ナノテクノロジー教育センター（ntec）

IoT時代を迎えた今、ナノテクノロジーの基礎となる知識と技術が高専においても必要とされています。ナノテクノロジーの基礎知識を学ぶためには、成膜、リソグラフィ、ドライエッチング、観察のプロセスが必要で、それに対応する装置として、ナノテクノロジー教育センターには真空蒸着装置、走査型電子顕微鏡（電子ビーム描画可能）、走査プローブ顕微鏡などの装置がクリーンルーム（クラス1000）内に設置されています。

この機器を利用して、公開講座「小・中学生のためのナノテクノロジー体験教室」を令和元年11月17日（日）に実施しました。この公開講座では、清原教員と電子制御工学科5年3名が、地球とビー玉の対比を例としたナノメートルのスケールの説明や、スマートフォンや記憶メディア、IoTなど、身の回りの製品にナノテクノロジーが多用されていること、超微細加工のプロセスを説明しました。また、光学顕微鏡を組み立ててもらふことで、その仕組みを理解してもらふとともに、製作した光学顕微鏡でインプリントしたマイクロギヤの観察を行うことで、自分たちが作れるものでナノの世界に触れることができました。

本研究で開発したポータブル超音波振動液滴室温ナノインプリントシステムを用いてインプリントを行いました。インプリント時間中には講座の内容に深くかかわるナノメートルやマイクロメートルといった小さな単位を感覚的に理解できるよう、髪の毛の太さやインフルエンザウイルスの大きさ、原子の大きさなどを大きい順に数直線上で並べる並び替えクイズをしてもらい、詳しく解説を行いました。最後に、インプリント結果を光学顕微鏡で観察し、インプリント結果のマイクロギヤの刃先円直径を計測し、算出してもらい、マイクロ、ナノといった大きさを実感してもらえました。



ナノテククイズ [モノの並べ替え]



マイクロピペットによる液滴練習



光学顕微鏡 [300倍] の製作

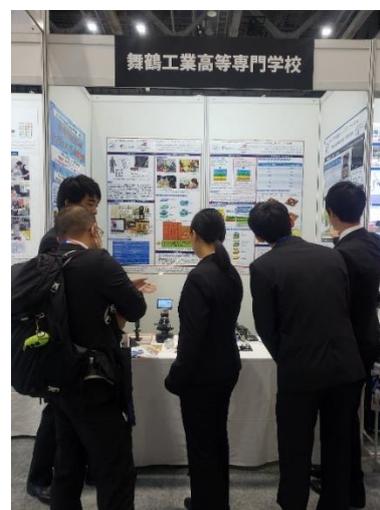


インプリントによるマイクロギャパターンの形成

5年生は卒業研究，また展示発表などを行うためにナノテクノロジー教育センターを利用しています。清原研究室では産学官共同研究の下でPDMSモールドを用いた超音波振動液滴室温ナノインプリントによるダイヤモンドライクカーボン (DLC) ドットアレイやマイクロギャの作製を行っており，転写パターンやイオンシャワー加工後のDLCパターンの観察に走査プローブ顕微鏡を使っています。この得られた研究成果は，THE高専@SEMICON Japan 2019（令和元年12月11日～13日，東京ビックサイト）で展示発表して，プレゼン大会敢闘賞の成果をあげました。



高専@SEMICON Japan 2019（2019.12.11-13，東京ビックサイト）プレゼン大会敢闘賞



石川研究室では有機EL材料を応用した有機放射線検出器の開発を行っており，真空蒸着装置を用いて有機デバイスを作製しています。小林研究室では，電子ビーム描画により作製したナノ構造を使って，ナノ構造周りの流れの様子を明らかにしようとしています。内海研究室では，表面プラズモン共鳴吸収を利用したカラーフィルタや太陽電池の開発を行っており，その成果を論文誌（Optical Review）や応用物理学会で発表しました。

今後，ナノテクノロジー教育センターは，ナノテクノロジーの基礎知識の習得の場として，また地元企業に対して最先端のナノテクノロジー（超微細加工技術）に触れる場として産学共同研究の拠点となることを望んでいます。

8. その他

地域共同テクノセンターとしての今年度のその他の事業としては，本館1階玄関に設置されている電子掲示板の再稼働と教員研究室前へのピックアップレールの設置を行いました。いずれも，学生はもとより来校された保護者や企業の方々に対して舞鶴高専のことをよく知っていただき，地域貢献や研究推進に資することを目的としています。電子掲示板について，今年度は教員のシーズ集と公開講座の報告書及びテクノアカデミア会員の企業紹介を表示するように設定しました。表示コンテンツについては，教職員からのアイデアを募集して来年度も継続していく予定です。ピックアップレールについても各教員の研究成果や卒研ポスター等を掲示していただき，学生や企業の方々への情報提供をお願いします。

社会基盤メンテナンス教育センター (iMec)

社会基盤メンテナンス教育センター長 玉田 和也

安全・安心な暮らしには、橋梁やトンネル、高速道路等の社会基盤（インフラ）の適正な維持管理が不可欠です。インフラの老朽化が全国的に問題となる中、市町村では技術力不足のため適切な維持管理が困難な状況にあります。『建設』から『維持管理』へ思考を転換し、インフラの維持管理や修繕等に対応できる人材の育成が急務となっています。

1. 社会基盤メンテナンス教育センター (iMec) 講習会

iMecでは、e+iMec講習会において、全国の建設系の高専生、行政機関技術職員、民間企業技術者等を対象に、地域インフラを守る建設技術者のためのメンテナンス技術力向上プログラムを実施しています。

e+iMec講習会では、事前学修として講習会2週間前よりeラーニングを行い、iMecでの講習会は体験型学修に重点を置いてアクティブ・ラーニングを行うことで、効率的かつ効果的な教育を行っています。学修ニーズに対応して、橋梁点検、舗装と防水層、コンクリートの品質管理、地盤と斜面、鋼構造物の非破壊検査の講習会を実施しており、今年度はe+iMec講習会を20回開催し、185名が受講しました。また、令和2年3月末時点での累計受講者数は、1003名です。

橋梁点検技術者育成のステップアップ型教育プログラムとして、基礎編（橋梁点検）と応用編（橋梁点検）を実施しており、講習会修了後に実施する技術資格認定試験の合格者には、(独)国立高等専門学校機構として技術資格(准橋梁点検技術者及び橋梁点検技術者、橋梁点検技術者は国土交通省登録資格)を認定しています。令和2年3月末時点での資格登録者数は、准橋梁点検技術者338名、橋梁点検技術者は22名です。

“e+iMec講習会”

舞鶴工業高等専門学校公開講座

produced by Infrastructure Maintenance Educational Center



～地域インフラを守る建設技術者のためのメンテナンス技術力向上プログラム～

eラーニングと講習会を組合せたアクティブ・ラーニング(能動的学修)

オンデマンド型自己学修支援システム

- ・講習会前の事前学修
- ・講習会後の継続学修



社会基盤の維持管理に関する実践的教育施設で座学と体験型学修による効果的な教育を実施

《 橋梁点検技術者育成のためのステップアップ型教育プログラム 》

e+iMec講習会
【橋梁点検】

応用編

「橋梁点検技術者」認定講座

国土交通省が発注する
全ての橋梁形式の点検業務
を実施できるレベル

基礎編

「准橋梁点検技術者」認定講座

地方自治体が発注する
一般的な橋梁形式の点検業務
を実施できるレベル

導入編

		開催概要		受講実績 (R2.3月時点)	
基礎編	毎年度10回程度 4月～12月に開催 (月1・2回程度) 2日間講習@iMec	行政	195人	805人	
		民間	482人		
学生	128人				
応用編	毎年度2回程度 8月～9月に開催 3日間講習@iMec	行政	16人	77人	
		民間	61人		

- (独)国立高等専門学校機構認定技術資格(『准橋梁点検技術者』及び『橋梁点検技術者』)を取得可能
- 『橋梁点検技術者』は国土交通省登録資格(品確技資第170号・品確技資第183号)

技術資格認定登録状況 (R2.3月時点)

准橋梁点検技術者 338人 橋梁点検技術者 22人

iMec 舞鶴工業高等専門学校 社会基盤メンテナンス教育センター



2. 高専生向けインターンシッププログラム

8月26日（月）から30日（金）の5日間にわたり、iMec及び舞鶴市内の橋梁現場において、e+iMec講習会【基礎編（橋梁点検）】のカリキュラムを高等専門学校生向けに発展させたインターンシッププログラムを行いました。福島、長岡、木更津、和歌山、明石、阿南、徳山、呉の全国各地の高等専門学校から計18名が参加しました。

1日目に参加者の交流や橋梁点検に関する座学、橋梁部材の劣化サンプルを用いた実習を行い、2日目はコンクリート橋の現場実習と維持管理計画立案演習を行いました。3日目に鋼橋の現場実習と非破壊検査の実習を行い、4日目に舞鶴クレーンブリッジでの現場演習と本カリキュラムで実習した内容をプレゼンテーションにして発表しました。5日目に学修到達度確認試験を実施しました。試験の合格者は、准橋梁点検技術者として技術資格を認定しました。



3. 外部研修の受け入れ

（独）国際協力機構（JICA）主催の2019年度JICA研修（都市内道路整備コース）を受入れ、iMecにおいて「地方自治体における社会基盤メンテナンス人材育成について」の研修会を行いました。1回目（7月4日）は、アフガニスタン、イラク、東ティモール、ベトナム、イエメンの5カ国から6名、2回目（9月19日）は、ウガンダ、エチオピア、ガンビア、コンゴ民主共和国、ザンビア、ジンバブエ、タンザニア、ナイジェリア、ペナン、モザンビークの10カ国から10名が参加しました。研修会では、日本の橋梁の維持管理や技術者教育の実態について講義した後、橋梁部材の劣化サンプルの説明、iMecのコンクリート教材部材を用いて打音点検や電磁波レーダー法による鉄筋探査、赤外線サーモグラフィによる空洞探査などの体験学習を行いました。

iMecは、今後もインフラメンテナンス技術者の育成にますます尽力するとともに、予防保全の中核的施設として地域固有のニーズに応え、地域社会に貢献してまいります。



国際交流センター

国際交流センター長 藤田 憲司

1. 国際交流センターの運営

国際交流センター運営委員会のメンバーおよび業務分担は以下のとおりである。

氏名	業務分担	備考
藤田 憲司	統括, 研修旅行訪問大学との連絡調整, 訪問大学での学生交流のための学生指導, ポーツマス大学との協定	国際交流センター長
山根 秀介	KMITL 留学生受け入れ主担当, 研修旅行訪問大学での学生交流のための学生指導	人文科学部門
大内 真一郎	研修旅行訪問大学との連絡調整, 訪問大学での学生交流のための学生指導, 国際交流学生大使 (SA) 指導	人文科学部門
岡田 浩嗣	KMITL 留学生受け入れ主担当	自然科学部門
喜友名 朝也	トビタテ! 留学 JAPAN 申請支援 (高校生コース)	自然科学部門
小林 洋平	海外研修旅行訪問企業との連絡調整, 海外インターンシップ	機械工学科
丹下 裕	海外研修旅行訪問企業との連絡調整, トビタテ! 留学 JAPAN 申請支援 (大学生コース)	電気情報工学科
高木 太郎	海外研修旅行訪問企業との連絡調整, KMITL 留学生受け入れ担当学科との連絡調整	電子制御工学科
藤司 純一	トビタテ! 留学 JAPAN 申請支援 (高校生コース)	電子制御工学科
毛利 聡	海外研修旅行訪問企業との連絡調整, KMITL 留学生受け入れ次年度担当学科との連絡調整	建設システム工学科
窪田 仁	事務手続きの承認	総務課長
桑原 豊	事務手続きの承認	学生課長代理
嵯峨 信子	事務手続きの実施	学生課職員

2. 国際交流センターの活動概要

① 海外協定校からの短期留学生受け入れ (キングモンクット工科大学サマートレーニング)

令和元年6月10日(月)から7月13日(土)にかけて、協定校のタイ王国キングモンクット工科大学ラカバン校(KMITL)の学生1名(男子)をインターンシップ研修生として受け入れた。留学生を関西国際空港で出迎え、本校に引率後、オリエンテーションを行った。今年度は新しい取り組みとして、学生交流の活性化を目的に、本科一般科目の授業および専攻科英語授業への参加を強化した。留学生のホームルームを日本語教室に設置し、人文科学部門および自然科学部門の教員が管理・運営し、プレゼンテーション等の作成指導、自己研修プラン作成支援、最終報告会の準備支援を行った。また、留学生は京丹後市にある株式会社日進製作所でも5日間にわたって研修を行った。企業研修を終えて、本校に戻ってからは、電子制御工学科にて、同学科の若林教員指導のもと、LEGOを使ったメカトロニクス実習を行った。その他、英語担当の吉永教員とカーン教員にも協力を要請し、市内観光に引率した。保健体育Ⅲ(斎藤教員)の授業参観では剣道を体験し、華道部では顧問の村上教員と今村教員の協力のもと、コーチの田中先生に指導いただき、華道体験および華道部部員との交流を持った。研修の最後に、本校学生、指導教員、教職員等を変え、報告会を行い、野間電子制御工学科長より修了証が授与された。

② 海外インターンシップ

専攻科1年生を対象に、タイとマレーシアの大学もしくは企業で夏季休業期間内の約2~3週間にわたって実施される海外インターンシップの募集を行った。電気電子システム工学コースから2名、機械制御システム工学コースから2名、合計4名の応募があり、全員を希望通りタイのKMITLに派遣した。

研修期間は令和元年8月26日(月)から9月8日(日)までで、全員が先端製造技術革新学部(College of Advanced Manufacturing Innovation)に受け入れられ、各自の研究テーマに応じて、指導教員の研究室に配属され、研修を受けた。研修後には、本校で報告会を実施し、全員が単位認定された。

高専機構本部主催の海外インターンシッププログラムに専攻科建設工学コース1年生1名が応募した。令和2年2月23日(日)から3月14日(土)まで、マレーシアの東洋エンジニアリング株式会社にて研修を受けた。

③ ポーツマス大学との協定締結

令和元年7月8日(月)に英国ポーツマス大学のレイモンド・リー副学部長(グローバル・エンゲージメント担当)が本校を訪問し、協定締結に向けて、学内視察および情報交換を行った。今後のパートナーシップ構築について合意に達し、11月に了解覚書(MOU)を取り交わした。

④ 海外研修旅行

4年生が、令和元年11月12日(火)から16日(土)までの5日間、海外研修旅行に行った。学生は訪問大学において、折り紙、けん玉、竹とんぼ、かるた、輪ゴム鉄砲など、日本の伝統的な遊びを紹介するワークショップを開催し、活発に現地学生と交流した。各学科の主な訪問先および引率者は以下の通りである。

学科	訪問国	大学および企業	引率者
機械工学科	マレーシア	マレーシア日本国際工科院 日本電気電子マレーシア	西山教員, 谷川教員
電気情報工学科	ベトナム	交通通信大学 パナソニックアプライアンス	内海教員, 丹下教員
電子制御工学科	台湾	国立聯合大學 台湾デンソー	高木教員, 若林教員
建設システム工学科	ベトナム	国立建設大学 Takashi Niwa Architects	毛利教員, 上野教員

⑤ その他の活動

- ・「トビタテ! 留学 JAPAN」奨学金申請支援(高校生コースに2名が応募)
- ・国際交流活動を積極的に支援する有志の学生団体として、「国際交流学生大使」(Student Ambassador)を創設した。

知的財産委員会

知的財産委員会委員長 玉田 和也

1. 知的財産セミナーの開催

本科4、5年生を対象とした知的財産セミナーを令和元年7月11日（水）に開催しました。弁理士 後利彦氏に米中貿易戦争と知的財産権、中国による知的財産権の侵害、中国の知的財産権の事情、アジアにおける模倣品の侵害状況、特許とその書類、特許出願の手続き、伊藤ハムの特許を用いた具体的事例について講義していただきました。

知的財産権に関する基礎知識、また社会人になるに当たって最低限必要な特許の知識を学びました。非常に興味深く聞き入る学生が多く、積極的に発明クイズやミニテスト（講義の内容を踏まえた○×式）に解答する学生たちの姿が見られました。



2. 知的財産の授業（特許検索）

電子制御工学科4年生を対象とした知的財産の授業（特許検索）を令和元年10月7日（月）に実施しました。弁理士 乙部 孝氏、中富雄氏、渥美元幸氏、立川伸子氏の4名に特許検索の方法について、具体的な例に基づき講義と実習をしていただきました。

実際にINPIT（独立行政法人工業所有権情報・研修館）が運営する特許等の知的財産権関連の公報等を検索できるJ-PlatPatを使って検索しました。テキスト検索（キーワード、出願人や権利者の名称、公開番号や特許番号）と分類検索（出願内容から付された分類）の長所と短所を学び、それに基づき実際にPCを利用して検索を行いました。また、商標についても学び、その検索も行いました。



生命倫理委員会

生命倫理委員会委員長 玉田 和也

生命倫理委員会は、本校教職員が行うヒトを対象とする研究に対し、人間の尊厳及び人権が守られ、研究の適正な推進が図られるようにすることを目的としています。今年度は以下の日程で開催しました。

1. 生命倫理委員会の開催と審議内容について

○第1回生命倫理委員会：9月25日

- ・研究計画の倫理審査について（1件）

申請者 若林 勇太

研究課題名 「キッキングにおける情報処理能力モデルの基礎的検討」

○第2回生命倫理委員会：10月30日

- ・研究計画の倫理審査について（5件）

申請者 徳永 泰伸

研究課題名 「ホール客席部において知覚される音響的区分に関する基礎的研究」

研究課題名 「指揮者位置と客席部における聴感印象の違い」

研究課題名 「異なる光色環境における色の弁別」

研究課題名 「壁面投影時における投影面の表面状態と見え方の関係」

研究課題名 「開口部の変化と光環境に関する印象の関係」

○第3回生命倫理委員会：11月27日

- ・同意書の保存期間について

情報セキュリティ推進委員会

情報セキュリティ推進委員会委員長 片山 英昭

情報セキュリティ推進委員会は、本校の情報セキュリティに関わる専門的及び技術的問題の審議と、情報セキュリティの推進を行うことを目的にしている。

標的型攻撃やフィッシング詐欺など、インターネットにおける脅威は増加している。また最近では、マルウェア Emotet のように、感染した端末から抜き取った情報をもとに正規なやりとりに似た攻撃メールが送信されるようになり、届いたメールがウィルス付メールであると気づくことも難しくなっている。さらに攻撃対象は企業や個人だけでなく、教育機関を標的とする脅威も増えている。このようなことから、高専機構 CSIRT では脅威や事例を紹介し、各高専に注意喚起を行っている。本委員会では、その学内周知だけでなく、学内で発見された怪しいメールについても、緊急度に応じて注意喚起を行った。

このように高専機構 CSIRT などからの情報をもとに、学生や教職員に対して脅威に対する注意喚起を行ってきたが、残念なことに、今年度は情報セキュリティインシデントが複数回発生した。情報科学センターに連絡があってから非常時対策本部を立ち上げ、第 0 報を機構本部に報告するまでは時間がかかっている一方で、発見者から情報科学センターに報告があるまでに時間がかかっている事例が何回もあった。このことが、これまでに大きな問題をきたしていないが、この時間が長くなれば対策範囲が広がる可能性がある。そのため、発見者から報告があるまでの時間を短くするための対策が必要であると考えます。

高専機構では、IT 資産管理ソフトウェアを使用してソフトウェアを含む情報資産の管理を行っており、ソフトウェア管理規則に基づきソフトウェアライセンスの検査結果を毎年報告することになっている。今年度も、IT 資産管理ソフトウェア「ASSETBASE」(株式会社内田洋行が販売元)を使用し、教職員の協力のもとに検査報告を完了することができた。ただし、学内の情報資産を完全に IT 資産管理ソフトウェアで把握できているとは言えない状況である。資産管理ソフトウェアの管理体制及び情報資産購入時のフローについて見直しを行う必要がある。

ソフトウェアのライセンスについて、例年通り Microsoft 製品や教育機関向け無償版 AUTODESK 製品についての問い合わせが多かった。また、情報科学センターで一括管理しているソフトウェアがあり、Adobe 製品もその一つである。Adobe 製品に関しては、TLP や VIP といったライセンス形態での購入相談や購入が数件あった。

Windows 7 は 2020 年 1 月 14 日に延長サポートが終了するため、年度当初より、OS のアップグレードや OS の新規購入を計画的に行ってもらうように依頼を行った。そのため、大きな混乱が生じることなく、サポート終了を迎えることができた。来年度は、Office 2010 が 2020 年 10 月 13 日に延長サポートを終える。今年度と同様に、年度当初より、Office のアップグレードを行ってもらうように依頼したい。

機構本部による情報セキュリティ監査が今年度 10 月に実施された。前回監査の指摘事項に対して、前年度までに適切に対策を行ってきており、残っていたパソコンの持ち込み・持ち出し対策に関する規則も制定することができた。その結果、前回の指摘事項に関しては全て問題なしとなった。一方で、前回指摘されなかった事項の指摘を受けた。簡単な事項については、監査後すぐに対策を行ったが、学校全体で検討する事項については、情報セキュリティ管理委員会と連携し、規程や実施手順書を整備していきたい。

評 価 委 員 会

評価委員会副委員長 四蔵 茂雄

1. 自己点検・評価の実施

平成30年度の本校の年度計画と実績について自己点検・評価を実施し、本校ホームページで自己点検・評価書を公表した。点検項目は、高専機構が定めた第3期中期計画およびこれに基づいて定められた平成30年度計画に対応させて本校で設定した平成31年度計画に記載されている60項目である。

計画通りの活動が行われた案件は59項目、50%を超えているが100%に満たなかった案件が1項目確認された。計画に対して50%以下の実施となった案件はなかった。

平成31(令和元)年度の年度計画に基づく実績のとりまとめは、令和2年度初めに完了する。そのため、平成31(令和元)年度の自己点検・評価書の完成は令和2年度となる。

2. 外部評価委員会の開催

平成31(令和元)年度の外部評価委員会委員は下記の学外有識者の皆様に就任していただいた。

長岡技術科学大学	学長	東 信彦 氏
明石工業高等専門学校	校長	笠井 秀明 氏
舞鶴市中学校長会	会長	堺谷 正人 氏 (舞鶴市城南中学校長)
株式会社日進製作所	人事部長	室田 真司 氏
舞鶴市市民文化環境部	部長	西嶋 久勝 氏
京都新聞舞鶴支局	支局長	長尾 康行 氏
舞鶴工業高等専門学校後援会	会長	日下勢津子 氏

令和元年11月25日に、本校で外部評価委員会を開催した。議題は以下の5項目で、学校長ならびに本校の各担当教員から状況説明を行った。

1. 高専の概要について (内海康雄 校長)
2. 検討課題の状況について (四蔵茂雄 評価委員会副委員長)
3. 教務、国際交流について (高谷富也 教務主事)
4. 学生支援・寮生活について (小野伸一郎 学生主事)
5. 産学連携について (玉田和也 テクノセンター長)

委員からの質問・コメント等の議事内容は、本校ホームページに掲載される。



校長挨拶



教務・国際交流報告

3. 高等専門学校機関別認証評価の準備

令和2年度に機関別認証評価を受けるべく、学位授与機構へ申請手続きを行った。自己点検評価書の作成に向けて準備を進めた。事務局作成の第1次案を各委員会等で検討、加筆修正し、第2次案まで作成した。

F D ・ I C T 部 会

FD・ICT部会部会長 船木 英岳

本部会は評価委員会の下部組織として、主として教員の授業方法、教育指導等の改善に資する目的で、種々の取り組みを行っている。今年度の部会員（協力職員を含む）の構成と役割分担は表1のとおりである。

表1 FD・ICT部会構成員と役割分担

氏名	所属	主たる役割	氏名	所属	主たる役割
船木 英岳	電気情報	全体の連絡調整	窪田 仁	総務課	総務課連絡調整
宮崎 昭仁	自然科学	授業アンケート	桑原 豊	学生課	学生課連絡調整
豊田 香	機械	授業アンケート	芦田 康弘	総務課	全体事務の掌握、連絡調整
小林 洋平	機械	教育連絡会議	池澤 拓史	総務課	全体事務の掌握、連絡調整
中川 重康	電気情報	教育連絡会議	石井 貴弘	支援センター（協力）	授業アンケート設定及び集計
町田 秀和	電子制御	授業アンケート	金丸 亮太	教務係（協力）	授業アンケート設定補助
四蔵 茂雄	建設システム	教育連絡会議	能勢 嘉朗	支援センター（協力）	授業アンケート
KHAN, Samia Haseeb	人文科学	教育連絡会議、 授業アンケート			

1. 授業アンケート・達成度評価の実施

平成25年度から、1)「シラバスに沿う授業だったか」という設問と、2) 教育理念・教育方針の認知状況調査と図書館及び情報科学センターにかかる満足度調査を、それぞれ追加した。また、平成27年度JABEE受審への対応のために平成27年度から、「自習時間の調査」と「COC関係科目の調査」の2項目を追加した。また平成28年度から、他教員の結果も含む本校で開講されている全科目の結果を参考資料として全教員に開示することになった。これは、自分のものだけでなく、他の教員の結果も見ることにより、教員間の議論が促され、学校全体の授業改善に繋がるのではないかという考えに基づくものである。平成31（令和元）年度は、前年度の授業アンケートに各教員が記載した「課題分析」と「今後の改善策」に対して、それぞれ自己分析を行い、「前年度からの達成度に関する自己分析」を記載する項目を追加した。

アンケートの実施期間は、前期分が令和元年9月25日～10月11日、後期分は令和元年2月3日～3月6日とした。

2. 授業参観の実施

令和元年6月17日～28日に実施した。全教員は他の教員の授業を一つ以上参観し、その結果を授業参観報告書にまとめ提出した。参観教員は、参観結果に基づいて自身の授業改善に参考になる点について整理できた。

3. 教育連絡会議

令和元年11月27日、29日に教育連絡会議を開催した。平成25年度から教育連絡会議の開催回数を年1回にして、全教員を4つのグループに分けて年度毎に主たる検討テーマを設定している。今年度のテーマは、(1)5年生の選択科目の欠席、(2)英語教育、在学中の海外留学、ポーツマス大学との連携、(3)女子にやさしい舞鶴高専とは、(4)講義運営について（板書・スライド・学生指名・出題ポリシー）、(5)高専生に必要とされる学力と社会実装力、(6)主査の設定したテーマ、を設定して討議した。

各グループでは上記のテーマの中から二つ以上を選択して活発な議論を行い、それらの結果は各グループの主査から当部会へ報告された。

4. FD・ICT特別講演会

今年度の特別講演会は前期と後期にそれぞれ開催した。

前期講演会

日 時：令和元年8月1日（木） 14:00～15:00

講演者：川口友之 氏 独立行政法人国立高等専門学校機構 本部事務局総務課法規調査室長
(併) 沼津工業高等専門学校総務課専門員

題 目：「学生指導に係る学校の法的義務と権限」

川口先生は、東京大学法学部卒業後に旧文部省で法規業務に従事され、中央省庁で法規に携わった経験と、高専で現場の実務に携わっている経験を買われて、平成20年から高専機構本部で法規調査室長を務められている。学生指導・学生支援に関わる学校の法的義務について実際の法令紹介を交えてご講演いただき、教職員が法令を踏まえた学生指導・学生支援について学ぶ貴重な機会となった。

後期講演会

日 時：令和元年12月2日（月） 14:00～15:30

講演者：鶴見智 氏 独立行政法人国立高等専門学校機構 本部事務局学生総括参事

題 目：「危機管理と学生指導支援」

鶴見先生は、平成元年に群馬高専一般教科に着任され、平成30年までに同高専で副校長や教育改革担当校長補佐等を歴任された後、平成31年から高専機構本部事務局学生総括参事として活躍されている。高専における学生指導支援の現状や教員の危機管理体制についてご講演いただき、講演後も予定時間を超えて多くの質疑応答があり、教職員が学生指導・学生支援について学ぶ貴重な機会となった。

5. 授業公開の実施

今年度は表2に示すとおり授業公開を実施した。

表2 授業公開実施内容

番号	授業科目	クラス	実施教員	実施日	主 査
1	総合英語 I B	1-1	藤田 憲司	R2/1/9	児玉 圭司
2	保健体育 I	1-3	木村 健二	R2/1/15	小野 伸一郎
3	材料力学 I B	3M	谷川 博哉	R2/1/15	篠原 正浩
4	電気機器 II	4E	七森 公碩	R2/1/20	芦澤 恵太
5	電子工学 II	2S	清原 修二	R2/1/16	高木 太郎
6	建築論 II	5C	今村 友里子	R2/1/10	尾上 亮介

授業を公開した教員は、学内評価者と学外評価者による授業評価、学生の意見および教員や保護者によるアンケート結果を基にして授業改善プランを検討し、報告書を提出した。なお平成26年度から、授業公開時間を従来の75分間から60分間に短縮することにより、従来は90分間の授業コマの終業ベル後に行っていた「授業公開後の主査・学内評価者・学外評価者と授業担当者との意見交換」を、授業コマ内に行うように実施スケジュールを変更した。この変更により、当該授業公開の直後のコマに授業をもつ教員も主査や学内評価者になることが可能になった。平成29年度から1年ごとに前期後期を交互に実施することになっていたが、今年度は授業公開を前年と同じ後期に実施した。来年度は前期に実施する予定である。

広 報 委 員 会

広報委員会副委員長 尾上 亮介

広報委員会の活動概要

平成31（令和元）年度の広報委員会の活動概況は次の通りである。

1. 役割分担

学校概要	尾上亮介，喜友名朝也（事務部：総務係）
学校だより	中川重康，徳永泰伸（事務部：総務係）
年報	小林洋平，尾上亮介（事務部：総務係）
ホームページ	高木太郎，徳永泰伸，尾上亮介，喜友名朝也，能勢嘉朗 （事務部：総務係，教務係，学生支援係，財務係）
写真	田村修一，高木太郎（事務部：総務係）

2. 広報誌等の刊行について

令和2年度「学校概要」は，基本的な紙面構成はそのままに更新を行った。表紙は色彩構成を変更することで前年度からの連続性のあるデザインに変更を行った。8月に発行することが出来た。教員全員への配布は行わず，外部への配布部数の確保を行った。

「学校だより」は，第141，142号を発行し現在143号（3月予定）の編集集中である。「学校だより」は，広く保護者や関係各所への配布が必要である為，次年度以降も紙媒体での発行を予定している。

「年報」は，平成31（令和元）年度について小林委員を中心に編集発行作業を進めている。

「ホームページ」は，ニュースなどの更新がコンスタントに行われ，情報発信ツールとして活用されている。ニュース掲載を出来るだけスムーズにするために，投稿されたニュース記事の確認方法を整えた。本年度は問題なく機能した。ホームページに学生の日常生活や学校の普段の風景などを伝える，「ブログ」を設けることが決定された。様々な視点で学校の日常風景を「ブログ」に掲載し，保護者や企業等に本校の魅力を広く発信する。

前年度から検討されてきた学校ホームページのリニューアルについて，広報委員会HP編集部会を立ち上げ，広報委員だけではなく学術情報センターの片山委員，昨年度の広報委員でありホームページ担当の室巻委員が加わり，リニューアルを進めた。昨年度整理された内容を基礎に調整を行った。担当業者の選定を行い，担当業者が決定した。メンテナンス性に優れセキュリティ性が高くなり，舞鶴高専の魅力が中学生や保護者，地域への発信力のあるホームページを目指して作業を進めている。4月の本格移行に向けて3月からは試験運用が行われる。次年度4月以降，実際に運用しながら内容のさらなる更新や微調整をおこなっていく予定である。

3. その他

広報委員会では，例年，学校行事などで写真撮影を行っている。学校行事だけではなく，校内の木々の変化など季節を感じる美しい風景を撮影している。写真は広報物に活用された。



更新予定のHPトップページ（案）

教育プログラム(MDE)委員会

教育プログラム(MDE)委員会委員長 西山 等

1. JABEE説明会について

本年度は、下記の通り、JABEE説明会を実施した。
4月18日(木) 専攻科1年生全員対象：17名参加

2. 「総合システム工学」教育プログラム修了生数について

平成31(令和元)年度の「総合システム工学」教育プログラム修了生は、電気電子システム工学コース4名、機械制御システム工学コース5名、建設工学コース5名、計14名である。現在までのプログラム修了生の数を以下に示す。

修了年度	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	平成31 (令和元)
プログラム修了生	21	16	17	15	16	18	22	19	14
専攻科修了生	20	17	17	15	16	19	22	19	14

3. 教育プログラム(MDE)委員会の活動記録

○平成31年4月11日(木) 第1回教育プログラム(MDE)委員会の開催
(協議事項)

1. 他高専からの専攻科入学生の対応について
2. 平成30年度教育点検システムにおける点検項目に関する報告書について
3. 4年生以上の授業に係わる答案・レポートの整理について
4. その他

(報告事項)

1. JABEE 説明会開催について
2. 到達度確認表について

○令和2年2月5日(水) 第2回教育プログラム(MDE)委員会の開催(専攻科委員会との合同開催)
(協議事項)

1. 専攻科2年生の修了認定について
2. 専攻科2年生の教育プログラム修了認定について

○令和2年2月5日(水) 第3回教育プログラム(MDE)委員会の開催
(協議事項)

1. 専攻科2年生の修了認定について
2. 令和元年度教育点検システムにおける点検項目に関する報告書について
3. 4年生以上の授業に係わる答案・レポートの整理について

進路指導委員会

進路指導委員会委員長	芦澤 恵太
進路指導委員会副委員長（就職）	尾上 亮介
進路指導委員会副委員長（進学）	岡田 浩嗣

1. 平成31（令和元）年度の活動報告

1. 1 委員会報告事項、協議事項

○第1回進路指導委員会（平成31年4月1日）

- (1) 進路指導委員会の実施体制について (2) 就職活動について (3) 進学活動について
(4) 報告書の提出方法 (5) インターンシップについて (6) 年間スケジュールについて

○第2回進路指導委員会（令和元年7月10日）

- (1) 予算案について (2) 進路活動状況 (3) インターンシップについて

○第3回進路指導委員会（令和元年9月25日）

- (1) 進路活動状況 (2) ガイドラインについて (3) 合同学校説明会について
(4) キャリアセミナーについて (5) 進路ガイダンス（体験談）について

○第4回進路指導委員会（令和元年11月20日）

- (1) 進路活動報告書および就職活動報告書について (2) 就職開拓について
(3) 面談記録について (4) 合同学校説明会について (5) キャリアセミナーについて
(6) 指定校推薦について (7) 学外イベントについて

○第5回進路指導委員会（令和2年1月8日）

- (1) 進路活動状況 (2) 予算執行について (3) CMSシステムの利用について
(4) 誓約書・進路アンケート・3者面談について (5) 次年度イベントについて

1. 2 進路ガイダンス

今年度の進路ガイダンスの実績を表1に示す。本科1年から4年を対象に合計21回のガイダンスを実施した。多くは、委員長および両副委員長が講師を務めたが、学生への直接指導を行っている5年担任が2年生へのガイダンスを、外部講師が「身だしなみ講座」（本科3, 4年生, 専攻科1年生対象）を実施した。

1. 3 合同学校説明会（令和元年12月7日開催）

本科3, 4年生と専攻科1年生を対象とする合同学校説明会を本校で開催した。今年度より本科2年生にも声掛けを行った。（約180名の学生が参加し、保護者も約40名の参加があった。）今年度は昨年度より6校多い16校（本校専攻科、資料提供のみの電気通信大学を含む）の参加があった。学生の進路選択にとって有意義な説明会となった。表2に参加校を示す。

1. 4 キャリアセミナー（令和元年12月14日、15日開催）

対象は本科3, 4年生, 専攻科1年生およびその保護者, 専攻科進学予定の本科5年生, 本科2年生の希望者であり、参加学生数は延べ419名であった。1日目、2日目それぞれ60ブース（地方自治体等を含む）、2日間で120ブースの出展があった。

1. 5 三者懇談会

進路に係る三者懇談会を令和2年3月14日、15日の2日間で実施した。対象学年は本科4年生ならびに専攻科1年生である。新型コロナウイルスによる感染症対策として、本科棟の一般教室を使用し、面談室として十分なスペースを確保しての実施となった。対面ではなく電話等での置き換えも周知したが、多くの学生が対面での懇談を希望する結果となった。

2. 平成31（令和元）年度の進路状況

2. 1 求人活動

平成23年度以降、求人会社数は順調に増加し、リーマンショック前の平成19年度、20年度の値を超え、令和2年春採用（本科5年生）に対しても900社を超える企業から求人を頂いた。しかし、今後の社会情勢を見据え、企業訪問や面談を引き続き丁寧に積み重ねると考えている。令和3年春採用（本科4年生）に向けて就職開拓として企業訪問を計画していたが、新型コロナウイルスの影響で、多くの出張が取り止めとなった。また、例年であれば繁忙期である2月後半からの面談も激減した。それに代わり、webでのセミナーなどが台頭してきており、委員会としてweb会議システムを整備するきっかけとなった。

2. 2 進路状況

近年は就職を希望する学生比率が増加傾向であったが（平成27年度55%、平成30年度62パーセント）、今年度は54%の学生が就職を希望する結果となった。少子化を背景にした企業側の求人熱の高さの中で、学生が決めきることができず、希望が定まるのが遅れたことも原因の一つであると分析している。また、第一希望への内定率が約80%と低調となったことも同じ問題が背景にあると考えている。この状況は、次年度以降も続くことが予想される中、今後の指導に活かして行きたいと考えている。

表1 進路ガイダンス

対象	開催日	備考
本科1年生	平成31年 4月10日	新入生合宿研修における講話
	令和元年 5月13日	ガイダンス（中間試験2週間前の勉強モチベーションUP）
	令和元年11月 6日	ガイダンス（高専祭気分からの脱却を意識して）
本科2年生	令和元年 5月13日	ガイダンス（試験2週間前）
	令和元年 7月 8日	進路ガイダンス（学科教員による学科別ホームルーム）
	令和元年11月 6日	ガイダンス（高専祭気分からの脱却を意識して）
本科3年生	令和元年 5月20日	進路ガイダンス（昨年の動向とこれからの心構え）
	令和元年10月 4日	就職ガイダンス（5年生の就職活動体験談）
	令和元年10月 7日	進学ガイダンス（5年生の進学活動体験談）
	令和元年11月25日	ガイダンス（席次の重要性和合同学校説明会について）
	令和元年12月 9日	ガイダンス（キャリアセミナーについて）
本科4年生 専攻科1年生	令和元年 5月 8日	進路ガイダンス（昨年の動向とこれからの心構え）
	令和元年 7月 3日	進路ガイダンス（身だしなみ講座：外部講師）
	令和元年 8月 3日	進路ガイダンス（インターンシップ事前説明会）
	令和元年10月 4日	進路ガイダンス（5年生の就職活動体験談）
	令和元年10月 7日	進路ガイダンス（5年生の進学活動体験談）
	令和元年11月25日	進路ガイダンス（合同学校説明会について）
	令和元年12月 3日	進路ガイダンス（キャリアセミナーについて）
	令和元年12月18日	進路ガイダンス（ガイドライン・進路アンケートについて）
	令和 2年 2月20日	就職ガイダンス（就活に向けた心得・諸注意）
	令和 2年 2月21日	進学ガイダンス（進学希望者に対する諸注意）

※進路アンケート1次締め切り：令和2年1月6日（～2者面談期間～）2次締め切り：令和2年1月31日

表2 合同学校説明会参加校（舞鶴高専専攻科除く）

大阪大学	岡山大学（工学部）	岡山大学（理学部）
岐阜大学	九州工業大学	京都工芸繊維大学
千葉大学	電気通信大学（資料配布のみ）	同志社大学（文化情報学部）
豊橋技術科学大学	長岡技術科学大学	奈良先端科学技術大学院大学
兵庫県立大学	福井大学	和歌山大学

学 生 相 談 室

学生相談室室長 児玉 圭司

1. 学生相談室スタッフ

本年度は、学生相談室長・児玉圭司（人文）のほか、田村修一（人文）、上杉智子（自然）、木村健二（自然）、谷川博哉（機械）、村上信太郎（機械、10月途中まで）、七森公碩（電気）、清原修二（制御）、渡部昌弘（建設）、由良耕士（学生課長補佐）、清水智苗美（看護師）、黒田友基（カウンセラー[精神科医]）、中川亜希（カウンセラー[臨床心理士]）、坂口なぎさ（カウンセラー[臨床心理士]）の体制で相談室を運営した。

2. 相談体制・相談件数

平成29年度から、自殺予防対策の一環として、臨床心理士のカウンセラーに原則として週3日ご対応いただいているが、今年度も同水準の対応を維持できた。精神科医のカウンセラーには従来通り月1回（原則として第2週の火・水曜日のいずれか）来ていただいた。

教職員のスタッフによる相談も随時受け付けているが、その大部分は看護師の清水先生に担っていた。

本年度の相談件数は延べ637件、うち教職員への相談件数が285件、精神科医への相談件数が6件、臨床心理士への相談件数が352件であった。件数としては昨年度と同水準（微増）であり、大きな変化は認められない。

3. 「学校適応感尺度調査」の実施

今年度は、昨年度後期に導入した「学校適応感尺度調査」を、5月と10月に実施した。本調査は、学生が抱える悩み・問題などを初期段階から把握し、状況に応じた支援・対応を行うためのものであり、その実施にあたって本校ではMoodleを利用している。調査結果を踏まえて面談対象者を選定し、担任・コース長または学生相談室員が面談を行った。面談対象となった学生は、5月の調査が158名、10月の調査が91名であった。面談ののち、カウンセラーに繋ぐことのできた学生も複数存在する。

4. 教職員研修の実施ほか

本年度は、教職員を対象に以下の研修・講演を実施した。

6月27日（木） 舞鶴高専新任教職員向け研修「学生のメンタルヘルス 危機状況への理解と対応」
講師：坂口なぎさ先生（本校カウンセラー、臨床心理士）

12月4日（水） 国立高等専門学校機構第3ブロック学生支援・男女共同参画共同化WG共催研修
「高等専門学校における合理的配慮について」
講師：船越高樹先生（京都大学学生総合支援センター、特定准教授）

5. 学生向けの活動

通常の相談業務以外にも、学生を対象として以下の事業に取り組んでいる。一昨年度から実施している「学生相談室 de ティータイム」では、今年度、本の交換会や塗り絵を企画した。

4月11日（木） 新入生合宿研修「舞鶴高専PEER～出会いと回復のピアプログラム」
（本科1年生対象、学生委員会を支援）

5月20日（月） 「メンタルヘルス講演会」（本科2年生対象、学生委員会と共催）
講師：中川亜希先生（本校カウンセラー、臨床心理士）

7月22日（月） 学生相談室 de ティータイム（企画：中川亜希先生）

12月12日（木） 学生相談室 de ティータイム（企画：坂口なぎさ先生）

2月 4日（火） 学生相談室 de ティータイム（企画：中川亜希先生）

6. 各種研究会、研修会、協議会への参加

学生相談に関する研鑽を積むため、また他校との学生相談に関する情報交換のため、下記に示す各種研究会、研修会、協議会に参加した（[]内は参加者名、敬称略）。

○令和元年度府立高等学校両丹地区保健研究協議会第1回総会・研究協議会

6月2日（月） 京都府立福知山高等学校[児玉]

- 近畿学生相談研究会（KSCA）・第152回例会
6月22日（土）摂南大学[村上]
- 第16回全国国立高等専門学校学生支援担当教職員研修
9月9・10日（月・火）学術総合センター[小野・児玉・清水]
- 障害学生支援理解・啓発セミナー
10月25日（金）新大阪丸ビル別館[児玉]
- 全国学生相談研修会
11月17～19日（日～火）東京国際フォーラム[児玉]
- 第63回京都府学校保健研究大会
11月28日（木）福知山市厚生会館[清水]
- 近畿地区高専カウンセリング連絡協議会
11月29日（金）ホテルアウィーナ大阪[児玉・清水]
- 国立高等専門学校機構第3ブロック学生支援・男女共同参画共同化WG共催研修
12月4日（水）本校中会議室（奈良高専主催）[教職員計13名]
- 令和元年度京都府立高等学校両丹地区保健研究協議会（第2回総会及び研修会）
12月6日（金）京都府立福知山高等学校[清水]
- 近畿学生相談研究会（KSCA）第52回特別例会
12月7日（土）京都橘大学[田村]

修学支援室

修学支援室室長 児玉 圭司

1. 修学支援委員会および修学支援室の設置とその経緯

令和元年10月に、修学支援委員会および修学支援室を設置した（6月に舞鶴工業高等専門学校修学支援委員会規程および舞鶴工業高等専門学校修学支援室規程を制定した上で、10月に担当教職員が確定し、組織として正式に発足したものの）。

これは、平成28年度に「障害者差別解消法」が施行され、学生を含む障害者への差別的取扱いの禁止が義務化されたことに伴い、発達障害など特性をもつ学生への合理的配慮の提供等、法に定められた対応を行うために行われた制度改正の一端である。

本校では従来、教務主事・教務委員会を中心に、特別支援教育連絡協議会を開催して情報の共有を図るとともに、担任・コース長が保護者・学生と連絡を取りあって対応してきたが、近年、同法の施行もあって、中学校等からの申し継ぎや保護者からの問い合わせが増加傾向にあった。そこで、担任個人の負担を軽減し、学校・チームとして組織的な対応を行うために本組織が設けられた。

2. 支援室および支援委員会の体制

修学支援室は、室長の児玉圭司（人文）のほか、室員として上杉智子（自然・教務主事補）、木村健二（自然・学生主事補）、村上信太郎（機械・寮務主事補）、山根秀介（人文）の教員4名、さらに特命教授・後野文雄（特別支援教育士スーパーバイザー）、特命助教・橋本茂の両名で構成されている。

常勤教員の室員は、保護者・学生からの申し出があった際に、担任とチームを組んで、対応や合理的配慮に関する検討・調整をコーディネートする役割を担う。後野特命教授は、個別相談に応じていただくほか、個別の事案について専門的知見をもとにご助言をいただき、本校の対応に反映する。橋本助教には、中学校において通級指導教室などでの指導をなさっておられた経験を生かして、学生へのスキルトレーニングや定期的な面談を実施していただいている。

上部機関にあたる修学支援委員会は、修学支援室が検討した合理的配慮（または配慮が必要でない旨）に関する答申を踏まえ、本校としての意思決定を行う。

3. 活動実績

令和元年度の活動実績は、以下の通りである（修学支援室発足前、その前身にあたる組織の対応を含む）。

- ・ 修学支援室で対応した学生 14名
- ・ 後野特命教授による個別面談・助言等 のべ115件（保護者対応、学内協議・助言を含む）
- ・ 橋本特命助教による個別面談 対象学生 4名、のべ91回
- ・ 授業中の配慮に関する調整 2件
- ・ 入寮に対する合理的配慮の検討 3件

※修学支援委員会の承認を受けた「合理的配慮」は入寮選考に関わる3件のみであり、それ以外は、体制の整備前に行われた事案および、任意的な配慮によって対応した事案である。

4. 研修・発表等

《受講》（いずれも学生相談室報告に記載あり）

10月25日（金）障害学生支援理解・啓発セミナー
新大阪丸ビル別館[児玉]

12月 4日（水）国立高等専門学校機構第3ブロック学生支援・男女共同参画共同化WG共催研修
「高等専門学校における合理的配慮について」
講師：船越高樹先生（京都大学学生総合支援センター、特定准教授）
舞鶴工業高等専門学校中会議室[参加者13名]

《発表》

8月21, 22日（水, 木）令和元年度全国高専フォーラム ポスターセッション
「舞鶴高専における特別支援体制の構築と事例紹介」
北九州国際会議場[報告者：児玉]

入 試 広 報 部 会

入試広報部会部会長 野毛 宏文

1. 平成31（令和元）年度役割分担

平成31（令和元）年度の役割分担を以下の表（敬称略）に示す。

業 務	責任者	窓 口	備 考
野毛（機械）	総括	機械 その他	
丹下（電気）	パンフレット，チラシ，HP	電気	
清原（制御）	受験実績集計と中学校訪問先，資料配布先と部数の決定 入試説明会＋出前授業（会場，日時，内容調整）	制御	
徳永（建設）	ポスター，プレオープンキャンパス	建設	
牧野（人文）	在校生アンケート，キャンパスウォーク，女子中学生一日体験会	人文	
木村（自然）	オープンキャンパス	自然	
若林（制御） 七森（電気）	中学校訪問手持ち資料・パワーポイント作製 （中学校訪問用ppt，プレオープンppt，オープンppt， 入試説明会ppt）		
山田（機械）	顧問		5M 担任
川田（制御）	顧問		専攻科長

2. プレオープンキャンパス

プレオープンキャンパス開催，参加人数について以下の表に示す。

	日 時	場 所	参加生徒数	参加 保護者数
京都	R1. 5. 18（土）13:30～16:05 R1. 7. 6（土）12:30～16:00	京都テルサ	R1. 5. 18（土）45名 R1. 7. 6（土）55名	62名 62名
舞鶴	R1. 6. 9（日）9:30～11:50 R1. 6. 9（日）13:00～15:20	本校	午前 92名 午後 112名	148名 178名
三田	H31. 6. 23（日）13:30～15:30	さんだ市まちづくり 協働センター	12名	17名

3. オープンキャンパス

オープンキャンパス開催，参加人数について以下の表に示す。

	日 時	場 所	参加生徒数	参加保護者数
1日目	R1. 8. 10 (土) 8:30～15:20	本校	183名	253名
2日目	R1. 8. 11 (日) 8:30～15:20		184名	275名

4. 中学校訪問

中学校訪問について以下の表に示す。

	期 日	訪問校数	備 考
第1期	～R1. 5. 15 (水)	110校	南丹 (5)，京都市 (34)，山城 (22)，大津・草津・守山 (16)，湖北 (17)，但馬 (8)，湖東 (8)
第2期	～R1. 6. 5 (水)	80校	舞鶴 (7)，中丹 (14)，嶺南 (7)，丹後 (11)，但馬 (19)，湖西 (6) 草津 (9)，湖北 (7)
第3期	～R1. 6. 20 (木)	46校	三田 (8)，丹波 (15)，北播磨 (10)，川西周辺 (13)
第4期	～R1. 7. 5 (金)	23校	京都市 (16)，山城 (7)

5. 学校説明会

個別の中学校から合計21件の学校紹介の依頼を受け，指定された日時に説明会を行った。

6. 入試説明会

9～12月にかけて本校，京都，三田，守山，大津，豊岡，大阪で中学生，保護者，中学教員，塾講師向け入試説明会を計15回行った。生徒の申し込み件数は全体で194件あった。

7. その他の入試広報イベント

その他の主な入試広報イベントについて以下の表に示す。下の表の他に，公開講座等を行い，それらのイベントにおいて学校説明を行った。

イベント	日 時	場 所	参加生徒数	参加保護者数
中学校教員対象学校説明会 と学校見学会，体験講座	R1. 8. 6 (火) 11:15～14:05	本校	19名 (教員)	-
	R1. 8. 22 (木) 9:30～11:30		22名 (教員)	
	R1. 8. 30 (金) 13:00～15:20		4名 (教員)	
高専祭キャンパスウォーク	R1. 11. 2 (土) 10:30～	本校	39名	58名
	R1. 11. 3 (日) 10:30～		43名	72名
女子中学生一日高専体験会	R1. 12. 8 (日) 13:10～15:15	本校	25名	35名

留 学 生 委 員 会

留学生委員会委員長 高谷 富也

1. 在籍状況について

本年度、本校には国費外国人留学生3名、マレーシア政府派遣留学生1名、モンゴル政府派遣留学生1名の計5名の留学生が在籍しています。所属学科、学年等は次表のとおりです。高専の留学生は、3年次に編入学し、本人が学習を希望する学科に受け入れられます。

平成31年4月現在

名前（通称名）	性別	国籍	所属学科・学年	入学年度	備考
リキ	男	マレーシア	電子制御工学科5年	H29	政府派遣留学生
イポリテ	男	ルワンダ	建設システム工学科5年	H29	国費留学生
エルデネ	男	モンゴル	機械工学科4年	H30	政府派遣留学生
ビー	男	ラオス	建設システム工学科4年	H30	国費留学生
トゥフシュー	男	モンゴル	電気情報工学科3年	H31(R1)	国費留学生

令和2年3月には、リキ君（岡山大学に編入学）、イポリテ君（近畿大学高専専攻科に入学）が卒業しました。

2. 留学生支援について

留学生の勉学及び日常生活を支援するため、本委員会（委員長：教務主事）を開催して当該年度の事業計画を協議しています。留学生支援として見学旅行及び交流会の他に、相談員（チューター）等に経費支弁を行っています。

また、留学生用教材の購入、日本語教室の設備充実を図っています。

令和元年度行事

見学旅行：10月5日（土）・6日（日） 1泊2日

厳島神社参拝・散策・大和ミュージアム・宮島もみじまんじゅう作り体験

参加者：留学生5名、渡部教員、荻野学生支援係長 計 7名

学内交流会：12月10日（火）午後16時20分～ 青葉会館学生食堂

参加者：留学生、チューター、寮生会役員、学生会役員、卒業留学生クラスメート、教職員 約50名

3. 留学生の地域交流について

舞鶴国際交流協会との懇話交流会

7月6日（土）お化け屋敷・五老スカイタワー エルデネ、ビー、トゥフシュー及びタイからの短期留学生ゴット君が参加

4. 次年度の受入予定について

令和2年度の留学生は、受け入れがありません。

【追記】

令和元年度より、「国際交流センター運営委員会留学生部会」から「留学生委員会」に変更になりました。

教育改善委員会

教育改善委員会委員長 奥村 昌司

教育改善委員会は、本校の継続的改善システムを円滑かつ効果的に機能させるための活動を行っている。具体的には、教育プログラム（MDE）委員会および評価委員会でCHECKされた事項についてACTIONを行う役割であり、当委員会が必要と認めるときは、各学科・部門及び他の委員会に提議、付託または協力要請を行うことができる。今年度実施した事項を以下に挙げる。

1. 平成31（令和元）年度の教育プログラム（MDE）委員会の教育プログラム点検結果について

教育プログラム（MDE）委員会で作成された「平成31（令和元）年度教育点検システムにおける点検項目に関する報告書」について第1回委員会（令和元年6月20日開催）において審議し、単なる誤植の類いは当委員会において修正し、確認が必要と判断されたものについては各点検部署宛に修正依頼を行った。それらの回答内容はその後のメール審議に付された後、それらの修正を含む点検結果が、完成版として本校の教職員用グループウェアdesknet's NEOに掲載された。

交通対策検討委員会

交通対策検討委員会委員長 小野 伸一郎

1. 校内交通状況

校内における車・バイク・自転車の乗り入れを制限し安全環境を確保している。この車両乗り入れ制限について学生教職員の理解のもと定着が進んでいる。外部者が訪れる学校行事等や工事車両の進入などの情報提供も総務課からアナウンスがされている。引き続き校内交通の安全環境の整備を進めていく。

2. 校内の駐車場および標識の整備

学生委員会から、学生と外来者駐車場の区分を示すライン明示と校内交通標識の更新の強い要望がある。

安全衛生委員会

安全衛生委員会委員長 事務部長 桑原 豊

本委員会は、教職員の安全管理及び衛生管理の向上を図るため（舞鶴工業高等専門学校安全衛生管理実施規程 第11条）に設置されており、重要な事項について調査、審議を行っている。今年度の委員会構成は以下のとおりである。

表1 平成31（令和元）年度安全衛生委員会構成

職名	氏名	任期	備考
事務部長	桑原 豊		一号委員：委員長
医師	西村 正人		二号委員：産業医
事務職員	中村 仁美		三号委員：衛生管理者・副委員長
総務課長	窪田 仁		四号委員：安全管理者，五号委員
看護師	清水智苗美		六号委員
教授	牧野 雅司	H31.4.1～R2.3.31	七号委員：人文科学部門
教授	谷川 博哉	H31.4.1～R2.3.31	七号委員：機械工学科
准教授	清原 修二	H31.4.1～R2.3.31	七号委員：電子制御工学科
技術職員	福井 繁雄	H31.4.1～R2.3.31	七号委員：教育研究支援センター
総務係長	芦田 康弘		オブザーバー
総務課課長補佐	岸脇 智英		オブザーバー

1. 定期巡視の実施

委員（産業医，オブザーバーを除く）8名を4班に分け，例示されたチェックポイントを目安に，学内の定期巡視（毎週1回）を実施した。なお，学内をA～Eの5地区に分けて，各班が順に各地区を担当するように計画した。巡視結果は委員会に報告され，定例委員会で審議された。

2. 定例委員会の開催

毎月1回定例の委員会を開催することを基本とし，各班からの巡視結果について審議した。審議結果は，昨年度に引き続き，保留，連絡（調査），連絡（対策）の三つに分けて対応した。「連絡」と判断された事項については，該当部署または該当教職員に通知した。「保留」は学校としての対応が必要と判断した事項で，施設係を中心に検討していただいた。また，定例委員会では毎回，西村産業医より，本校における健康管理および健康の保持増進に関するコメントをいただいた。

3. 安全衛生環境の改善

定例委員会で審議された事項について，当該部署や事務部へ連絡・調整を行った。これにより，安全衛生環境が改善された。本年度は，安全衛生に関するリスクの定量化（リスクアセスメント）について検討を行い，巡視において試行的に指摘事項の定量化を実施した。

4. ストレスチェックの実施

本校教職員を対象にストレスチェックを実施し，約86%の教職員が受検した。京都大学環境安全保健機構健康科学センター長・川村 孝教授の協力を得て，本人申し出に基づく面接指導も行われた。

緊急連絡／安否確認システムワーキンググループ

座長 高谷 富也

本ワーキンググループは、危機管理委員会の下部組織として、緊急連絡／安否確認システムの管理・運用およびシステムを用いた訓練を継続的に行っている。今年度のワーキンググループの構成員を表1に示す。今年度は、学生課長が不補充のため、校務では事務部長が学生課長を兼務となっている。そのため、今年度は表1に学生課長がグループ構成員として記載していない。

今年度は、本システムを用いた安否確認訓練を、昨年よりも早い5月22日（水）に実施した。災害がいつ起こるか分からないため、早い時期に実施を行った。対象は、例年どおり、学生及び教職員とした。実施までの手順は例年とほぼ同様であり、①特活で担任から訓練実施について説明していただく、②アドレス変更した者は再登録をするよう担任から指導していただく、③緊急連絡が正常に送受信できない者は相談窓口（情報科学センター）へ行くよう担任から指導していただく、である。手順③について、以前の訓練では、登録確認のメールを学生に一斉送信し、正常に送受信できない者のリストをクラス別に集計し、担任より相談窓口へ行くよう指導していただいた。一昨年度より、安否確認訓練の案内直前に緊急連絡メールを送信していた場合には、クラス毎のリストも作成せず、緊急連絡メールが受信できなかった学生に相談窓口に行くように指導していただいている。今年度も4月末に「クマの目撃情報」の緊急連絡を行ったため、送信の確認メールは送付しなかった。

表2は今年度の安否確認訓練結果である。訓練における返信率は83.9%であり、昨年度実施の85.9%と比較して2.0%減少している。この理由は、学生の返信率が87.3%（前回より0.6%増加）、教職員の返信率が66.5%（15.2%減少）であることから、教職員の返信率が悪くなったことに起因している。教職員のうち、非常勤講師と職員の返信が少なかったため、非常勤講師は勤務外であったこと及び職員は職務中であったことが理由と考えられるが、次回以降に改善が必要である。今年度も避難訓練と同じ日に安否確認訓練を実施したことにより、対象者の訓練に対する意識が高くなり、学生の返信率の向上につながったと考える。ところで、今年度より、安否確認訓練システムの使用方法などの説明を行ってもらっていた「情報リテラシー（1年次の全学科共通科目）」が各学科科目となった。このため、該当授業で本システムの設定を行ってもらうことになった。そのため、各学科の教員が本システムの設定について説明することとなり、統一的な説明が困難となる。このことから1年生の返信率が下がる可能性が考えられたが、92%以上の返信率となっており、問題なかったと考える。

緊急連絡／安否確認システムは、現在のところ、警報発令などに伴う休講情報などの緊急連絡、および授業アンケート実施など全学生への周知などに利用されている。災害発生時などに学生の安否確認や緊急連絡がスムーズに行える環境を維持しておくために、安否確認の訓練は継続して実施する必要がある。来年度以降も訓練を毎年実施していきたい。ただし、今年度も2回目の訓練を実施していないため、来年度の早い段階で、登録されたメールアドレスにデータ送信可能か確認を行う必要があると考える。

表1 緊急連絡／安否確認システムワーキンググループ構成員

氏名	所属	氏名	所属
高谷 富也	座長, 危機管理副委員長, 教務委員会	片山 英昭	情報科学センター
吉永 進一	人権侵害・ハラスメント防止委員会	窪田 仁	総務課
福井 繁雄	教育研究支援センター	能勢 嘉朗	教育研究支援センター

表2 安否確認訓練結果

実施日	対象者	対象人数	返信有	返信無
5月22日	学生	829名	724名 (87.3%)	105名 (12.7%)
	教職員	164名	109名 (66.5%)	55名 (33.5%)
	合計	993名	833名 (83.9%)	160名 (16.1%)

男女共同参画室

男女共同参画室室長 芦澤 恵太
男女共同参画室副室長 村上 信太郎

1. 男女共同参画室の概要

参画室は、高専機構男女共同参画行動計画に基づき、男女共同参画を推進することを目的に、昨年度までは企画室の一部機能であったものを独立させ、本年度に新設された組織である。主たる業務としては、教育・研究・就業活動全般を通じた男女共同参画推進、意識啓発である。

2. 平成31（令和元）年度の活動

2. 1 男女共同参画室運営会議、協議事項

○第1回男女共同参画室運営会議（平成31年4月4日）

- (1) 実施体制 (2) 規程の確認 (3) 基本方針 (4) 高専女子フォーラム in 関西について
- (5) 国際ソロプチミスト・ユース・フォーラムについて

○第2回男女共同参画室運営会議（令和元年6月26日）

- (1) 女子学生向け講演会について (2) 女性教員インターンシップ受入れについて
- (3) 舞鶴市男女共同参画センターとの連携について (4) 身だしなみ・メイク講座について

○第3回男女共同参画室運営会議（令和元年11月13日）

- (1) 女子中学生一日高専体験会について (2) 女子学生と校長とのミーティングについて
- (3) 第3ブロック男女共同参画推進協議会について
- (4) 全国ダイバーシティネットワーク組織への参加について
- (5) 女子学生グループの活動（他高専との交流会）について
- (6) 予算計画

○第4回男女共同参画室運営会議（令和2年1月29日）

- (1) 女子中学生一日高専体験会について (2) 女子学生と校長とのミーティングについて
- (3) 校内設備について (4) 第3ブロック男女共同参画推進協議会について
- (5) 全国ダイバーシティネットワーク組織への参加について
- (6) 女子学生グループの活動（他高専との交流会）について

2. 2 女子学生向け講演会

令和元年9月27日に女子学生向け講演会を開催した。講師は、自衛隊 京都地方協力本部 本部長の亀井律子一等陸佐をお願いした。演題は「防衛省・自衛隊における女性活躍推進～女性指揮官の経験から～」であり、講演後には多くの質問が出ていた。講演後のアンケートからも好評であったことが知れた。

2. 3 教員職インターンシップ

教員職体験のインターンシップを女性限定で行った。3名の受入れを計画し、下記の期間で受入れを実施した。

- ・第一期：10月23日～25日（3日間）1名
- ・第二期：11月14日～19日（5日間）2名

2. 4 女子学生と校長とのミーティング

12月9日に女子学生の代表9名と校長とのミーティングを実施した。女子学生の視点から見た本校の様子を伝えるに留まらず、施設面も含めた女子学生からの要望を吸い上げる機会となった。定期的な開催も含め、次年度も実施を計画していく予定である。

3. 男女共同参画室が関係した行事・会議等〔連携機関等〕(引率等関係教職員氏名)

- ・ 5月14日 高専女子フォーラム in 関西 第1回実行員会 (芦澤, 池澤)
- ・ 5月19日 国際ソロプチミスト舞鶴 ユース・フォーラム (田村, 荻田)
- ・ 7月 3日 身だしなみ・メイク講座 [進路ガイダンス] (芦澤)
- ・ 7月 9日 高専女子フォーラム in 関西 第2回実行員会 [TV会議] (芦澤, 池澤)
- ・ 9月 8日 女子学生交流会 [奈良高専, 明石高専, 近大高専] (芦澤)
- ・ 9月17日 全国ダイバーシティネットワーク組織近畿ブロック第2回セミナー (芦澤)
- ・ 9月24日 高専女子フォーラム in 関西 第3回実行員会 [TV会議] (芦澤, 池澤)
- ・ 9月27日 女子学生向け講演会 (村上, 荻田, 石丸, 芦澤)
- ・ 10月15日 高専女子フォーラム in 関西の発表学生・指導教員対象ガイダンス [TV会議]
- ・ 10月23日～25日 第一期教員職インターンシップ受入れ (石丸)
- ・ 11月 4日 「Let's be a STEM Girl!!!」ワークショップ [内閣府, 舞鶴市人権啓発推進室] (芦澤)
- ・ 11月10日・17日 舞鶴市キッズプログラミング教室 [舞鶴市移住定住促進課] (仲川)
- ・ 11月14日～19日 第二期教員職インターンシップ受入れ (石丸)
- ・ 11月21日 全国ダイバーシティネットワーク組織近畿ブロック会議 (芦澤)
- ・ 11月21日 全国ダイバーシティネットワーク組織近畿ブロックシンポジウム (芦澤)
- ・ 12月 4日 男女共同参画推進に関する講演会 [奈良高専, TV会議] (村上)
- ・ 12月 7日・14日 舞鶴市キッズプログラミング教室 [舞鶴市移住定住促進課] (仲川)
- ・ 12月 8日 女子中学生1日高専体験会 (牧野, 野毛, 荻田, 芦澤)
- ・ 12月 9日 女子学生と校長とのミーティング (池澤, 芦澤)
- ・ 12月20日 男性教職員育児休業報告会 (池澤)
- ・ 12月21日 高専女子フォーラム in 関西 (荻田, 今村, 村上, 豊田, 廣芝, 若林, 芦澤)
- ・ 2月 2日 科博連サイエンスフェスティバル (山田, 片山)
- ・ 2月18日 全国ダイバーシティネットワーク組織令和元年度第3回近畿ブロック会議 (芦澤)
- ・ 2月18日 第3回近畿ブロックセミナー (芦澤)
- ・ 2月22日 第2回女性エンジニアの養成を考えるシンポジウム [奈良高専] (芦澤)
- ・ 3月 2日 高専女子フォーラム in 関西 第4回実行員会 [TV会議] (芦澤, 池澤)
- ・ 3月 5日 第3ブロック男女共同参画推進協議会 [主管, TV会議] (芦澤, 村上, 池澤)
- ・ 3月 9日 男女共同参画推進意識啓発講演会 [機構本部] (背戸柳, 児玉, 篠原, 片山, 芦澤)

舞鶴高専ジュニアドクター育成塾

実施主担当者 上杉 智子

1. ジュニアドクター育成塾について

ジュニアドクター育成塾は、科学技術振興機構（JST）が行っている、将来の科学技術を先導する人材の育成のための事業です。理系の優れた能力を秘めた児童・生徒を発掘し、その能力を育てるための取り組みを行っています。本校は、平成31（令和元）年度より「多自然居住地域における理工系人材の発掘と世界に羽ばたく人材育成プログラム」という企画名でこの取り組みに採択されました。本校では、京都・滋賀・兵庫・福井を対象地域として、理系の才能を開花させる機会を待つ北近畿地方の小中学生たちに、科学技術との触れ合いや高度な研究課題への取り組みの機会を提供しています。[5カ年合計約5千万円]

2. 実施組織

学内の実施組織として「ジュニアドクター育成塾推進会議」と、「ジュニアドクター育成塾事務局」を設置し、全学的なサポートのもとで取り組みを実施しました。

平成31（令和元）年度 ジュニアドクター育成塾推進会議 構成員

役割名	担当構成員
実施責任者	校長
実施主担当者	上杉智子
実施担当者	宝利剛，谷川博哉，内海淳志，金山光一，石川一平，加登文学
事務局	事務部長，総務課

3. 育成プログラム

育成プログラムは二段階に分かれており、受講1年目の第一段階教育プログラムは、応募者から約40名の受講生を選抜して実施します。平成31（令和元）年度の受講生募集では94名の応募があり、42名の受講生を選抜しました。この受講生を対象に、理学・工学の様々な分野について学習するための取り組みを行い、成果発表会を実施しました。主な取り組みは次の6つです。第一段階の取り組みを修了した受講生のうち、特に優秀な受講生を選抜して、受講2年目より第二段階教育プログラムを実施することになっています。

(1) 基礎講座（8月17日，31日）

入塾式を行った後、2回にわたって、木製ノギスや分光器の作製などの簡単な工作を通した、測定値の扱い・有効数字・物理量の測定についての学習や、プログラミングの基礎の学習を行う基礎講座を実施しました。



入塾式



木製ノギスの作製



分光器の作製

(2) 総合的学習（9月14日，28日）

様々な分野に関わる身近なテーマについて学ぶ総合的学習を、「防災」（自然災害・原子力防災）と「エネルギー」（エネルギーの変換・電気エネルギー）をテーマに2回実施しました。



放射線と原子力防災



電気のミニ実験

(3) 課題学習 (10月12日, 26日, 11月17日・23日)

受講生が4つのコース (①設計, ②AI・IoT, ③ロボット, ④建築・防災) に分かれて行う課題解決型学習を, 全3回で行いました。



課題学習 (設計)



課題学習 (ロボット)



課題学習 (AI・IoT)



課題学習 (建築・防災)

(4) 体験型学習 (11月9日)

京都工芸繊維大学での施設見学と, 京都市青少年科学センターで開催された「青少年のための科学の祭典」への参加を行いました。科学の祭典では, 受講生達は実験ブースに参加するほか, 舞鶴高専から出展していたプログラミング教室のブースでは, 受講生の一部が参加者への説明も行いました。

(5) 特別講義 (12月7日)

外部講師 (大阪工業大学 真貝寿明教授) による招待講演「ブラックホールを観る, ブラックホールを聴く」と, 研究者倫理についての講義, 成果発表会に向けた発表用ポスターの作成を行う特別講義を行いました。



招待講演

(6) 成果発表会・修了式 (12月21日)

舞鶴市商工観光センターのコンベンションホールにおいて, 第一段階での学習の成果発表会を開催し, 40名の受講生がそれぞれの取り組みの成果をポスターにまとめて発表しました。成果発表後は第一段階教育プログラムの修了式を行い, 発表を行った受講生達に修了証書を授与しました。



成果発表会



修了式



修了生

第一段階教育プログラムの終了後, 修了生の中から15名の第二段階受講生を選抜しました。次年度より実施する第二段階教育プログラムでは, 研究室配属による研究や留学生との交流などを行い, 研究成果の発表やコンテスト参加などをめざします。

4. 本取り組みによる学生の教育

ジュニアドクター育成塾の取り組みでは, 受講生のサポートを行う本校の学生達に対し, メンターの役割を担うためのスキルを育成することも目的としています。そのために, 平成31 (令和元) 年度は次のような取り組みを行いました。

(1) 学生メンターの研修 (7月17日)

京都教育大学京都教育大学大学院 片山紀子教授を講師としてお迎えし, 「コーチングを活用できるメンターに」という題目で学生メンターの研修を行いました。

(2) 教育アドバイザーの雇用

受講生への対応についてのアドバイスを行う教育アドバイザーとして, 元中学校教員の後野文雄先生, 橋本茂先生をお迎えし, 本校教員と共に学生メンターの指導をして頂きました。

上記以外には, 施設見学や招待講演に受講生と共に参加することなども, メンターを務める学生達自身にとっても学習の機会となっています。

KOSEN型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築

社会基盤メンテナンス教育センター長 玉田 和也

文部科学省が「Society5.0に対応した高度技術人材育成事業」として実施する「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」において、舞鶴工業高等専門学校が申請代表校となった『KOSEN型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築』が、中核拠点の取組として選定されました。

本事業は、舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター（略称、iMec）が中心となり、建設技術者が働きながら学びを続けるための環境整備や、職業能力の向上とキャリア・アップに繋がる教育プログラムの構築等、社会人のための学び（リカレント教育システム）を設計するもので、産学と地域が連携してインフラメンテナンスのリカレント教育推進のための産学連携コンソーシアムを形成し、『KOSEN型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築』を行う事業です。

本事業は、5カ年で実施し、本年度は産学+地域による連携体制としてREIM産学連携コンソーシアムを設立するとともに、リカレント教育の実施体制と実施拠点の整備を行いました。今後、令和2年度はリカレント教育プログラム及び実務家教員育成研修プログラムの開発と学修・指導履歴管理システムの開発、令和3年度は開発した各種プログラムの実証検証及び新規技術資格創設、令和4年度は実務家教員育成実施とリカレント教育プログラムの全国展開に向けた連携高専での実証講座開催、令和5年度はリカレント教育プログラムの全国展開とKOSEN型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの確立に向けた取組みを行います。[5カ年合計約2億6千万円]

KOSEN型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築

**少子高齢化・労働人口減少
社会基盤（インフラ）高齢化**

➡ **安全・機能確保対策の必要性大**
➡ **維持管理・修繕等の需要が増大**

インフラ（橋梁）の現状

- 全国の橋梁ストックは約72万橋（国道3割、市町村道7割）
- このうち、建設後50年以上経過した橋梁が10年後には5割超
- 町の3割、村の6割で橋梁保全業務に携わる土木技術者不在

課題・問題

- 地方では高等教育を受けた技術者が非常に少ない
- 実務者のインフラメンテナンス分野の経験が乏しい
- 建設技術者のICTスキルが不十分で建設現場の生産性が低い

**Society5.0を牽引するインフラメンテナンス人材
を育成するためのリカレント教育が急務**

- 実務家教員育成研修プログラムを開発し、産学連携でリカレント教育プログラムの講師を育成
- 若手建設技術者を主な対象とし、職務を離れることなく受講可能なリカレント教育プログラムを開発・実施
- 全国5カ所のリカレント教育拠点に育成した実務家教員を配置し、リカレント教育プログラムを全国展開

→ リカレント教育プログラム修了者、特に高専卒（准学士）の技術者について、修士課程への社会人入学を支援

**連携高専
（リカレント教育拠点）**

- 福井高専
- 長岡高専
- 香川高専
- 福島高専

（連携機関マップ）

- 凡例
- 連携高専
- 連携大学
- 国立高等機構
- 国立高専

全国の高専

▲ 連携高専

▲ 舞鶴高専
（中核拠点）

**連携大学
放送大学**

**協力大学
長岡技術科学大学**

教育コンテンツ
リカレント講座開設

修士課程
社会人入学

教育コンテンツ
講座受講者の推薦

舞鶴高専

教育プログラムの
共同開発

実務家教員の派遣
社会基盤メンテナンス教育センター
教育プログラムと（リカレント教育中核拠点）
eラーニング提供

- ・ リカレント教育中核拠点の整備・運営
- ・ 実務家教員育成研修プログラムの開発・実施
- ・ リカレント教育プログラムの開発・実施
⇒ eラーニング+講習会（アクティブ・ラーニング）
- ・ オンライン学修環境の管理・運営とeラーニングの提供
- ・ リカレント教育プログラム修了者への技術資格認定
- ・ 職業実践力育成プログラム（BP）の認定申請
- ・ 学修履歴と指導履歴の記録・管理・証明

NEXCO 西日本
西日本高速道路株式会社

一般社団法人 近畿建設協会
近畿支部
JCCA
建設コンサルタンツ協会
Japan Civil Engineering Consultants Association

- ・ 実務家教員研修プログラム受講者の派遣
- ・ リカレント教育プログラム受講者の派遣
- ・ 教育/研修プログラムの共同開発
- ・ 特命教員等の研修・インターンへの受入れ

**産学共同教育の場
（コンソーシアム）**

連携企業

＋地域連携
京都府北部社会基盤メンテナンス推進協議会

外部評価

社会基盤メンテナンス
技術レベル検討委員会



学科・部門別教員一覧 (令和2年3月現在)

人文科学部門

氏名	職名	校務分担	担当科目	専門分野	研究テーマ
垂谷 茂弘 (修士〔文学〕)	嘱託教授		①人間論Ⅰ,Ⅱ ②哲学 ③宗教と「こころ」Ⅰ,Ⅱ	宗教と心理学	①ユング思想 ②力動精神医学の思想的立場
吉永 進一 (修士〔文学〕)	教授		①総合英語ⅠA,ⅠB,ⅢA,ⅢB,ⅣB,ⅤA ②現代社会と宗教Ⅰ,Ⅱ	近代宗教史	①近代仏教 ②近代の秘教思想
田村 修一 (博士〔文学〕)	教授	・学級担任(2-4)	①現代文A,B ②総合国語ⅡA,ⅡB ③日本語ABCDEF ④日本文化論	日本近代文学	①芥川龍之介 ②阿部知二 ③日本近代文学史
児玉 圭司 (修士〔法学〕)	教授	・人文科学部門長 ・学生相談室長 ・修学支援室長 ・教務主事補	①法学 ②経済学 ③現代日本の政治・経済と法Ⅰ,Ⅱ ④科学と社会	法制史 (日本近代)	①行刑(監獄制度)史 ②刑事法・刑事政策史
藤田 憲司 (修士〔文学〕)	准教授	・学級担任(1-1) ・学生主事補 ・国際交流センター長	①総合英語ⅠA,ⅠB,ⅢA,ⅢB,ⅣB,ⅤA ②現代英語Ⅱ	英文学	①18世紀イギリス詩 ②批評理論
Kay, Jonathan-David Robert (学士〔文学〕)	准教授			International Political Economy	Maintenance of Welfare State Legitimacy in Social Democratic Societies (e.g. Denmark, Sweden, Norway)
牧野 雅司 (博士〔文学〕)	准教授	・学級担任(1-3) ・寮務主事補	①歴史総合A ②世界史Ⅰ,Ⅱ ③地域学Ⅰ,Ⅱ	日本近代史 対外関係史	①幕末維新期の日朝関係 ②地域史料の保存と活用
山根 秀介 (修士〔文学〕)	講師	・学級担任(2-2) ・寮務主事補	①総合英語ⅡA,ⅡB,ⅢA,ⅢB,ⅣB,ⅤA ②現代英語Ⅰ	近代哲学	①ウィリアム・ジェイムズ ②現代フランス哲学

氏名	職名	校務分担	担当科目	専門分野	研究テーマ
荻田 みどり (博士〔文学〕)	講師		①古典A, B ②総合国語ⅡA, ⅡB ③国語国文Ⅰ, Ⅱ	中古文学 (平安時代の文学)	源氏物語の食事描写
大内 真一郎 (修士〔文学〕)	助教		①総合英語Ⅰ ②総合英語Ⅲ ③総合英語ⅣB ④総合英語ⅤA	アメリカ小説	①リチャード・パ ワーズ ②物語論 (ナラトロジー)
KHAN SAMIA HASEEB (修士〔理学〕)	助教		①英会話ⅢA, B ②総合英語ⅣA ③総合英語ⅤB ④Oral English		

自然科学部門

氏名	職名	校務分担	担当科目	専門分野	研究テーマ
背戸柳 実 (修士〔理学〕)	教授	・自然科学部門長	①微分積分Ⅱ,Ⅲ ②応用数学ⅠA,ⅠB	①微分代数 ②p進解析	①常微分方程式のLiouville解 ②冪級数解のp進収束半径
小野 伸一郎 (学士〔教育学〕)	教授	・学生主事 ・交通対策検討委員会委員長 ・人権侵害・ハラスメント防止委員会委員長	保健体育Ⅰ,Ⅳ,Ⅴ	①運動生理学 ②運動方法学	①運動制御に対する呼吸・代謝と不安心理 ②身体活動と健康
奥村 昌司 (博士〔理学〕)	教授	・教務副主事 ・教育改善委員会委員長 ・学級担任(2-1)	①基礎数学A,B ②基礎数学演習A,B ③基礎数学Ⅲ ④微分積分Ⅰ	①非線形方程式 ②微分幾何学 ③数理物理	自己双対方程式のパンルベ解析
上杉 智子 (博士〔理学〕)	准教授	・教務主事補 ・理科主任	①物理ⅡA,ⅡB ②物理ⅢA,ⅢC ③応用物理Ⅰ,Ⅱ ④近代物理学 ⑤防災リテラシー	①素粒子論 ②初期宇宙論	①宇宙論的相転移の解明 ②宇宙磁場,物質の起源
宮崎 昭仁 (博士〔理学〕)	准教授		化学ⅠA,ⅡA,ⅢA	①分析化学 ②錯体化学 ③社会地球化学 ④環境化学	①新機能性リガンドのトポロジーを用いたナノテクノロジー ②物質移動の社会地球化学的地域研究
岡田 浩嗣 (博士〔理学〕)	准教授	・学生主事補 ・進路指導委員会副委員長(進学) ・学級担任(1-2) ・数学主任	①基礎数学A,B ②基礎数学演習A,B ③応用数学ⅡA,ⅡB	①微分方程式 ②力学系 ③特異摂動論	①反応拡散系における内部遷移層と界面のダイナミクス ②特異摂動法の非局所方程式への応用
梅垣 浩二 (修士〔体育学〕)	准教授			スポーツバイオメカニクス	ハンマー投げの加速のメカニズムとその技術
木村 健二 (修士〔体育学〕)	准教授	・学生主事補 ・学級担任(2-3) ・体育主任	保健体育Ⅰ,Ⅱ,Ⅳ,Ⅴ	①スポーツバイオメカニクス ②トレーニング科学	素早く移動方向を変更させるためのストラテジーに関する研究

氏名	職名	校務分担	担当科目	専門分野	研究テーマ
宝利 剛 (博士〔理学〕)	講師	・学級担任(1-4)	①物理ⅠA, ⅠB ②物理ⅢB, ⅢD ③応用物理Ⅰ, Ⅱ	相対論	ブラックホール時空の数理
喜友名 朝也 (博士〔数理学〕)	講師	・寮務主事補	①微分積分Ⅱ, Ⅲ ②応用解析1, 2	整数論	①保型形式環 ②保型微分方程式

機械工学科

氏名	職名	校務分担	担当科目	専門分野	研究テーマ
西山 等 (博士〔工学〕)	教授	・教育プログラム(MDE)委員会委員長 ・学級担任(4M)	①創造演習 ②工作実習Ⅰ ③機構学 ④流れ学Ⅰ,Ⅱ ⑤機械工学実験Ⅱ ⑥知能機械工学 ⑦医工学 ⑧計算機援用工学 ⑨制御工学Ⅰ ⑩卒業研究	①流体工学 ②生体力学	①エアリフトポンプに関する研究 ②生物模倣工学に関する研究
篠原 正浩 (博士〔工学〕)	教授	・機械工学科長	①工作実習Ⅱ ②材料力学ⅡA,ⅡB ③機械工学実験Ⅱ ④材料力学Ⅲ ⑤設計工学 ⑥卒業研究 ⑦弾塑性力学 ⑧材料強度学 ⑨特別実験 ⑩エンジニアリング・デザイン演習	①材料力学 ②複合材料工学	①自己融着による熱可塑性コンポジットの修復について ②熱可塑性樹脂複合材料の二次加工が力学的特性に及ぼす影響
谷川 博哉 (博士〔工学〕)	教授	・学級担任(3M)	①入門機械実習 ②情報処理Ⅱ ③材料力学ⅠA,ⅠB ④機械工学実験Ⅰ ⑤創造設計製作 ⑥設計製図Ⅳ ⑦流体工学 ⑧卒業研究 ⑨流体力学 ⑩特別研究	流体力学	①振動重力場における流体の挙動 ②集風体に関する研究
豊田 香 (博士〔工学〕)	教授	・寮務副主事	①設計製図ⅠA,ⅠB ②設計製図Ⅲ ③機械設計法Ⅰ ④機械設計法Ⅱ ⑤熱工学 ⑥加工学Ⅲ ⑦工作実習Ⅱ ⑧システム設計学 ⑨卒業研究 ⑩特別研究基礎 ⑪特別研究	①エネルギー工学	膜沸騰熱伝達の研究

氏名	職名	校務分担	担当科目	専門分野	研究テーマ
山田 耕一郎 (博士〔工学〕)	教授	・学生主事補 ・学級担任(5M)	①入門機械実習 ②加工学I, II ③工作実習II ④創造設計製作 ⑤機械力学I, II ⑥機械工学実験I, II ⑦設計製図III ⑧卒業研究	①計算力学 ②材料力学	①ねじの疲労試験 ②ねじ焼入れの強度に関するシミュレーション
小林 洋平 (博士〔工学〕)	准教授		①設計製図 I ②計測概論 I, II ③マリンエンジニアリング I, II ④機械工学実験 I ⑤卒業研究 ⑥プラント工学 ⑦特別実験 ⑧特別演習	熱流体工学	①液体ナトリウムの濡れ性に関する研究 ②廃炉ロボットの研究
野毛 宏文 (博士〔工学〕)	准教授	・専攻科機械制御システム工学コース長 ・入試広報部会長	①機械工学実験 I ②熱力学 I, II (3, 4S) ③熱力学 I, II (4M) ④工業英語 ⑤エネルギー環境学 ⑥エネルギー工学 ⑦卒業研究	熱工学	パーム酸油を燃焼用燃料として有効利用するための研究
室巻 孝郎 (博士〔工学〕)	准教授	・教務主事補	①機械工学実験 II ②設計製図 III ③入門機械電気電子情報工学 ④システム工学 ⑤電気工学 I, II ⑥制御工学 II ⑦卒業研究 ⑧特別演習 ⑨動的設計論	①数値最適化 ②システム工学	①FA機器の開発 ②福祉機器の開発
村上信太郎 (博士〔工学〕)	講師	・寮務主事補	①機械工学実験 I ②設計製図 II A, II B ③情報処理 I (1M) ④情報処理 I (2M) ⑤数学演習 ⑥力学基礎 I, II ⑦卒業研究 ⑧特別実験	①熱流体工学 ②数値流体力学	マイクロスケール圧縮性流れの流動・伝熱

電気情報工学科

氏名	職名	校務分担	担当科目	専門分野	研究テーマ
中川 重康 (博士〔工学〕)	教授		①インターフェースⅠ,Ⅱ ②アナログ信号処理Ⅱ ③電気情報工学実験ⅡA,ⅡB ④デジタル信号処理 ⑤創造工学 ⑥工学基礎研究 ⑦卒業研究 ⑧特別実験 ⑨パワーエレクトロニクス ⑩特別研究基礎 ⑪特別研究	①電力工学 ②太陽エネルギー利用	①日射量予測を導入した太陽光発電・蓄電システムの開発 ②日射量モデルの評価に関する研究
片山 英昭 (博士〔工学〕)	教授	・電気情報工学科長 ・学術情報センター長	①情報理論 ②数値解析実習 ③創造工学 ④工学基礎研究 ⑤過渡現象論 ⑥情報システム論 ⑦電気情報工学実験ⅣA,ⅣB ⑧卒業研究 ⑨特別実験 ⑩情報工学 ⑪特別演習 ⑫特別研究基礎	①情報システム工学 ②視覚情報処理	視覚障害者用歩行支援システムに関する研究
内海 淳志 (博士〔工学〕)	教授	・学級担任(4E)	電気基礎 ②電気回路 ③電気情報工学実験ⅡB ④アナログ回路 ⑤電子工学Ⅰ,Ⅱ ⑥創造工学 ⑦工学基礎研究 ⑧半導体工学 ⑨卒業研究 ⑩特別実験 ⑪電磁気応用工学 ⑫特別研究基礎	①光電子工学 ②半導体工学	①近接場光応用技術の開発 ②電子デバイス教材の開発

氏名	職名	校務分担	担当科目	専門分野	研究テーマ
芦澤 恵太 (博士 [理学])	教授	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導委員会委員長 ・男女共同参画室室長 ・学生副主事 	<ul style="list-style-type: none"> ①情報基礎 ②C言語 ③アナログ信号処理 I ④C言語実習 ⑤電気情報工学実験 II A, II B ⑥創造工学 ⑦工学基礎研究 ⑧卒業研究 ⑨特別演習 ⑩画像工学 ⑪特別研究基礎 ⑫特別研究 	<ul style="list-style-type: none"> ①画像処理 ②数値調和解析 	<ul style="list-style-type: none"> ①画像圧縮アルゴリズムの開発 ②ギブス現象軽減に関する研究
船木 英岳 (博士 [工学])	准教授	<ul style="list-style-type: none"> ・FD・ICT部会部会長 	<ul style="list-style-type: none"> ①メディアリテラシー ②コンピュータグラフィックス ③ネットワーク論 I, II ④電気情報工学実験 III A, III B ⑤創造工学 ⑥工学基礎研究 ⑦オペレーティングシステム I, II ⑧卒業研究 ⑨ネットワークシステム論 ⑩エンジニアリングデザイン演習 ⑪特別研究基礎 	情報システム工学	<ul style="list-style-type: none"> ①複数ARマーカを用いたソフトウェアの開発 ②Kinectを用いた障がい者支援ツールの改良 ③視線を用いたコミュニケーションツールの開発
丹下 裕 (博士 [工学])	准教授	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任(3E) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 電気磁気学III ② 創造工学 ③ 工学基礎研究 ④ 伝送工学 ⑤ シミュレーション工学 I, II ⑥ 電気情報工学実験 IV A, IV B ⑦ 卒業研究 ⑧ 応用通信工学 ⑨ 特別研究基礎 	医用生体工学	<ul style="list-style-type: none"> ①癌温熱治療装置の開発 ②障がい者支援に関する研究

氏名	職名	校務分担	担当科目	専門分野	研究テーマ
井上 泰仁 (博士〔工学〕)	准教授	<ul style="list-style-type: none"> 専攻科電気電子システム工学コース長 学生主事補 	<ol style="list-style-type: none"> 電気情報基礎 情報数学 デジタル回路 論理回路 電気情報工学実験ⅢA, ⅢB 工学基礎研究 卒業研究 医療工学 	情報科学	膜タンパク質の機能予測
廣芝 伸哉 (博士〔工学〕)	准教授		<ol style="list-style-type: none"> 化学ⅡA 交流回路Ⅰ, Ⅱ 電気情報工学実験ⅠA, ⅠB 電気磁気学Ⅱ 回路理論 電磁気計測 工学基礎研究 卒業研究 	ナノテクノロジー 機能材料物性	フレキシブルデバイスの電子物性と応用
七森 公碩 (博士〔工学〕)	助教		<ol style="list-style-type: none"> 電気情報工学実験ⅠA, ⅠB 電気機器Ⅰ, Ⅱ 創造工学 工学基礎研究 エネルギー工学Ⅱ 卒業研究 	パワーエレクトロニクス	<ol style="list-style-type: none"> GaN, SiCの電力変換器応用 半導体並列接続駆動に関する研究
金山 光一 (博士〔工学〕)	特任教授		<ol style="list-style-type: none"> 防災リテラシー 電気情報工学実験ⅠA, ⅠB 電気磁気学Ⅰ 通信工学 工学基礎研究 卒業研究 特別実験 電子デバイス工学Ⅰ 技術者倫理 特別研究 	<ol style="list-style-type: none"> 電子デバイス工学 超音波エレクトロニクス 	<ol style="list-style-type: none"> 圧電デバイスの研究 非破壊検査技術に関する研究 センサーに関する研究
平地 克也 (博士〔工学〕)	特任教授	<ul style="list-style-type: none"> 学級担任(5E) 	<ol style="list-style-type: none"> 電子回路Ⅱ アクチュエータ工学 電気情報工学実験ⅢA, ⅢB エネルギー工学Ⅰ 工学基礎研究 卒業研究 特別研究 	パワーエレクトロニクス	インバータ, DC/DCコンバータ, UPS等各種電力変換装置の研究

電子制御工学科

氏名	職名	校務分担	担当科目	専門分野	研究テーマ
野間 正泰 (博士 [工学])	教授	・電子制御工学科長	①力学Ⅰ,Ⅱ ②材料力学Ⅱ,Ⅲ ③水力学Ⅰ,Ⅱ ④計測工学Ⅰ ⑤機械工学実験 ⑥卒業研究 ⑦流体工学特論 ⑧エンジニアリングデザイン演習	①トライボロジー ②可視化情報計測	①テーラー渦とキャビティ流れの相互作用 ②移動物体まわりの流れの可視化 ③簡易風洞装置の設計製作と理科教育への適用 ④トライボロジー実験教材の開発
仲川 力 (博士 [工学])	教授	・寮務主事	①情報処理Ⅲ ②CAD演習ⅠB ③電子制御実験 ④創造設計プロジェクト ⑤CAD演習ⅡC ⑥卒業研究 ⑦特別演習	機械工学	①クローラ走行体の走行性能に関する研究 ②VRを用いたシミュレータの開発と実験
川田 昌克 (博士 [工学])	教授	・専攻科長	①メカトロニクス演習Ⅰ ②制御工学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ ③数値計算法 ④制御工学Ⅰ,Ⅱ(5E) ⑤制御工学実験 ⑥卒業研究 ⑦システム制御工学	制御工学	①数値最適化による制御系解析/設計と実システムへの応用 ②制御工学教育のコンテンツ開発
伊藤 稔 (博士 [工学])	教授	・学級担任(5S) ・学術情報センター副センター長	①情報処理Ⅱ ②メカトロニクス演習Ⅰ ③メカトロニクス演習 ④情報学 ⑤画像処理 ⑥電子制御実験 ⑦卒業研究 ⑧知識情報工学 ⑨特別実験	ソフトコンピューティング	①進化計算の工学的応用 ②SLAMに関する研究

氏名	職名	校務分担	担当科目	専門分野	研究テーマ
町田 秀和 (博士〔情報学〕)	准教授		①計算機工学Ⅰ,Ⅱ ②電子制御実験 ③創造設計プロジェクト ④電子回路Ⅴ ⑤CAD演習ⅡB ⑥卒業研究 ⑦信号処理特論 ⑧制御工学特論	①ハードウェア(IC)実現 ②デジタル信号処理	①2重ループPLL/PWMモータコントローラの解析と実現 ②PWM/PDM-1bit信号演算処理のFPGA実現 ③Java言語によるWebベースの教育システム(CAI)の開発 ④DSPによるリアルタイム信号処理
清原 修二 (博士〔工学〕)	准教授	・寮務主事捕	①電子制御実習Ⅰ,Ⅱ ②電子工学Ⅰ,Ⅱ ③電気磁気学Ⅰ,Ⅱ ④デジタル電子回路 ⑤卒業研究 ⑥電子回路特論	①ナノテクノロジー ②超微細加工学 ③電子・イオンビーム工学	①液滴室温インプリント法による機能性DLCナノデバイスの開発 ②ポータブル室温ナノインプリントシステムを用いたナノテクノロジー教育
石川 一平 (博士〔工学〕)	准教授	・学級担任(3S) ・教務主事捕	①電気基礎Ⅰ,Ⅱ ②防災リテラシー ③メカトロニクス演習 ④電子回路Ⅰ ⑤電子制御実験 ⑥電子物理 ⑦卒業研究 ⑧特別実験 ⑨先端材料工学 ⑩電子デバイス工学Ⅱ	①電子物理 ②応用物理 ③材料工学	①微細発光デバイスの作製 ②プラスチックを用いた放射線計測に関する研究
高木 太郎 (博士〔工学〕)	准教授	・学級担任(4S)	①ロボット工学Ⅰ,Ⅱ ②CAD演習ⅡA ③システム制御Ⅰ,Ⅱ ④制御工学実験 ⑤卒業研究 ⑥特別実験 ⑦特別演習	制御工学	①概強正実性に基づく適応制御系のモデルフリー構成法 ②マルチレートシステムに対する適応予測制御系構成法

氏名	職名	校務分担	担当科目	専門分野	研究テーマ
若林 勇太 (博士〔工学〕)	助教		①振動工学Ⅰ,Ⅱ ②機械工学実験 ③創造設計プロジェクト ④卒業研究 ⑤ロボットシステム制御 ⑥特別実験 ⑦特別研究基礎	ロボット工学	①人とロボットの協働作業に関する研究 ②機械メカニズムによる省アクチュエータ・省センサ化
藤司 純一 (博士〔工学〕)	助教		①電子制御実験 ②創造設計プロジェクト	制御工学	①複数のロボットによる協調制御系の構成法 ②非線形システムのフィードバック線形化

建設システム工学科

氏名	職名	校務分担	担当科目	専門分野	研究テーマ
高谷 富也 (博士〔学術〕)	教授	<ul style="list-style-type: none"> ・教務主事 ・教育研究支援センター長 ・留学生委員会委員長 ・緊急連絡／安否確認システムワーキンググループ座長 	<ul style="list-style-type: none"> ①構造力学ⅠA, B ②構造力学ⅡA, B ③構造解析 ④建設振動学 ⑤耐震工学 ⑥卒業研究 ⑦応用情報工学 ⑧建築耐震工学 ⑨特別実験 	<ul style="list-style-type: none"> ①構造・耐震工学 ②振動工学 ③動土質 	<ul style="list-style-type: none"> ①木造建築物の地震時倒壊過程解析に関する研究 ②地震時における地盤の増幅特性の評価手法およびその適用に関する研究 ③耐震建具を用いた既存木造住宅の耐震補強工法の開発に関する研究 ④3Dソフトウェアの都市計画および各種シミュレーションへの適用に関する研究
四蔵 茂雄 (博士〔工学〕)	教授	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任(3C) ・評価委員会副委員長 	<ul style="list-style-type: none"> ①環境衛生学Ⅰ, Ⅱ ②環境工学ⅠA, ⅠB ③環境工学Ⅱ ④建設システム工学実験ⅡB ⑤応用測量学Ⅰ, Ⅱ ⑥卒業研究 ⑦地球環境政策学 ⑧水圏環境学 ⑨特別演習 	<ul style="list-style-type: none"> ①環境工学 ②環境政策学 	<ul style="list-style-type: none"> ①途上国のエネルギー環境問題 ②循環型社会形成の政策論
玉田 和也 (博士〔工学〕)	教授	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共同テクノロジーセンター長 	<ul style="list-style-type: none"> ①工学基礎 ②構造力学Ⅲ ③情報処理Ⅱ ④鋼構造学Ⅰ, Ⅱ ⑤応用構造力学 ⑥卒業研究 ⑦応用構造工学 ⑧メンテナンス工学 ⑨特別研究 ⑩特別実験 	<ul style="list-style-type: none"> ①メンテナンス工学 ②橋梁工学 ③構造工学 	<ul style="list-style-type: none"> ①地方自治体が管理する橋梁の維持管理 ②橋梁の健全度評価 ③アセットマネジメント ④応急復旧橋の開発 ⑤構造力学教育

氏名	職名	校務分担	担当科目	専門分野	研究テーマ
尾上 亮介 (博士〔芸術文化学〕)	教授		①建設システム工学概論Ⅰ,Ⅱ ②都市計画 ③建設製図Ⅰ ④建設製図Ⅱ ⑤建設製図制作 ⑥建築計画Ⅱ ⑦建築デザインⅠ ⑧卒業研究 ⑨特別研究 ⑩まちづくり学 ⑪設計製図	①建築設計 ②都市計画 ③まちづくり	①空き屋の活用に関する研究 ②民家改修における意匠・形態に関する研究 ③歴史的景観を形成する建築意匠に関する研究
加登 文学 (博士〔工学〕)	教授	・建設システム工学科長 ・専攻科建設工学コース長	①防災リテラシー ②建設システム工学概論Ⅰ,Ⅱ ③建設製図制作 ④建設システム工学実験ⅠA,ⅠB ⑤地盤工学ⅠA,ⅠB ⑥地盤工学ⅡA,ⅡB ⑦防災工学 ⑧卒業研究 ⑨地盤工学設計論 ⑩特別研究 ⑪特別研究基礎	①地盤工学 ②土質力学	①地盤材料の力学特性に関する研究 ②強震動予測に関する研究 ③斜面安全管理に関する研究
徳永 泰伸 (博士〔工学〕)	准教授	・教務主事補	①建築環境Ⅰ,Ⅱ ②建築設備Ⅰ,Ⅱ ③建設製図制作 ④建設システム工学実験ⅠA,ⅠB ⑤工学基礎 ⑥卒業研究 ⑦特別実験 ⑧特別研究 ⑨建築環境工学特論	①建築環境学	①室内音環境に関する研究 ②視覚と聴感の相互作用に関する研究 ③室内視環境に関する研究

氏名	職名	校務分担	担当科目	専門分野	研究テーマ
渡部 昌弘 (博士〔工学〕)	講師	・学級担任(5C)	①建築一般構造 ②建築構造Ⅰ,Ⅱ ③情報処理Ⅰ ④数値解析Ⅱ ⑤エンジニアリングデザイン演習 ⑥卒業研究 ⑦特別研究基礎	①木質構造学 ②建築構法 ③建築構造	①歴史的木質建築物の構造特性・耐震性能の解明および保存・改修に関する研究 ②BIMおよび物理演算エンジンを用いた木質系構造を有する歴史的文化的資産の復元 ③近現代の組積造建築物の構工法・構造特性の解明 ④近代の歴史的遺構の実態調査および保存・再生の提案
毛利 聡 (博士〔工学〕)	講師	・学級担任(4C)	①測量実習 ②建設材料学 ③建設システム工学実験ⅠA,ⅠB ④コンクリート構造学Ⅰ,Ⅱ ⑤卒業研究 ⑥建設材料特論 ⑦特別実験	①建築材料施工 ②コンクリート工学	①建築部材の補修・改修・維持管理技術の高度化 ②鉄筋コンクリート造建築物の耐久性評価 ③公共建築物の維持管理 ④施工技術教育
今村 友里子 (博士〔工学〕)	講師		①建設製図Ⅱ ②建築論Ⅰ ③建築論Ⅱ ④建築デザインⅡ ⑤建設設計製図Ⅰ ⑥建築計画Ⅰ ⑦建設計画学 ⑧卒業研究	①建築論 ②建築史	①20世紀建築における制作論 ②近現代建築保存活用
上野 卓也 (博士〔工学〕)	助教		①水理学ⅠA,ⅠB ②水理学ⅡA,ⅡB ③建設システム工学実験ⅡA ④河川工学 ⑤海岸工学 ⑥卒業研究 ⑦環境防災論	①海岸工学	①津波氾濫数値モデルの開発と適用 ②砂浜海岸の地形変化と自然外力の解析 ③小規模河川の流出解析

教 職 員 数

令和2年3月1日現在

校 長								1
教 員	区 分	教授	准教授	講師	助教	特任等	計	
	人 文 科 学 部 門	3	3	2	2	1	11	
	自 然 科 学 部 門	3	4	2	0	0	9	
	機 械 工 学 科	5	3	1	0	0	9	
	電 気 情 報 工 学 科	4	4	0	1	2	11	
	電 子 制 御 工 学 科	4	4	0	2	0	10	
	建 設 シ ス テ ム 工 学 科	5	1	3	1	0	10	
	計	24	19	8	6	3	60	
事 務 職 員	事 務 部 長							1
	総 務 課							14
	学 生 課 (看 護 師 含 む)							13
	再 雇 用 事 務 職 員							2
	計							30
技 術 職 員	教 育 研 究 支 援 セ ン タ ー							12
	施 設 系							2
	再 雇 用 技 術 職 員							0
	計							14
非 常 勤 教 職 員	事 務 補 佐 員 等							30
	特 命 教 授							1
	特 命 准 教 授							1
	特 命 助 教							2
	非 常 勤 講 師							32
	学 校 医 等							5
	計							71
合 計							176	

注1) 「特任等」…「特任教授」「嘱託教授」

注2) 「事務補佐員等」…「事務補佐員」「技術補佐員」「技能補佐員」「課外活動指導員」「学生寮指導員」「非常勤看護師」

注3) 「学校医等」…「学校医」「学校歯科医」「産業医」「カウンセラー」

学校行事日程

月	日	曜日	行 事 名
4	1	月	開寮
	2	火	新入生入寮日・入寮式，入学式，後援会総会
	3	水	始業式，オリエンテーション，身体計測・心電図・胸部レントゲン
	4	木	授業開始
	10	水	新入生合宿研修（～11日）
	13	土	スポーツフェスタ
	15	月	交通安全講習会（本科2・3・4年生・専攻科）
	17	水	交通安全講習会（5年生）
	18	木	JABEE・学位申請説明会（専攻科1年生）
	26	金	開校記念日
5	6	月	開寮
	11	土	福井高専との交歓試合
	18	土	プレオープンキャンパス（京都）
	23	木	専攻科推薦特別選抜試験
	30	木	月曜日授業
	31	金	特別授業
6	3	月	本科前期中間試験（～7日）
	4	火	学位申請説明会（専攻科2年生）
	9	日	プレオープンキャンパス（舞鶴）
	15	土	編入学試験
	16	日	専攻科学力検査選抜試験（前期），公開講座「防災授業 避難所設営訓練」（朝来小学校体育館）
	23	日	プレオープンキャンパス（三田）
7	29	土	近畿地区高専体育大会（ハンドボール）（～30日） 公開講座「舞鶴高専の工作教室」
	4	木	学生総会
	6	土	プレオープンキャンパス（京都），近畿地区高専体育大会（ソフトテニス）（～7日） 公開講座「光であそぼう～セロテープのステンドグラス～」
	13	土	公開講座「光であそぼう～光の万華鏡～」
	14	日	近畿地区高専空手道親善試合
	20	土	公開講座「光であそぼう～万華鏡を作ろう～」

月	日	曜日	行 事 名	
7	21	日	公開講座「夏休み太陽電池教室～太陽電池で遊ぼう～（午前）」「夏休み太陽電池教室～太陽電池を学ぼう～（午後）」	
	27	土	公開講座「水中UFOキャッチャーをつくろう」「ドローンを飛ばそう」	
	28	日	公開講座「テンセグリティ～宙に浮かぶ構造体～を作ろう！」「住宅建築模型製作」	
	30	火	特別授業	
	31	水	本科・専攻科前期期末試験（～8月7日） 公開講座「リニアモーターをつくろう」（舞鶴市大浦会館）	
	8	3	土	公開講座「ドローンを飛ばそう」「電子工作：魔法の鉛筆」「光で遊ぼう～セロテープのステンドグラス～」
		9	金	夏季休業（～9月20日），閉寮
10		土	オープンキャンパス（～11日）	
16		金	全国高専体育大会（中国地区）（～9月1日）	
18		日	公開講座「6足歩行ロボットをつくろう製作講習会」「リモコンロボットをつくろう製作講習会」	
24		土	公開講座「作って学ぶソーラーカー夏休み親子工作教室」（舞鶴市大浦会館）	
31		土	公開講座「第10回舞鶴高専パワーエレクトロニクス公開講座」	
9	1	日	出張！公開講座in京都「LEGOロボット製作とiPadを利用したプログラミング」	
	16	月	入試説明会同時開催in舞鶴「エンジンを作ろう」「ゲーム開発を体験しよう」「LEGOロボット製作とiPadを利用したプログラミング」「レオナルド・ダ・ヴィンチの橋をつくろう！～模型で学ぶ橋の仕組みと形～」	
	22	日	出張！公開講座in滋賀「ノギスの作製と使い方（長さの測定）」「振れば絵が出るイルミネーション」 公開講座「クレーンを作って遊ぼう！」	
	23	月	開寮 公開講座「考えて動かそう！きみにもできるロボットづくり」	
	24	火	特別授業	
	25	水	試験返却等到達度確認期間，前期授業アンケート（各～27日）	
27	金	（午後）月曜日午前中授業		

月	日	曜日	行 事 名
9	29	日	出張！公開講座in大阪「LEGOロボット製作とiPadを利用したプログラミング」「篠原一男の住宅作品『白の家』の模型作り」
10	1	火	球技大会
	3	木	特別研究基礎中間発表（専攻科1年生）
	5	土	留学生研修旅行（～6日）
	13	日	ロボコン近畿地区大会，プロコン全国大会（～14日）
	19	土	公開講座「魚釣りともものづくり」「レオナルド・ダ・ヴィンチの橋をつくろう！～模型で学ぶ橋の仕組みと形～実験で学ぶ土木と防災」
	20	日	専攻科学力検査選抜試験（後期等）
	23	水	午前；英語デー 午後；月曜日午後授業
	26	土	高専祭市中パレード
31	木	高専祭関係（～11月4日）	
11	2	土	高専祭，キャンパスウォーク（～3日） 公開講座「6足歩行ロボットをつくろう競技会」「防災について学ぼう」「パワーエレクトロニクス初心者講座」
	3	日	公開講座「リモコンロボットをつくろう競技会」「光であそぼう」
	9	土	科学の祭典公開講座「プログラミング教室」
	12	火	4年生研修旅行（～16日）
	17	日	公開講座「小・中学生のためのナノテクノロジー体験教室」
	24	日	ロボコン全国大会
	25	月	特別授業
	27	水	本科後期中間試験（～12月3日）
12	7	土	合同学校説明会，デザコン全国大会（～8日）
	8	日	女子中学生1日高専体験会 公開講座「聖夜を彩る光るクリスマスリース」
	11	水	学生総会，金曜日授業
	12	木	寮生総会
	13	金	午前；金曜午前授業 午後；キャリアセミナー準備
	14	土	キャリアセミナー（～15日）

月	日	曜日	行 事 名
12	21	土	閉寮，高専女子フォーラムin関西，公開講座「プログラミングによるドローンの自動飛行」
	23	月	冬季休業（～1月3日）
1	5	日	開寮
	6	月	授業開始
	8	水	臨時休業（暴風警報発令により）
	14	火	特別研究発表会（専攻科2年生）
	16	木	月曜日授業
	17	金	午前；金曜日午後授業
	18	土	公開講座「水をきれいにする試み～快適な環境の創造実験～」
	19	日	特別選抜入試
	24	金	5年生・専攻科2年生後期期末試験（～1月30日）
	25	土	公開講座「住宅建築模型製作」「さわやかエネルギー風車入門」
30	木	特別研究基礎発表会（専攻科1年生）	
2	1	土	公開講座「身の回りにある金属を探そう～金属探知機をつくろう～」
	7	金	特別授業
	10	月	水曜日授業
	12	水	1～4年生・専攻科1年生後期期末試験（～20日）
	16	日	学力検査選抜入試
	17	月	臨時休業
	21	金	特別授業
	22	土	公開講座「プログラミングによるドローンの自動飛行」
	25	火	試験返却等到達度確認期間（～27日）
	28	金	学寮部屋替
29	土	閉寮	
3	2	月	学力補充期間（～6日） 学年末休業（～31日）
	13	金	卒業証書・修了証書授与式
	14	土	進路に関する三者懇談会（～15日）

教育活動

学生数	9 2
本科学学生定員, 現員	9 2
外国人留学生入学者数	9 2
専攻科学学生定員, 現員	9 2
学生寮現員	9 3
奨学生数, 授業料免除該当者数及び入学料免除・猶予	9 4
高等学校就学支援金受給者数	9 4
入試状況	9 5
本科志願者数	9 5
本科合格者数	9 5
編入志願者数及び合格者数	9 5
専攻科入学志願者数及び合格者数	9 5
就職状況 (本科)	9 6
求人及び決定状況	9 6
決定先の所在地域別状況	9 6
決定先の業種別状況	9 6
就職状況 (専攻科)	9 7
求人及び決定状況	9 7
決定先の所在地域別状況	9 7
決定先の業種別状況	9 7
進学状況 (本科)	9 8
進学状況 (専攻科)	9 8
進路先一覧 (本科)	9 9
進路先一覧 (専攻科)	1 0 0
卒業研究題目	1 0 1
機械工学科	1 0 1
電気情報工学科	1 0 2
電子制御工学科	1 0 3
建設システム工学科	1 0 3
専攻科特別研究題目 (第2学年)	1 0 5
インターンシップ受入先 (本科)	1 0 6
インターンシップ受入先 (専攻科)	1 0 7
課外活動成績	1 0 8
課外活動に対する教員の活動状況	1 1 0

学 生 数

本科学学生定員

学 科	機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	電 子 制 御 工 学 科	建 設 シ ス テ ム 工 学 科	計
入学定員	40	40	40	40	160
学生総定員	200	200	200	200	800

本科学学生現員

令和元年5月1日現在

学年・学科	機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	電 子 制 御 工 学 科	建 設 シ ス テ ム 工 学 科	計
第1学年	42(6)	42(7)	42(6)	41(13)	167(32)
第2学年	50(3)	43(5)	46(3)	43(11)	182(22)
第3学年	37(2)	45(6)	38(4)	45(9)	165(21)
第4学年	29(5)	42(5)	39(2)	35(11)	145(23)
第5学年	40(4)	32(7)	30(3)	36(7)	138(21)
計	198(20)	204(30)	195(18)	200(51)	797(119)

() 内は女子学生数を示す。(内数)

外国人留学生入学者数(第3学年編入学生数)

学 科	機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	電 子 制 御 工 学 科	建 設 シ ス テ ム 工 学 科	計
人 数	0	1	0	0	1

専攻科学生定員

専 攻	総合システム工学専攻		
コ ー ス	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 コ ー ス	機 械 制 御 シ ス テ ム 工 学 コ ー ス	建 設 工 学 コ ー ス
入学定員	16		
総 定 員	32		

専攻科学生現員

令和元年5月1日現在

専 攻	総合システム工学専攻			計
コ ー ス	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 コ ー ス	機 械 制 御 シ ス テ ム 工 学 コ ー ス	建 設 工 学 コ ー ス	
第1学年	9(0)	5(0)	4(0)	18(0)
第2学年	4(0)	5(0)	5(1)	14(1)
計	13(0)	10(0)	9(1)	32(1)

() 内は女子学生数を示す。(内数)

学生寮現員

R2.5.1 現在

学 年	男 子	女 子	合 計
第1学年	126	23	149
第2学年	121	26	147
第3学年	106	15	121
第4学年	81	16	97
第5学年	60	10	70
専攻科1年	5	1	6
専攻科2年	2	0	2
計	501	91	592

奨学生数（令和2年2月現在）

奨学金の種類		奨学生数							計
		1年	2年	3年	4年	5年	専1年	専2年	
日本学生支援機構奨学金	第一種	4	9	10	5	13	3	2	46
	第二種	対象外			4	0	2	4	10
	給付型	対象外			2	2	0	0	4
京都府高等学校等修学資金		3	6	4	1	3	対象外		17
その他 府県奨学金		8	1	1	2	1	0	0	13
市町村奨学金		1	1	1	2	1	0	0	6
法人等の奨学金		0	2	1	2	2	2	0	9

授業料免除者数

区 分		免 除 者 数				計
		4年	5年	専1年	専2年	
前 期	全額免除	6 (2)	11 (2)	2	1	20
	半額免除	1	6	2	1	10
後 期	全額免除	6 (2)	12 (2)	1	1	20
	半額免除	1	4	1	1	7

※括弧書きは日本学生支援機構給付奨学生数で内数

入学料免除者数 …… 0名

入学料徴収猶予者数 …… 0名

授業料免除における特別措置 対象者数

（高等学校就学支援金受給者については、支給後の本人負担額を免除）

免除者数 前期…0名

後期…0名

卓越した学生に対する授業料免除

免除者数 後期…4年生4名（半額免除）

令和元年度高等学校就学支援金 受給者数（令和元年7月現在）

（加算および所得制限に係る該当者は令和元年7月分以降申請者）

受給者数		1～3年
		391
内 訳	2.5倍加算該当者（※）	48
	2倍加算該当者	45
	1.5倍加算該当者	122
	加算なし該当者	176
所得制限等による非該当者数（※）		121
合 計		512

※就学支援金制度の変更に伴い追加された項目（平成26年4月以降入学者対象）

入 試 状 況

本科志願者数(都道府県別)

府県名 学科	京都府	福井県	兵庫県	滋賀県	大阪府	その他	計
機械工学科	19(2)	4(0)	9(1)	12(0)	1(0)	1(0)	46(3)
電気情報工学科	29(7)	1(0)	5(0)	11(1)	1(1)	1(0)	48(9)
電子制御工学科	30(1)	1(0)	8(1)	10(0)	4(0)	2(0)	55(2)
建設システム工学科	30(11)	0(0)	12(3)	10(6)	1(0)	0(0)	53(20)
計	108(21)	6(0)	34(5)	43(7)	7(1)	4(0)	202(34)

令和2年2月20日現在, () 内数字は女子学生で内数。

本科合格者数(都道府県別)

府県名 学科	京都府	福井県	兵庫県	滋賀県	大阪府	その他	計
機械工学科	21(1)	4(0)	8(1)	7(0)	2(0)	1(0)	43(2)
電気情報工学科	26(6)	1(0)	5(0)	7(1)	2(1)	1(0)	42(8)
電子制御工学科	22(1)	1(0)	4(1)	8(0)	3(0)	2(0)	40(2)
建設システム工学科	25(11)	0(0)	9(1)	8(4)	0(0)	0(0)	42(16)
計	94(19)	6(0)	26(3)	30(5)	7(1)	4(0)	167(28)

令和2年2月20日現在, () 内数字は女子学生で内数。

編入学志願者数及び合格者数

学科	志願者数	合格者数
機械工学科	1(0)	0(0)
電気情報工学科	3(0)	1(0)
電子制御工学科	0(0)	0(0)
建設システム工学科	0(0)	0(0)
計	4(0)	1(0)

令和2年2月20日現在, () 内数字は女子学生で内数。

専攻科入学志願者数及び合格者数

専攻	コース	志願者数	合格者数
総合システム工学専攻	電気電子システム工学コース	17(1)	14(1)
	機械制御システム工学コース	22(2)	19(2)
	建設工学コース	9(2)	6(2)
計		48(5)	39(5)

令和2年2月20日現在, () 内数字は女子学生で内数。

就職状況（本科）

求人及び決定状況

令和2年3月31日現在

区分	卒業生数	就職希望者数	内定者数	大学・専攻科進学希望者数	合格者数	その他	求人会社数(社)	求人数(人)	求人倍率
機械	40	23	23	16	16	1	764	809	35.2
電気情報	32	17	17	13	13	2	761	797	46.9
電子制御	28	14	14	14	14	0	748	780	55.7
建設システム(都市環境)	19	14	14	5	5	0	553	590	42.1
建設システム(建築)	17	7	7	10	10	0	524	543	77.6
合計	136	75	75	58	58	3	3350	3519	46.9

求人会社数は、学科間の重複を含む。

決定先の所在地域別状況

区分	京都府	大阪府	兵庫県	滋賀県	中京地域	京浜地域	その他	合計
機械	2	4	1	0	2	11	3	23
	8.7%	17.4%	4.3%	0.0%	8.7%	47.8%	13.0%	100.0%
電気情報	4	6	1	0	0	5	1	17
	23.5%	35.3%	5.9%	0.0%	0.0%	29.4%	5.9%	100.0%
電子制御	3	2	1	2	0	6	0	14
	21.4%	14.3%	7.1%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%	100.0%
建設システム(都市環境)	2	3	0	0	1	8	0	14
	14.3%	21.4%	0.0%	0.0%	7.1%	57.1%	0.0%	100.0%
建設システム(建築)	1	2	0	0	0	4	0	7
	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	100.0%
合計	12	17	3	2	3	34	4	75
	16.0%	22.7%	4.0%	2.7%	4.0%	45.3%	5.3%	100.0%

決定先の業種別状況

区分	建設	食品	繊維	出版・印刷	化学	鉄鋼・金属	機械	電気機器	輸送用機器	精密機器	電力・ガス	その他製造	情報通信	運輸・通信	卸売・小売	不動産・賃貸	生活・娯楽	学術サービス	その他サービス	官公庁	合計
機械	0	1	0	0	2	0	10	1	2	0	0	1	1	2	0	0	1	1	1	0	23
	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%	43.5%	4.3%	8.7%	0.0%	0.0%	4.3%	4.3%	8.7%	0.0%	0.0%	4.3%	4.3%	4.3%	0.0%	100.0%
電気情報	0	1	0	0	0	1	2	1	1	1	0	0	6	0	0	0	0	3	0	1	17
	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	11.8%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	35.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	0.0%	5.9%	100.0%
電子制御	0	0	1	0	0	0	3	3	2	2	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	14
	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%	21.4%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	100.0%
建設システム(都市環境)	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	2	14
	64.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	100.0%
建設システム(建築)	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	7
	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	13	2	1	0	2	1	15	5	5	3	0	1	9	3	0	2	1	8	1	3	75
	17.3%	2.7%	1.3%	0.0%	2.7%	1.3%	20.0%	6.7%	6.7%	4.0%	0.0%	1.3%	12.0%	4.0%	0.0%	2.7%	1.3%	10.7%	1.3%	4.0%	100.0%

就職状況（専攻科）

求人及び決定状況

令和2年3月31日現在

区分	修了者数	就職希望者数	内定者数	大学・専攻科進学希望者数	合格者数	その他	求人会社数(社)	求人数(人)	求人倍率
電気電子	4	3	3	1	1	0	711	731	243.7
機械制御	5	3	3	2	2	0	702	716	238.7
建設	5	4	4	1	1	0	528	553	138.3
合計	14	10	10	4	4	0	1941	2000	200.0

求人会社数は、コース間の重複を含む。

決定先の所在地域別状況

区分	京都府	大阪府	兵庫県	滋賀県	中京地域	京浜地域	その他	合計
電気電子	0	0	2	1	0	0	0	3
	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
機械制御	0	1	1	0	0	1	0	3
	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%
建設	0	2	1	0	0	1	0	4
	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	100.0%
合計	0	3	4	1	0	2	0	10
	0.0%	30.0%	40.0%	10.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%

上段の数字は人数を示す。

決定先の業種別状況

区分	建設	食品	繊維	出版・印刷	化学	鉄鋼・金属	機械	電気機器	輸送用機器	精密機器	電力・ガス	その他製造	情報通信	運輸・通信	卸売・小売	不動産・賃貸	生活・娯楽	学術サービス	その他サービス	官公庁	合計
電気電子	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
機械制御	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
建設	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	2	0	0	0	4	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	10
	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%

上段の数字は人数を示す。

進学状況（本科）

令和2年3月31日現在

大学・専攻科	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
舞鶴工業高等専門学校専攻科	8	7	5	6	26
近畿大学工業高等専門学校専攻科				1	1
金沢大学	1				1
横浜国立大学				1	1
長岡技術科学大学			1	2	3
信州大学	1				1
福井大学				1	1
静岡大学	1				1
岐阜大学	1			1	2
豊橋技術科学大学	2	2	4	1	9
滋賀県立大学				1	1
京都工芸繊維大学		1	1		2
大阪大学		1	1		2
和歌山大学			1		1
岡山大学			1		1
高知工科大学		1			1
九州大学	1	1			2
佐賀大学	1				1
京都造形芸術大学				1	1
計	16	13	14	15	58

進学状況（専攻科）

令和2年3月31日現在

大学院	ES	MS	CA	計
京都工芸繊維大学大学院		1		1
大阪大学大学院		1		1
大阪市立大学大学院			1	1
奈良先端科学技術大学院大学	1			1
計	1	2	1	4

ES:電気電子システム工学コース, MS:機械制御システム工学コース, CA:建設工学コース

進路先一覧（本科）

令和2年3月31日現在

科	進路先	人数	科	進路先	人数	科	進路先	人数			
機械工学科	旭化成(株)	1	電気子制御工学科	(株)オブテージ	1	電子制御工学科	大阪大学	1			
	アドバンス(株)	1		京セラコミュニケーションシステム(株)	1		和歌山大学	1			
	(株)インダ	1		京都大学施設部	1		岡山大学	1			
	オークマ(株)	1		ユニカミノルタジャパン(株)	1		小計	28			
	(株)河合楽器製作所	1		三精テクノロジーズ(株)	1	建設シスムテム工学科	(株)ア・ファクトリー	1			
	キャノンメディカルシステムズ(株)	1		サントリースピリッツ(株)	1		(株)IHIインフラ建設	1			
	(株)クボタ	1		(株)駿河生産プラットフォーム	1		あおみ建設(株)	1			
	京阪電気鉄道(株)	1		TOA(株)	1		エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)	1			
	サントリープロダクツ(株)	1		日新電機(株)	1		(株)大阪防水建設社	1			
	(株)JALエンジニアリング	1		(株)博報堂アイ・スタジオ	1		京都府	1			
	(株)SUBARU	1		パナソニック(株)AIS社	1		(一社)近畿建設協会	1			
	住友化学(株)	1		(株)堀場製作所	1		国土交通省	1			
	ダイキン工業(株)	1		舞鶴工業高等専門学校専攻科	7		(株)駒井ハルテック	1			
	(株)椿本チエイン	1		豊橋技術科学大学	2		住友不動産(株)	1			
	東海旅客鉄道(株)	1		京都工芸繊維大学	1		大和ハウス工業(株)	1			
	(株)日産オートモーティブテクノロジー	1		大阪大学	1		(株)竹中土木	1			
	日本オーチス・エレベータ(株)	1		高知工科大学	1		(株)TAKイーヴェック	1			
	日立建機(株)	1		九州大学	1		東亜建設工業(株)	1			
	(株)牧野フライス製作所	1		小計	30		東海旅客鉄道(株)	1			
	マルホ発條工業(株)	1		電子制御工学科	(株)アクシード		1	内外エンジニアリング(株)	1		
	三浦工業(株)	1			池上通信機(株)		1	西日本高速道路(株)	1		
	三菱重工業(株)	1			ANAラインメンテナンステクノクス(株)		1	日鉄テックスエンジ(株)	1		
	三菱電機プラントエンジニアリング(株)	1			オムロン(株)		1	野口建設(株)	1		
	舞鶴工業高等専門学校専攻科	8			キャノン(株)		1	阪急阪神不動産(株)	1		
	金沢大学	1			ゲンゼ(株)		1	(株)URリンクージ	1		
	信州大学	1			サムコ(株)		1	舞鶴工業高等専門学校専攻科	6		
	静岡大学	1			トランスコスモス(株)		1	近畿大学工業高等専門学校専攻科	1		
	岐阜大学	1			ネクストウェア(株)		1	横浜国立大学	1		
	豊橋技術科学大学	2			パナソニック(株)アプライアンス社		1	長岡技術科学大学	2		
	九州大学	1			フジテック(株)		1	福井大学	1		
	佐賀大学	1			富士電機(株)		1	岐阜大学	1		
	小計	39			学		三菱電機(株)姫路製作所	1	豊橋技術科学大学	1	
	電気情報工学科	アイテック阪急阪神(株)			1		電子制御工学科	村田機械(株)	1	滋賀県立大学	1
		(株)エクセディ			1			舞鶴工業高等専門学校専攻科	5	京都造形芸術大学	1
		(株)エヌ・ティ・ティ ネオメイト			1	長岡技術科学大学		1	小計	36	
		NECネットエスアイ(株)		1	豊橋技術科学大学	4		合計	133		
		(株)NHKテクノロジーズ		1	京都工芸繊維大学	1					

進路先一覧（専攻科）

令和2年3月31日現在

コース	進路先	人数	コース	進路先	人数	
電気 情報 システム 工学 シ	TOA(株)	1	建設 工学 コース	(株)飯島建築事務所	1	
	ニチコン草津(株)	1		JR西日本不動産開発(株)	1	
	三菱電機(株)通信機製作所	1		西日本高速道路(株)	1	
	奈良先端科学技術大学院大学	1		(株)日本触媒	1	
	小計	4		大阪市立大学大学院	1	
機械 制御 コース ステ	出光興産(株)	1	小計		5	
	住友ゴム工業(株)	1	合計			14
	(株)日本触媒	1				
	京都工芸繊維大学大学院	1				
	大阪大学大学院	1				
小計	5					

卒業研究題目

学科	題 目	指導教員
機 械 工 学 科	ジャミング転移を利用したソフトグripperの基礎研究	西山 等
	トンボの翅型形状を模擬した物体まわりの流れの可視化	
	2足受動歩行機的设计・製作と動作解析	
	つる巻二重らせん構造を付加したエアリフトポンプの性能評価	
	カエデの種を模した単翼回転体の飛翔の基礎研究	
	炭素繊維強化熱可塑性樹脂複合材料の接合について	篠原 正浩
	炭素繊維強化熱可塑性樹脂複合材料の二次加工が力学的特性に及ぼす影響	
	運転が楽しいミニカーの改良製作	谷川 博哉
	低レイノルズ数領域での翼の数値シミュレーション	
	新型風レンズの数値解析	
	低燃費競技車両の設計製作	
	新型風レンズの実験的研究	
	双円錐まわりの飽和膜沸騰熱伝達の実験的研究	豊田 香
	垂直円柱まわりの飽和膜沸騰熱伝達の実験的研究(直径 32mm および高さ 32mm の場合)	
	長楕円体まわりの飽和膜沸騰熱伝達の実験(長径 75mm および短径 50mm の場合)	
	逆円すい台まわりの飽和膜沸騰熱伝達の実験的研究(平滑界面長さの測定)	山田耕一郎
	旋盤据付型摩擦摩耗試験装置の製作	
	木製スターリングエンジンの製作	
	公開講座で使用するスターリングエンジンモデルの試作	
	CBN系ホーニング砥石の湿式摩擦摩耗特性に関する研究	
	SWRCH18A ボルトの疲労試験	小林 洋平
	回転円すい体による濡れ性試験装置の製作	
	振幅測定の自動化	
	斜面による濡れ性試験装置の製作	野毛 宏文
	第1グラウンド横断を目指したペットボトルハイブリッドロケットの開発	
	MgO触媒によるパーム酸油の改質	
	パーム酸油がNO還元反応に及ぼす影響の調査	室巻 孝郎
	生産ラインの自動化箱詰め装置の開発	
	1リンク機構を用いた起立補助椅子の改良	
	3次元照明システムの設計・製作	
産業用モノレールのミッション周りの設計		
跳躍動作実験に関する装置の改良	村上信太郎	
マイクロ熱交換器の常温空気に対する流動実験		
マイクロチューブ直径測定装置の改良		
遠隔操作可能な実験用球体ロボットの開発		
マイクロ貫通孔アレイを有する真空チャックの把持力測定		

学科	題 目	指導教員
電 気 情 報 工 学 科	快晴時における太陽追尾装置を用いた MPPT 評価装置の開発	中川 重康
	液晶シャッターによる高速日射変動システムの可能性	
	microbit を用いた新イルミネーションシステムの試作	
	屋外環境下における発電特性推定システムの構築	
	視覚障がい者向けの空席検出のシステム	片山 英昭
	Raspberry Pi を用いた物体検出システムの改良	
	シルクスクリン法を用いた液体金属による電極の作製	内海 淳志
	感情認識機能を有する IoT 表具の開発	
	黒谷和紙を用いた IoT 表具の提案と実証	
	OpenFDTD による電磁界解析とその可視化に関する研究	
	ドローン搭載マイクによる音声録音に向けて	芦澤 恵太
	音声分離システムの開発に向けて	
	ギブス現象軽減のための周期的延長処理の検討	
	デジタル知育遊具「アクションなぞとき」の開発	船木 英岳
	アナログ要素を取り入れた IPS によるデジタル遊具の開発	
	視覚障害者のためのスマート触地図の改良	丹下 裕
	異なる形状のがん温熱治療用空洞共振器のエネルギー分布の比較	
	眼電位の方向判別プログラムの制作	
	低電圧駆動を実現する指点字デバイスの開発	
	アンサンブル学習による狭範囲での気象予測	井上 泰仁
	オンライン欠席確認支援システムの構築	
	Pepper を用いたラジオ体操アプリの開発	
	GaNHEMT の誤点弧ロック現象に関する研究	七森 公碩
	小型ドローン用ワイヤレス給電回路に関する研究	
	マイクロインバータの小型・軽量化に向けた回路検討	
	相互コンダクタンスを用いた電流モデルの検証及び構築	
	画像処理によるモアレ縞低減に関する研究	金山 光一
	圧力センサを用いた姿勢制御の研究	
	圧電素子によるギター用センサの開発	
	形状記憶合金を用いたアクチュエータの研究	
他励式電流不連続モードフライバックトランス方式 DCDC コンバータの研究	平地 克也	
チョップ回路における FET ターンオフ時のサージ電圧解析		
電 子 制 御 工 学 科	教育用トライボロジー実験教材の開発	野間 正泰
	身近な物体まわりの流れの可視化と出前授業への適用	
	移動物体まわりの流れの可視化	仲川 力
	HMD を用いた建設機械シミュレータの開発	
IoT を用いた制御機器の開発および実験		

学科	題 目	指導教員
電 子 制 御 工 学 科	LEGO MINDSTORMS EV3 による回転型倒立振子の開発	川田 昌克
	クローラ型倒立振子の製作と安定化制御に関する研究	
	慣性ロータを利用した自転車型ロボットの開発	伊藤 稔
	音源分離における IVA と NMF および ILRMA の性能比較	
	ROS を用いた移動ロボットシステムの開発	町田 秀和
	レビュー情報からの商品評価に関する感情抽出を行うシステム構築に関する研究	
	二重 PLL によるフルモーション制御に関する研究	清原 修二
	両方向巻き取り繰り出しコントローラに関する研究	
	ネジ締め機械の低速高精度制御に関する研究	石川 一平
	超音波液滴室温ナノインプリントによるDLCマイクロギヤの作製	
	マイコンを用いた超音波振動室温ナノインプリントによるDLCパターンの作製	高木 太郎
	ナノインプリントを用いた小・中学生のためのナノテクノロジー教育	
	固体飛跡検出器のエッチング特性改善に関する研究	若林 勇太
	薄膜型固体飛跡検出器の製造方法の開発	
	放射線教育プラスチック検出器のエッチング液の改良に関する研究	平地 克也
	減圧式ソフトアクチュエータに関する研究	
	パワーアシストスーツ製作のための負荷解析と制御方法に関する研究	高谷 富也 玉田 和也
	パワーアシストスーツのための McKibben 型人工筋肉の研究	
	Cardboard Robot "CbR": 折り紙型ロボットハンド	高谷 富也 尾上 亮介 今村友里子
	コンビニエンスストアにおける陳列・廃棄自動化システムのロボットアームに関する研究	
可動型ハンドルを有するパワーアシストカートに関する研究	高谷 富也 加登 文学 上野 卓也	
キッキングにおける情報処理能力モデルの基礎的検討		
コッククロフト・ウォルトン回路用高周波インバータの研究	四蔵 茂雄	
位相シフトフルブリッジ方式DC/DCコンバータの動作解析		
建 設 シ ス テ ム 工 学 科	固有値解析による淀川大橋の振動計測の補完に関する研究	高谷 富也 玉田 和也
	舞鶴市都市計画マスタープランの 3DCG 化に関する研究 ー東舞鶴駅周辺を対象としてー	
	3次元モデルを用いたにぎわい複合施設の基本計画に関する研究 ーGoogleEarthPro による3次元的表现ー	高谷 富也 加登 文学 上野 卓也
	舞鶴市高野川の3次元洪水シミュレーションに関する研究 ーRiverFlow2D の適用についてー	
	ルワンダ国のエネルギーの現状と課題	四蔵 茂雄
	トランスログモデルによるバイオマスエネルギー消費分析	
	EU の電力グリッドが再生可能エネルギー普及に及ぼす影響について	
	日本の電力の将来 ー国民が考える望ましい電源構成ー	

学科	題 目	指導教員
建設システム工学	構造力学教育動画の開発	玉田 和也
	人力輸送可能なラティス桁の提案・設計	
	田辺大橋改築案の提案	
	市民協働型インフラメンテナンスシステムのための学習プログラムの開発	
	宮津市西堀川通りの歴史の変遷の調査と整備計画の提案	尾上 亮介
	旧市立舞鶴市民病院の跡地活用に関する基本計画の提案	
	舞鶴市居住促進住宅事業における空き家の活用提案及び改修計画 －西舞鶴地区の空き家を題材として－	
	旧軍用財産の活用提案 －舞鶴地方総監部幕僚長邸を題材として－	
	地域防災力向上のための災害リスク評価と防災カルテの提案	加登 文学
	FEM を用いた土圧理論に対する考察	
	粒度分布に着目した砂と粘性土の混合材料の締固め特性	
	谷埋め型盛土における三次元斜面安全率の簡易評価法の提案	
	開口部の変化と光環境に関する印象の関係	徳永 泰伸
	指揮者位置と客席部における聴感印象の違い	
	熱伝導率の簡易的測定方法の提案	
	異なる光色環境における色の弁別	
	近代組積造建築物の構造特性に関する研究 －舞鶴赤れんが倉庫を対象とした解析による構造特性の把握－	渡部 昌弘
	近代木造住宅の構工法と構造特性に関する研究 －舞鶴地方総監部幕僚長邸の構工法と構造特性－	
	近代産業遺構の保存・再生に関する研究 －第3火薬廠砲煩谷の砲炸薬整形工場の木部の痕跡を対象として－	
	模擬モルタルを用いた左官作業の動作解析手法の開発	毛利 聡
	海軍第三火薬廠跡の現状把握	
	コンクリートと建設部材との接着一体性の耐久性評価	
	新旧部材取合い部におけるコンクリート内部の鉄筋腐食を対象とした耐久性評価	
	大谷幸夫の設計理論に関する研究 －「Urbanics 試論」から「都市のとらえ方」ま	今村友里子
	イサム・ノグチのランドスケープデザインに関する研究 －イスラエルのエルサレム国立博物館の彫刻庭園について－	
	志楽川河口部における潮位変動と河川水位の解析と計測手法の提案	
	タンクモデルによる二級河川志楽川の流出解析	上野 卓也

専攻科特別研究題目(第2学年)

専攻：総合システム工学専攻

コース	題 目	指導教員
電気電子システム工学コース	DCT とハール変換を併用した超高精細画像圧縮アルゴリズムの開発	芦澤 恵太 片山 英昭 船木 英岳
	電圧共振型チョッパ回路の動作解析に関する研究	平地 克也 中川 重康
	全天球画像を使用した日射強度予測	中川 重康 平地 克也 内海 淳志
	画像計測による構造体の振動モード決定に関する研究	金山 光一 芦澤 恵太
機械制御システム工学コース	膜沸騰領域におけるアルミニウム垂直円柱内の温度計測	谷川 博哉 豊田 香
	パーム酸油の燃料改質に関する研究	野毛 宏文
	膜沸騰領域における半球状の凸底面を有するアルミニウム垂直円柱内の温度計測	谷川 博哉 豊田 香
	パーム酸油混合燃料による NOx 低減特性調査のための超音波振動子型層流拡散バーナーの開発	野毛 宏文
	離散特異点法によるラグランジアンカオスの数値シミュレーション	谷川 博哉
建設工学コース	ホール客席部において知覚される音響的区分に関する基礎的研究	徳永 泰伸 尾上 亮介
	常時微動観測を用いた大規模盛土造成地の地盤構造推定に関する研究	加登 文学 上野 卓也
	木造建築物の耐震性に関する研究 ～志賀郷公民館を対象として～	高谷 富也 渡部 昌弘
	合成繊維を用いた接合部補強に関する基礎的研究 －接着された合成繊維シートと木材の剥離及び引張性能に着目して－	渡部 昌弘 尾上 亮介
	壁面投影時における投影面の表面状態と見え方の関係	徳永 泰伸 尾上 亮介

インターンシップ受入先(本科)

学科	受 入 先	人数	学科	受 入 先	人数	
機 械 工 学 科	旭化成 (株)	1	電 気 情 報 工 学 科	(株) jig.jp (ジグジェイピー)	1	
	花王ロジスティクス (株)	1		CTC・テクノロジー (株)	1	
	(株) クボタ	1		(株) JALエンジニアリング	1	
	ケンコーマヨネーズ (株)	1		東芝インフラシステムズ (株)	1	
	シキボウ (株) 中央研究所	1		豊橋技術科学大学	1	
	シチズンファインデバイス (株)	1		西日本高速道路ファシリティーズ (株)	1	
	全日本空輸 (株) (ANA)	1		パナソニック (株) アプライアンス社	1	
	東レエンジニアリング (株)	1		パナソニック (株) オートモーティブ社	1	
	東レ・カーボンマジック (株)	1		日立造船 (株)	1	
	豊橋技術科学大学	1		(株) 富士通エフサス	1	
	(株) NAITO	1		三菱電機システムサービス (株)	1	
	日本オーチス・エレベータ (株)	1		三菱電機ビルテクノサービス (株)	1	
	パナソニック (株) コネクティッドソリューションズ社	1		(株) メンバーズ	1	
	日立造船 (株)	1		(株) ロジックデザイン	1	
	ファナック (株)	1		小 計	31	
	(株) 堀場製作所	1		電 子 制 御 工 学 科	NHK 大阪放送局	1
	三浦工業 (株)	1			(株) Mテック	1
	(株) ミクニ	1			オプテックス・エフエー (株)	1
	三菱重工業 (株) 神戸造船所	1			花王 (株)	1
	三菱日立パワーシステムズ (株)	1			キヤノン (株)	1
	村田機械 (株)	1			キヤノンマシナリー (株)	1
	(株) 村田製作所 八日市事業所	1			キヤノンメディカルシステムズ (株)	1
	ムラテックCCS (株)	1			キリンビバレッジ (株)	1
	山崎製パン (株)	1			サントリーホールディング (株)	1
	ヤンマーエネルギーシステム (株)	1			島津メディカルシステムズ (株)	1
小 計	25	(株) JAL エンジニアリング	1			
電 気 情 報 工 学 科	アイテック阪急阪神 (株)	1	スズキ教育ソフト (株)		1	
	池上通信機 (株)	1	ダイキン工業 (株)		1	
	(株) イシダ	1	大東精機 (株)		1	
	(株) 岩崎電機製作所	1	DMG 森精機 (株)		1	
	(株) エヌ・ティ・ティ エムイー	1	豊橋技術科学大学		1	
	(株) NTTファシリティーズ	1	長岡技術科学大学		2	
	(株) NTTフィールドテクノ 関西支店	1	ニチコン亀岡 (株)		1	
	(株) エフ・エー電子	1	日新電機 (株)		1	
	大阪ガス (株)	1	パナソニック (株) アプライアンス社		1	
	オムロン (株) 綾部工場	2	(株) ビーネックスソリューションズ		1	
	オムロンフィールドエンジニアリング (株)	1	(株) マイスターエンジニアリング		1	
	核融合科学研究所	1	三菱電機ビルテクノサービス (株)		1	
	関西電力 (株)	1	メタウォーター (株)		1	
	キヤノンメディカルシステムズ (株)	1	ヤンマー (株) エンジン事業本部		1	
	京セラ (株)	1	ローム (株)	1		
	サントリーホールディングス (株)	1	小 計	27		

学科	受 入 先	人数	学科	受 入 先	人数
建設システム工学科	NTTインフラネット(株)	1	建設システム工学科	大鉄工業(株)	1
	(株)NTTフィールドテクノ	1		高島市役所	1
	大阪ガス(株)	1		高田機工(株)	1
	(株)大阪防水建設社	1		東京水道サービス(株)	1
	(株)岡野組	1		豊橋技術科学大学	3
	岡本建築工房	1		内外エンジニアリング(株)	1
	奥和田健建築設計事務所	1		中日本建設コンサルタント(株)	1
	小野田ケミコ(株)	1		(株)中村設計	1
	オリエンタル白石(株)大阪支店	1		西日本旅客鉄道(株)	1
	鹿島クレス(株)	1		野口建設(株)	1
	近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所	1		東日本旅客鉄道(株)	1
	近畿地方整備局 和歌山港湾事務所	1		東山明建築設計事務所	1
	(株)鴻池組	1		福知山市役所	1
	五洋建設(株)	1		舞鶴市役所	1
	(株)コラボハウス	1		(有)横内敏人建築設計事務所	1
	佐藤工業(株)	1		小 計	35
	(株)CTIウイング	1			
	(株)船場	1		合 計	118

インターンシップ受入先(専攻科)

コース	受 入 先	人数
MS	(株)小松製作所 大阪工場	1
	神鋼テクノ(株)	1
	パナソニック(株)アプライアンス社	1
	小 計	3
ES	オープンテクノロジー(株)	1
	キヤノンシステムアンドサポート(株)	1
	島津メディカルシステムズ(株)	1
	奈良先端科学技術大学院大学	3
	日立造船(株)	1
小 計	7	
CA	近畿地方整備局 舞鶴港湾事務所	1
	小 計	1
合 計		11

ES：電気電子システム工学コース

MS：機械制御システム工学コース

CA：建設工学コース

課外活動成績

《体育系》

第54回全国高等専門学校体育大会

【個人戦】

[柔道]

女子63kg以下級 3位 河原 未侑

第56回近畿地区高等専門学校体育大会

【団体戦】

陸上競技 男子4×400m 3位

女子バスケットボール 3位

男子バレーボール 3位

女子バレーボール 3位

男子卓球 3位

柔道 3位

男子バドミントン 3位

男子テニス 準優勝

【個人戦】

[陸上競技]

男子5000m 1位 小松 幹昂

男子三段跳 3位 内橋 拓斗

男子400m 3位 森 真澄

女子100m 3位 河崎 慈愛

女子砲丸投 3位 村上奈々美

[卓球]

男子シングルス 3位 小林 優暉

男子ダブルス 3位 小林 優暉・大西 成侍

女子シングルス 3位 川上 春菜

[柔道]

男子73kg以下級 3位 藤原 雅也

女子63kg以下級 2位 河原 未侑

[バドミントン]

男子ダブルス 3位 浦川 周馬・糸島 幹

女子シングルス 3位 橘 敦子

[水泳]

男子200m自由形 5位 北野 開靖

男子400m自由形 4位 北野 開靖

男子100m背泳ぎ 6位 藤田 秋翔

8位 吉川 優

男子200m背泳ぎ 7位 吉川 優

男子200mバタフライ 7位 志賀 亘造

男子200m個人メドレー 8位 藤田 秋翔

男子400mリレー 6位

(北野 開靖・志賀 亘造・惣司 朝也・大浦 真人)

男子800mリレー 4位

(北野 開靖・坪井 一将・杉山聡一朗・大浦 真人)

男子400mメドレーリレー 5位

(吉川 優・藤田 秋翔・志賀 亘造・惣司 朝也)

[テニス]

男子シングルス ベスト8 八坂 直哉

男子ダブルス

準優勝 高田 悠生・八坂 直哉

女子シングルス ベスト8 山本有紀乃

山崎 麻倫

第42回近畿地区高等専門学校駅伝競走大会

【団体戦】男子の部 1位

【個人戦】

3.0キロ区間2位 田邊 雅翔

第103回近畿地区高等専門学校バレーボール男子
交歓大会

男子 3位

令和元年度全日本高等学校バレーボール選手権
大会両丹予選会

男子 3位

令和元年度全日本高等学校バレーボール選手権
大会両丹予選会

男子 ベスト6 (センター) 中村 聡介

令和元年度両丹高等学校バレーボール新人大会

男子 ベスト6 (レフト) 増茂 和志

第52回松谷杯柔道大会

女子の部 57kg超級 3位 河原 未侑

第52回全国高等専門学校サッカー選手権大会近畿
地区大会

【団体戦】男子 フェアプレー賞

優秀選手賞 山本のどか

水野 峻輔

第55回舞鶴バドミントン級別個人選手権大会

D級シングルス 2位 小西 翔大

第25回全国高等専門学校水泳競技大会

【個人戦】

男子400m自由形 18位 北野 開靖

第48回舞鶴オープンテニストーナメント

一般男子シングルス 3位 松村 友人

一般男子ダブルス

ベスト4 松村 友人

ベスト8 八坂 直哉・高田 悠生

男子ジュニアシングルス 優勝 松村 友人

第9回 舞鶴クラス別シングルステニス大会

一般男子Aクラス	5位	松村	友人
一般男子Bクラス	優勝	八坂	直哉
	準優勝	高田	悠生
	4位	中川	創太

第57回 藤川杯クラブ対抗戦 (テニス)

男子Aクラス	4位
男子Bクラス	5位
女子Bクラス	5位

第63回舞鶴テニス選手権大会

一般男子シングルス	3位	松村	友人
一般男子ダブルス			
ベスト8		松村	友人・竹内
			京平

第38回京都北部テニストーナメント大会

一般男子シングルス	ベスト8	松村	友人
-----------	------	----	----

令和元年亀岡市スポーツ賞

奨励賞 (個人)		八坂	直哉
----------	--	----	----

第29回舞鶴市空手道選手権大会

組手高校・一般男子の部	優勝	小山	拓人
	3位	宮崎	大陸
形の部	3位	安井	宏樹

第40回近畿地区高等専門学校空手道親善試合

団体組手の部			2位
個人組手の部	男子	優勝	小山 拓人
	女子	2位	井上 忍

第24回近畿高等学校スポーツクライミング大会
京都府予選

個人戦男子	4位	小谷	洋平
	6位	長瀬	元成
	6位	内田	智己
個人戦女子	2位	稲田	遥香
	3位	平地	燎

《文化系》

第3級アマチュア無線技士国家試験合格

古久保	惇・大垣	光希
清水	俊平・岩田	流聖
上里	達也・中川	蒼大
南川	誠士郎・村井	佑希哉

パソコン甲子園2019プログラミング部門予選

成績優秀賞	大森	崇志・牧野	竜也
	北村	惇・北村	陽斗

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2019近畿地区大会

特別賞(マブチモーター)	Aチーム
--------------	------

第1回近畿北陸高等学校軽音楽コンテスト

舞鶴市長賞	fool cool (佐藤	一貴
	加藤	礼・菊田
	向林	洋・諏訪
		悠仁)

舞鶴工業高等専門学校第54回高専祭

クラブ展示部門優秀賞	HANDMADE部
------------	-----------

課外活動に対する教員の活動状況

藤田 憲司

第13回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト, 実行委員, 2019年4月～2020年3月

上杉 智子

近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会, 理事, 2019年4月～2020年3月

奥村 昌司

舞鶴市吹奏楽連盟, 理事, 2019年4月～2020年3月

近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会, 理事, 2019年4月～2020年3月

木村 健二

平成31年・令和1年度近畿地区高等専門学校体育連盟専門委員会, 委員, 2019年4月～2020年3月

第56回近畿地区高等専門学校体育大会役員, 大会委員, 2019年4月～2020年3月

一般社団法人 全国高等専門学校サッカー連盟, 審判委員, 2019年4月～2020年3月

西山 等

舞鶴市吹奏楽連盟, 理事, 2019年4月～2020年3月

近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会, 理事, 2019年4月～2020年3月

山田耕一郎

平成31年度高体連両丹支部バスケットボール, 記録委員長, 2019年4月～2020年3月

第72回全国高等学校バスケットボール選手権大会京都府予選, 役員, 2019年10月25日～11月3日

片山 英昭

全国高等専門学校プログラミングコンテスト実行委員会, ブロック委員, 2019年1月～2019年12月

船木 英岳

舞鶴市テニス協会, 理事, 2019年4月～2020年3月

芦澤 恵太

京都府高等学校野球連盟, 理事, 2019年4月～2020年3月

井上 泰仁

全国高等専門学校プログラミングコンテスト実行委員会, 専門委員, 2019年4月～2020年3月

廣芝 伸哉

マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議 (MNC), 2-50organic Nanomaterials 論文審査委員,
2019年6月～2020年3月

町田 秀和

全日本小中学生ロボコン, 舞鶴高専予選, 製作会, 2019年8月18日, コンテスト, 2019年11月3日

若林 勇太

京都府高体連両丹支部バスケットボール専門部, 記録委員, 2018年4月～現在

玉田 和也

全国高等専門学校デザインコンペティション実行委員会, 専門部会専門委員, 2019年4月～2020年3月

加登 文学

舞鶴卓球協会，理事，2019年4月～2020年3月

徳永 泰伸

舞鶴市吹奏楽連盟，理事，2019年4月～2020年3月

近畿地区高専吹奏楽部合同演奏会理事会，理事，2019年4月～2020年3月

研究活動

研究業績	1 1 2
人文科学部門	1 1 4
自然科学部門	1 1 6
機械工学科	1 1 7
電気情報工学科	1 2 0
電子制御工学科	1 2 4
建設システム工学科	1 2 6
教育研究支援センター	1 2 9
学位取得状況	1 3 0
研究成果発表状況	1 3 0
外部研究費受入	1 3 1
科学研究費補助金	1 3 1
受託研究, 共同研究	1 3 2
寄附金	1 3 3
学協会委員及び学会・研究会等の開催協力	1 3 7
教職員の活動状況	1 3 9

(注) 研究成果発表の分類については、以下のとおりとする。

1. 著書
2. 解説
3. 査読付論文
4. 国際会議
5. 学会発表
6. 特許
7. その他

校 長

内海 康雄

著書

環境工学教科書第三版，彰国社，pp152-155，環境工学教科書研究会，2020年2月10日

学会発表

多様な建築環境のデータ計測と評価と制御を一括して可能とする有線IoTシステム WITS の開発，眞幡宜輝，小林光，内海康雄，鈴木直康，小林大，日本建築学会大会学術講演梗概集（北陸），pp. 999-1000，2019年9月

The visualization of the tacit knowledge of the fisherperson to achieve the sustainable coast fishery，○Yasuo Utsumi¹，Hiroyuki Kitajima¹，Kazuhiro Wako¹，Toshiya Sugawara¹，令和2年度（公社）日本水産学会春季大会要旨集，（¹National Institute of Technology, Sendai College），pp. 157，2020年3月28日（口頭発表，コロナウイルスで講演無し）

沿岸漁業における漁師知見の可視化について，マリンITワークショップ2020 みえ，主催 公立はこだて未来大学マリンIT・ラボ，2020年3月2日（口頭発表，コロナウイルスで講演無し）

その他

地域の課題解決による地方創生へ向けての工学教育とは，内海康雄，日本工学教育協会，工学教育2019-9，vol.67，No.5，pp.28-29，2019年9月

人文科学部門

吉永 進一

著書

『近現代日本の民間精神療法』栗田英彦，塚田穂高，吉永進一編，栗田，塚田，吉永他9名，pp. 3-23，国書刊行会，2019年9月

『日本仏教と西洋世界』碧海寿広，嵩満也，吉永進一編，碧海，嵩，吉永他9名，pp. 221-251，法蔵館，2020年3月

児玉 圭司

解説

わが国における恩赦制度の歴史，児玉圭司，法学セミナー781号，pp. 6-10，2020年1月

査読付論文

團藤文庫『警察監獄学校設立始末』から見えてくるもの—明治32年・警察監獄学校の設立経緯，児玉圭司，『團藤重光研究—法思想・立法論、最高裁判事時代』（日本評論社），pp. 175-197，2020年2月

大正・昭和戦前期における未決拘禁制度改革—未決拘禁施設の独立をめぐる—，児玉圭司，法学紀要（日本大学），61巻，pp. 35-59，2020年3月

明治中・後期の典獄—異動の傾向・特徴とその背景—，児玉圭司，法史学研究会会報，23号，pp. 137-146，2020年3月

学会発表

わが国における 恩赦制度の歴史，児玉圭司，舞鶴地方史研究会，舞鶴市西公民館，2019年12月15日

藤田 憲司

学会発表

真理を生産するフィクション—レノックス『女キホーテ』におけるロマンス対小説論争，藤田憲司，日本ジョンソン協会第52回大会シンポジウム，2019年7月13日

牧野 雅司

その他

廃藩置県前後の倭館における渡航船と書契・吹嘘，牧野雅司，舞鶴工業高等専門学校紀要，第55号，pp. 25-34，2020年3月

荻田 みどり

査読付論文

『源氏物語』幻巻における光源氏と夕霧の関係—くだものの供給を端緒として—，荻田みどり，論究日本文学，第110号，pp. 29-43，2019年5月

その他

『更級日記』鞍馬詣でにおける「野老」——『源氏物語』の影響をめぐって——，荻田みどり，平安文学研究・衣笠編，第8輯，pp. 34-51，2019年10月

山根 秀介**学会発表**

ウィリアム・ジェイムズに対するシャルル・ルヌヴィエの影響，山根秀介，京都ヘーゲル読書会令和初年度夏期研究例会，2019年7月6日

シャルル・ルヌヴィエの反カント主義とウィリアム・ジェイムズ，山根秀介，日仏哲学会2019年秋季研究大会，2019年9月7日

その他

古川雄嗣先生のご講演に対するコメント 九鬼周造の時間論における二重構造への問い，山根秀介，心の危機と臨床の知，21巻，pp. 118-120，2020年3月

自然科学部門

上杉 智子

学会発表

物理チャレンジ2019報告:III 第2チャレンジ理論問題, 日本物理学会2019年秋季大会, 三間圀興, 荒船次郎, 飯尾俊二, 伊東敏雄, 上杉智子 他10名, 2019年9月13日

第50回国際物理オリンピック報告, 日本物理学会2019年秋季大会, 松本益明, 中屋敷勉, 杉山忠男, 東辻浩夫, 金子朋史, 真梶克彦, 高橋拓豊, 荒船次郎, 上杉智子 他23名, 2019年9月13日

木村 健二

著書

改訂新版 保健体育概論, 近畿地区高等専門学校学校体育研究会編, pp. 187-204, 晃洋書房, 2019年4月

宝利 剛

査読付論文

On symmetry operators for the Maxwell equation on the Kerr-NUT-(A)dS spacetime, Tsuyoshi Houri, Norihiro Tanahashi, Yukinori Yasui, Class. Quantum Grav. 37, 015011, 6 December 2019

Hidden symmetry and the separability of the Maxwell equation on the Wahlquist spacetime, Tsuyoshi Houri, Norihiro Tanahashi, Yukinori Yasui, Class. Quantum Grav. 37, 075005, 25 February 2020

学会発表

ワルキスト時空における隠れた対称性とマクスウェル方程式の変数分離性, 宝利剛, 棚橋典大, 安井幸則, 日本物理学会第75回年次大会, 名古屋大学, 2020年3月19日

その他

Separability structures on the Myers-Perry spacetime, 宝利剛, 研究会「GR-PDE」, 近畿大学, 2019年5月24日

Hidden symmetry and the Debye equation for electromagnetic perturbations, 宝利剛, 第21回特異点研究会, カレッジプラザ講堂 (秋田), 2019年12月28日

機械工学科

谷川 博哉

査読付論文

Three-pronged convection in a cubic cavity under modulating gravity, K. Hirata, M. Nobuhara, M. Kodama, H. Tanigawa, T. Noguchi, International Journal of Heat and Mass Transfer Volume 135, pp. 1073-1081, 2019.6

有限振幅で振動する球に作用する付加質量力と付加減衰力の実験, 平田勝哉, 北本智也, 大西玄, 山岡友祐, 下原秀基, 谷川博哉, 混相流, Vol. 33, No. 3, pp. 283-294, 2019.9

国際会議

Experiment and Numerical Analysis of a Rotating Hollow Cylinder in Free Flight, Yusuke Naito, Romain Montini, Hirochika Tanigawa, Jun Ishimoto, Masami Nakano and Katsuya Hirata, SimHydro 2019, 2019.6

Structural Transition of Convection in a Cube at Low and Moderate Rayleigh Numbers, Soichiro Matsumoto, Masato Kodama, Hirochika Tanigawa, Takashi Noguchi, Katsuya Hirata, The 7th Asian Symposium on Computational Heat Transfer and Fluid Flow, B211, 2019.9

On diverse flows in narrow spacing between co-rotating disks in casing, Haruki Inatanil, Hirochika Tanigawa, Takashi Watanabe, Takashi Noguchil and Katsuya Hirata, The 7th Asian Symposium on Computational Heat Transfer and Fluid Flow, D113, 2019.9

COMPUTATIONAL AND EXPERIMENTAL STUDY ON FLUID FORCE AND FLOW OF BASIC AIRFOILS AT VERY-LOW REYNOLDS NUMBER, Ryoichi Takata, Erika Takahashi, Hirochika Tanigawa, Takanori Uchida, Kenichiro Sugitani, Takashi Noguchi, Katsuya Hirata, The 7th Asian Symposium on Computational Heat Transfer and Fluid Flow, D123, 2019.9

豊田 香

解説

舞鶴高専における機械設計教育, 若林勇太, 室巻孝郎, 村上信太郎, 仲川力, 町田秀和, 豊田香, 設計工学, Vol. 55, No. 3, pp.162-168, 2020

国際会議

Study on Cooling Process of a Vertical Finite-Length Aluminum Cylinder in the Saturated Film Boiling Region, Kaoru Toyoda, Aren Uegaki and Shintaro Murakami, 2020 International Conference on Natural Science, Engineering, and Technology, ISSN 2617-6297, Vol.2, No.1

学会発表

プレート式マイクロチャンネル熱交換器における圧縮性流れの圧力損失に関する研究, 村上信太郎, 泉嵩大, 豊田香, 日本設計工学会2019年度秋季研究発表講演会講演論文集, pp. 15-18, 2019年9月

山田 耕一郎**その他**

設計製図教育について（民間企業の製品を活用する課題解決型授業の紹介），山田耕一郎，豊田香，室巻孝郎，須田敦，木原健吾，新田春城，設計工学54巻11号，pp. 769-780，2019年11月

小林 洋平**国際会議**

Fundamental Study on Wettability of Pure Metal by Liquid Sodium, Jun-ichi Saito, Hideo Shibutani and Yohei Kobayashi, Proc. of 2020 TMS2020, pp. 563-571, 2020.1

Development of a new educational program based on local issues in the Maizuru Kosen, Yohei Kobayashi, Takahiro Ishii and Yasuo Utsumi, Proc. of ISATE2019

学会発表

デブリ取出しを目指したロボットに関する研究，小林洋平，第24回動力・エネルギー技術シンポジウム講演論文集，2019年5月

地域の課題を通して育成する社会実装型技術者育成プログラムの開発，小林 洋平，内海 康雄，第67回日本工学教育協会年次大会，2019年9月

その他

低融点合金の濡れ性と液体ナトリウムへの適応，内木場凌太，渋谷秀雄，小林洋平，斉藤淳一，久留米工業大学研究報告，No. 42，pp. 27-32

室巻 孝郎**解説**

舞鶴高専における機械設計教育，若林勇太，室巻孝郎，村上信太郎，仲川力，町田秀和，豊田香，設計工学，pp. 162-168，2020年3月

学会発表

脚型ロボットによる跳躍動作実験，室巻孝郎，浦久保孝光，須田敦，万象隆，日本設計工学会2019年度秋季大会研究発表講演会講演論文集，pp. 57-58，2019年9月

搭乗者を含む2輪スケートボードの力学モデル構築，菊本智寛，浦久保孝光，川田昌克，室巻孝郎，玉置久，計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会2019講演論文集，pp. 325-327，2019年11月

3次元照明システムの設計・製作，谷仁裕，室巻孝郎，南裕樹，日本設計工学会関西支部令和元年度研究発表講演会，pp. 7-8，2020年3月

作業用モノレールの分岐器に関する安全性について（リレー制御装置とPLC制御装置を用いた検討），星田貢輝，松本尚樹，中西晴紀，近藤将好，室巻孝郎，須田敦，日本設計工学会関西支部令和元年度研究発表講演会，pp. 49-54，2020年3月

その他

設計製図教育について（民間企業の製品を活用する課題解決型授業の紹介），山田耕一郎，豊田香，室巻孝郎，須田敦，木原健吾，新田晴城，設計工学，Vol. 54, No. 11, pp. 769-780, 2019年11月

作業用モノレールの分岐器に関する安全性について —PLC制御装置を用いた検討—，須田敦，星田貢輝，松本尚樹，中西晴紀，近藤将好，井口望，室巻孝郎，奈良高専紀要第55号，pp. 16-20, 2020年3月

村上 信太郎

解説

舞鶴高専における機械設計教育，若林勇太，室巻孝郎，村上信太郎，仲川力，町田秀和，豊田香，設計工学，pp. 162-168, 2020年3月

国際会議

Study on Cooling Process of a Vertical Finite-Length Aluminum Cylinder in the Saturated Film Boiling Region, Kaoru Toyoda, Aren Uegaki and Shintaro Murakami, 2020 International Conference on Natural Science, Engineering, and Technology, ISSN 2617-6297, Vol. 2, No. 1, pp. 42-51, 2020.1

学会発表

プレート式マイクロチャンネル熱交換器における圧縮性流れの圧力損失に関する研究，村上信太郎，泉嵩大，豊田香，日本設計工学会2019年度秋季研究発表講演会講演論文集，pp. 15-18, 2019年9月

電気情報工学科

中川 重康

学会発表

日射量予測のための全天球画像上の輝度値分布推定, 平井恒良, 中川重康, 山本謙太, 池田和司, 計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会2019予稿集, SS10-02, 2019年11月23日

全天球画像上の雲の分布推定, 平井恒良, 中川重康, 山本謙太, 池田和司, IEICE 34th SIP SYMPOSIUM, P-33, 2019年11月14日

片山 英昭

国際会議

Development of a New Detection System for Overhead Obstacles, Yutaka Tange, Tomohiro Konishi, Hideaki Katayama, Proc. of 2020 IEEE 2nd Global Conference on Life Sciences and Technologies, pp. 364-365, 2020. 3

学会発表

小型デバイスを用いた歩行者支援システムの性能評価, 片山英昭, 小柴雄輝, 杉山聡一朗, 丹下 裕, 第28回視覚障害リハビリテーション研究発表大会, 0-1-1, 2019年7月

バスの空席検出のための学習用データラベリング手法の検討, 杉本翠葉, 片山英昭, 丹下裕, JapanATフォーラム2019講演論文集, pp. 41-42, 2019年9月

船木 英岳

学会発表

特別支援学校教員のためのモノづくり力の向上を図る出前授業ーモノづくり力に関する自己評価と満足度についてー, 船木英岳, 丹下裕, 福井繁雄, 畑亮次, 井谷武史, 平井慎一, 金森克浩, 第44回教育システム情報学会全国大会, pp. 371-372, 2019年9月

特別支援学校教員のためのリンク機構入門教材の開発, 船木英岳, 丹下裕, 福井繁雄, 畑亮次, 井谷武史, 筒井一郎, 第44回教育システム情報学会全国大会, pp. 415-416, 2019年9月

出前授業で製作したスイッチ類とその実践例の紹介, 船木英岳, 丹下裕, 福井繁雄, 畑 亮次, 井谷武史, 平井慎一, 金森克浩, ATACカンファレンス2019京都, ポスター番号05, 2019年12月

特別支援学校教員を対象とした5年間の技術教育とその成果, 船木英岳, 丹下裕, 福井繁雄, 畑亮次, 井谷武史, 金森克浩, 日本産業技術教育学会近畿支部第36回研究発表会講演論文集, pp. 53-54, 2019年12月

内海 淳志

査読付論文

Evaluation of the Schottky photodiode with the surface plasmon filter, T. Eko, A. Utsumi, Optical Review Vol. 26, pp. 442-446, 2019. 7

国際会議

Verification of Current Model Using Transconductance, Nasa Yamada, Rina Usui, Kimihiro Nanamori, Katsuya Hirachi, Shigeyasu Nakagawa, Atsushi Utsumi, Koroku Nishizawa, Junichi Itoh, Abstract of 4th STI-Gigaku 2019, Active B 13-3, 2019.11

学会発表

ショットキーバリアダイオード作製実験の改良, 萩原隆仁, 内海淳志, 第80回応用物理学会秋季学術講演予稿集, 21a-PA1-6, 2019年9月

液体金属を用いたショットキーバリアダイオードの開発, 萩原隆仁, 足立幹夫, 内海淳志, 第67回応用物理学会春季学術講演予稿集, 14a-PA1-30, 2020年3月

黒谷和紙を用いたIoT表具の開発, 尾藤大喜, 内田竣也, 内海淳志, 令和元年度電気学会関西支部高専卒業研究発表会講演論文集, pp. 17-18, 2020年3月

芦澤 恵太**査読付論文**

エッジと平行方向の直流成分に対するハール変換を用いたモスキートノイズの軽減方法, 森田雅貴, 芦澤恵太, 山谷克, 画像電子学会誌 49(1), pp. 3-11, 2020年1月

学会発表

力織機の運転モニタシステムの研究, 新治拓馬, 芦澤恵太, 金山光一, 令和元年電気関係学会関西連合大会講演論文集(CD), no. P-3, pp. 340-341, 2019年11月

丹下 裕**国際会議**

Development of a New Detection System for Overhead Obstacles, Y. Tange, T. Konishi, H. Katayama, 2020 IEEE 2nd Global Conference on Life Sciences and Technologies, pp. 364-365, 2020.3

Development of Vertical Obstacle Detection System for Visually Impaired Individuals, Y. Tange, T. Konishi, H. Katayama, Proceeding of the 7th ACIS International Conference on Applied Computing & Information Technology, pp. 93-98, 2019.5

Heating Characteristics of a Newly Developed RF Cavity Resonator for Hyperthermia that targets Deep-Seated Tumor, Y. Tange, Y. Kanai, 2019 International Applied Computational Electromagnetics Society Symposium, 2019.4

学会発表

特別支援学校教員を対象とした5年間の技術教育とその成果, 船木英岳, 丹下裕, 福井繁雄, 畑亮次, 井谷武史, 金森克浩, 日本産業技術教育学会近畿支部第36回研究発表会講演論文集, pp. 53-54, 2019年12月

出前授業で製作したスイッチ類とその実践例の紹介, 船木英岳, 丹下裕, 福井繁雄, 畑亮次, 井谷武史, 平井慎一, 金森克浩, ATACカンファレンス2019京都, ポスター番号05, 2019年12月

盲ろう者のための入出力一体型の指点字デバイスの開発—入出力部に低電圧で駆動する圧電素子を用いた場合—, 丹下裕, 尾内亮太, 山本のどか, 日本福祉工学会第23回学術講演会講演論文集, pp. 81-82, 2019年11月

特別支援学校教員のためのモノづくり力の向上を図る出前授業ーモノづくり力に関する自己評価と満足度についてー, 船木英岳, 丹下裕, 福井繁雄, 畑亮次, 井谷武史, 平井慎一, 金森克浩, 第44回教育システム情報学会全国大会, pp. 371-372, 2019年9月

特別支援学校教員のためのリンク機構入門教材の開発, 船木英岳, 丹下裕, 福井繁雄, 畑亮次, 井谷武史, 筒井一郎, 第44回教育システム情報学会全国大会, pp. 415-416, 2019年9月

指一本で自由自在に操作できる着脱可能な電動車いすの操作部の開発, 坂本舜亮, 七森公碩, 福井繁雄, 丹下裕, 片山英昭, JapanATフォーラム2019講演論文集, pp. 35-36, 2019年9月

小型デバイスを用いた歩行者支援システムの性能評価, 片山英昭, 小柴雄輝, 杉山聡一郎, 丹下裕, 第28回視覚障害リハビリテーション研究発表大会抄録集, pp. 36, 2019年7月

地図情報によって即時に変化する小型触地図システムのための触地図情報の生成, 丹下裕, 荒木雄斗, 吉田海斗, 片山英昭, 第28回視覚障害リハビリテーション研究発表大会抄録集, pp. 47, 2019年7月

井上 泰仁

学会発表

中学校技術・家庭におけるmicro:bitを活用したプログラミング教材開発, 情報処理学会 情報教育シンポジウム, 井上泰仁, 奥田真, 中川重康, 2019年8月17~19日

プログラミングコンテスト競技部門「巡りマス」のシステム構築, 井上泰仁, 太田健吾, 小保方幸次, 松野良信, 黒木祥光, 小嶋徹也, 出江幸重, 奥田遼介, 佐藤秀一, 寺元貴幸, 高専フォーラム教育研究活動発表セッション, 2019年8月21~22日

陣取りゲームを題材としたプログラミング教材の開発と教育効果, 井上泰仁, 黒木祥光, 太田健吾, 小保方幸次, 松野良信, 小嶋徹也, 出江幸重, 佐藤秀一, 奥田遼介, 寺元貴幸, 第18回情報処理学会関西支部大会, 2019年9月23日

その他

小・中学校におけるプログラミング講座の実施報告, 井上泰仁, 香山美知代, 射場誠, 川戸慎也, 品田直毅, 舞鶴工業高等専門学校紀要, No. 55, pp. 39-41, 2020年3月

廣芝 伸哉

査読付論文

On-terrace graphoepitaxy for remarkable one-dimensional growth of 2,7-dioctyl[1]benzothieno[3,2-b]benzothiophene (C8-BTBT) nanowires, Nobuya Hiroshiba, Ryoma Hayakawa, Yutaka Wakayama, Organic Electronics, vol. 74 pp. 33 - 36, 2019年11月

Non-destructive broadband terahertz spectroscopy for investigating degradation of poly(2-ethylcyanoacrylic) adhesive, Seiichiro Ariyoshi, Budi Setyawana, Satoru Hashimoto, Shun Negishia, Hikaru Mikamia and Nobuya Hiroshiba, RSC Adv. vol. 10 pp. 8800 - 8804, 2020年2月

国際会議

One-dimensional growth of 2,7-dioctyl[1]benzothieno[3,2-b]benzothiophene (C8-BTBT) nanowires realized by on-terrace graphoepitaxy, 32nd International Microprocesses and Nanotechnology Conference(MNC2019, Hiroshima), 29D-2-3, 2019. 10. 29

七森 公碩**国際会議**

Verification of Current Model Using Transconductance, Nasa Yamada, Rina Usui, Kimihiro Nanamori, Katsuya Hirachi, Shigeyasu Nakagawa, Atsushi Utsumi, Koroku Nishizawa, Junichi Itoh, 4th STI-Gigaku 2019, Active B 13-3, 2019.11

学会発表

相互コンダクタンスを考慮した電流不平衡モデルの検証, 平井智也, 山田成彩, 七森公碩, 平成31年電気学会全国大会, pp. 33-34, 2019年3月

ヒステリシス制御による高速MPPT制御の提案, 山本謙太, 中川重康, 内海淳志, 七森公碩, 平地克也, 伊東淳一, 平成31年電気学会全国大会, p. 554, 2019年3月

GaN HEMTの誤点弧ロック現象に関する研究, 碓井璃菜, 七森公碩, パワーエレクトロニクス学会第231回 定例研究会, P-28, 2019年12月

近接配線によるゲート電圧保持現象の検証, 碓井璃菜, 松本瀬名, 七森公碩, 令和2年電気学会全国大会, p. 25, 2020年3月

金山 光一**学会発表**

力織機の運転モニタシステムの研究, 新治拓馬, 芦澤恵太, 金山光一, 令和元年電気関係学会関西連合大会講演論文集(CD), no. P-3, pp. 340-341, 2019年11月

電子制御工学科

野間 正泰

解説

軸受技術分野の最新動向, 平山朋子, 野間正泰, 伊勢智彦, トライボロジスト, pp. 9~10, 2020年1月

川田 昌克

著書

MATLAB/Simulinkによる制御工学入門, 川田昌克, 全272頁, 森北出版, 2020年2月

学会発表

菊本智寛, 浦久保孝光, 川田昌克, 室巻孝郎, 玉置 久: 搭乗者を含む2輪スケートボードの力学モデル構築, 計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2019 (SSI2019), 2019年11月

町田 秀和

国際会議

An X-Y table control system using the dual loop PLL motor controller, Hidekazu Machida, Michinobu Kambara, Takihara Hiroataka, Proceedings of the 7th IIAE International Conference on Industrial Application Engineering 2019, GS7-1, pp. 141-145, 2019. 3

学会発表

2重PLLによる精密XYテーブル制御における完全追従のための対策, 長谷部雄飛, 藤田徳享, 山木方義, 町田秀和, 神原道信, 橋本浩樹, 第62回自動制御連合講演会(札幌), 1I1-04, 2019年11月

清原 修二

学会発表

危険性の低減を目指した固体飛跡検出器のエッチング特性の改善, 伊藤大洋, 石川一平, 清原修二, 第3ブロック専攻科研究フォーラム, p. P-52, 2020年2月

放射線教育のためのプラスチック検出器のエッチング速度改善, 石川一平, 清原修二, 第67回応用物理学会春季学術講演会講演予稿集, p. 01-122, 2020年3月

その他

超音波振動液滴室温ナノインプリントリソグラフィによるDLCデバイスの開発, 清原修二, 石川一平, 伊藤大洋, 針谷達, 滝川浩史, 倉島優一, SEAJ Journal, No. 168, pp. 43-47, 2020年2月

石川 一平

学会発表

危険性の低減を目指した固体飛跡検出器のエッチング特性の改善, 伊藤大洋, 石川一平, 清原修二, 第3ブロック専攻科研究フォーラム講演概要集, p. P-52, 2020年2月

放射線教育のためのプラスチック検出器のエッチング速度改善, 石川一平, 清原修二, 第67回応用物理学会春季学術講演会講演予稿集, p. 01-122, 2020年3月

その他

超音波振動液滴室温ナノインプリントリソグラフィによるDLCデバイスの開発, 清原修二, 石川一平, 伊藤大洋, 針谷達, 滝川浩史, 倉島優一, SEAJ Journal, No. 168, pp. 43-47, 2020年2月

若林 勇太

解説

自動車組立工程のための協働ロボットPaDY, 衣川潤, 若林勇太, 金澤亮, 小菅一弘, 日本ロボット学会誌, pp. 928-933, 2019年12月

舞鶴高専における機械設計教育, 若林勇太, 室巻孝郎, 村上信太郎, 仲川力, 町田秀和, 豊田香, 日本設計工学会誌, pp. 162-168, 2020年3月

査読付論文

段差および階段に設置可能な車いす用昇降支援システム, 情野瑛, 衣川潤, 若林勇太, 伊丹翔一, ブーラナアモンタナパ, 小菅一弘, 日本機械学会論文集, Vol. 85, No. 874, p. 19-00063, 2019年6月

学会発表

CFPick: Confirmation Free Picking System - 第1報: コンセプトと導入効果の試算 -, 吉田泰洋, 川埜美穂, 衣川潤, 若林勇太, 小菅一弘, 第20回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会, 2019年12月

キッキング支援システムKitPaDYに関する研究-第10報: 空箱回収のための順序入力作動機構の試作-, 衣川潤, 佐藤一真, 吉田泰洋, 若林勇太, 小菅一弘, ロボティクス・メカトロニクス講演会 2019, 2019年6月

ブレーキ操作型パワーアシストカートのための操作者の移動速度を用いた操作性評価, 情野瑛, 若林勇太, 衣川潤, 小菅一弘, ロボティクス・メカトロニクス講演会2019, 2019年6月

藤司 純一

査読付論文

Disturbance rejection for interconnected positive systems and its application to formation control of quadrotors, Jun-ichi Toji, Hiroyuki Ichihara, IET Control Theory and Applications, Vol. 13, No. 7, pp. 988-995, 2019年5月

学会発表

仮想剛体を用いたクアッドロータの線形化におけるモデル化誤差補償器の設計と検証, 藤司純一, 市原裕之, 第7回計測自動制御学会制御部門マルチシンポジウム, 3B2-2, 2020年3月

建設システム工学科四蔵 茂雄**その他**

二酸化炭素排出と経済のデカップリングに関する研究，四蔵茂雄，舞鶴高専紀要，pp. 5-14，2020年3月

玉田 和也**著書**

橋梁メンテナンスのための構造工学入門，玉田和也（第1章）他17名，pp. 3-18，建設図書，2019年5月

図説わかる土木構造力学，玉田和也（編著），三好嵩夫，高井俊和，学芸出版社，2020年1月

解説

京都府北部の地方公共団体における橋梁長寿命化への取組み（特集 地方公共団体における橋梁・PC構造物の維持管理に向けた取組み），玉田和也，プレストレストコンクリート，No. 61-6，pp. 22-26，2019年11月

学会発表

床版取替工事を実施する橋梁（淀川大橋）の振動計測，玉田和也，伊藤安男，土木学会第74回年次学術講演会，I-052，2019年9月

学び直しのための構造力学演習問題の開発，玉田和也，土木学会第74回年次学術講演会，CS1-05，2019年9月

橋梁点検技術者及び准橋梁点検技術者資格認定制度及び今後の展開について，嶋田知子，玉田和也，土木学会第74回年次学術講演会，CS1-06，2019年9月

市民協働型インフラ管理体制の構築に向けたインフラ観察システムの開発（その1），嶋田知子，玉田和也，土木学会第74回年次学術講演会，VI-836，2019年9月

被災した橋梁の復旧に関する構造提案と建造，玉田和也，石原純，令和元年度近畿地方整備局研究発表会，一般部門（安全・安心）II，2019年6月

その他

地域の安全・安心を支えるインフラメンテナンス技術者の育成，玉田和也，毛利聡，嶋田知子，加登朋恵，舞鶴工業高等専門学校紀要，No. 54，pp. 63-68，2019年3月

尾上 亮介**学会発表**

舞鶴市市街地における移住定住促進住宅に関する考察 -空き家改修計画取りよう実態の関連性に関して-，柳澤大樹，尾上亮介，田中甫，井上佑樹，2019年度日本建築学会大会（北陸），学術講演会梗概集，pp1169-1170

その他

旧舞鶴市民病院の基本計画（舞鶴市受託研究），尾上研究室，2020年3月

幕僚長邸の基本計画，尾上研究室，2020年3月

舞鶴市UIターン者のためのお試し住宅の改修設計・監修（舞鶴市受託研究），尾上研究室，2020年3月

宮津市市街地西堀川通りの改修計画の提案（宮津市協力），尾上研究室，2020年3月

加登 文学

国際会議

Interaction behavior of horizontal and vertical motion during strong earthquake, T. Maeda, Y. Kato, and H. Hazarika, Proceedings of the Technical Forum on Mitigation of Geo-disasters in Asia, pp. 27-32, Kumamoto, Japan, 2019.11

学会発表

由良川河口地形の動態と UAV 写真測量の適用，小村 未緒，三輪 浩，和田 孝志，加登 文学，神田 佳一，第71回2019年度土木学会中国支部研究発表会概要集，II-21，2019年6月

常時微動観測を用いた大規模盛土造成地の地盤構造推定に関する研究，岸本拓馬，加登文学，2019年度土木学会関西支部年次学術講演会概要集，III-2，2019年5月

徳永 泰伸

国際会議

A study on discrimination of acoustic conditions in an audience area of an auditorium, Y. Tokunaga, R. Inoue and T. Terashima, 23rd International Congress on Acoustics, 964, 2019.9

Experiment on audio-visual mutual effect on subjective impression in architectural space by HMD VR display, T. Terashima, C. Hiraoka, A. Ishikawa, Y. Tokunaga and X. Gong, 23rd International Congress on Acoustics, 272, 2019.9

Audio-visual mutual effect of spatial impression in architectural space, C. Hiraoka, T. Terashima, A. Ishikawa, Y. Tokunaga and X. Gong, 23rd International Congress on Acoustics, 269, 2019.9

学会発表

壁面投影における対象面の面粗さと視認性の関係，三浦瑞季，徳永泰伸，日本建築学会2019年度大会学術講演梗概集，D-1，pp.573-574，2019年9月

インパルス応答の弁別に影響を与える音響指標の検討，井之上峻，徳永泰伸，寺島貴根，日本音響学会2019年秋季研究発表会 講演論文集，pp.489-490，2019年9月

渡部 昌弘

学会発表

透光性を保持した既存木造建築の開口部補強に関する研究その1 木格子・ポリカーボネート板嵌め込み型耐力壁の静加力試験，南谷幹人，梶濱次郎，藤田香織，小泉雅生，清家剛，佐藤利昭，渡部昌弘，2019年度（第90回）日本建築学会関東支部研究報告集I・II，木質構造（3），2020年3月

透光性を保持した既存木造建築の開口部補強に関する研究その2 木格子・ポリカーボネート板ビス打ち型耐力壁の静加力試験, 梶濱次郎, 南谷幹人, 藤田香織, 小泉雅生, 清家剛, 佐藤利昭, 渡部昌弘, 2019年度(第90回)日本建築学会関東支部研究報告集I・II, 木質構造(3), 2020年3月

毛利 聡

学会発表

あと施工アンカー周囲の中酸化進行に関する実験的研究, 毛利聡, 日本建築学会大会学術講演梗概集, pp. 765-766, 2019年9月

今村友里子

学会発表

沖種郎の設計思想からみた宮津市庁舎の文化的価値(2)非単位空間の実践例として, 今村友里子, 藤川祐一郎, 日本建築学会学術講演梗概集. F-2, 建築歴史・意匠2019, 第78巻, pp. 461-462, 2019年9月

沖種郎の設計思想からみた宮津市庁舎の文化的価値(1)空中都市の実現例として, 藤川祐一郎, 今村友里子, 日本建築学会学術講演梗概集. F-2, 建築歴史・意匠2019, pp. 459-460, 2019年9月

その他

海軍第三火薬廠汽缶場跡のコンクリートの調査, 毛利聡, 牧野雅司, 今村友里子, 舞鶴工業高等専門学校紀要(54), pp. 69-77, 2019年3月

上野 卓也

査読付論文

有限体積法に基づく津波数値モデルの構築と透過性防波柵周辺の浸水流解析への適用, 上野卓也, 金沢大学, 2019年9月

海底地滑りによる津波の発生と地滑り諸元の関係に関する理論解析, 由比政年, 山本朗宜, 木場正信, 上野卓也, 土木学会論文集B2(海岸工学), No. 75(2), pp. I_325-I_330, 2019年10月

その他

舞鶴市志楽川の浸水対策に関する取り組み, 上野卓也, 第44回学術情報センター講演会, 2019年11月28日

教育研究支援センター

石井 貴弘

国際会議

Development of a new educational program based on local issues in the Maizuru Kosen, Yohei Kobayashi, Takahiro Ishii and Yasuo Utsumi, Proc. of ISATE2019

学会発表

マシニングセンタ用NCプログラムの誤り検出ソフトウェアの開発, 石井貴弘, 実験・実習技術研究会 2020鹿児島大学～プログラム・報告集～, pp.105, 2020年3月

榎田 勲

その他

特別支援学校向け単眼顕微鏡用iPadホルダーの製作, 榎田勲, 令和元年度全国高専フォーラム ポスターセッション, No. 109, 2019年8月

学位取得状況

学位	校長	人文	自然	機械	電気	制御	建設	計
博士	1	3	6	9	11	9	10	49
修士		7	2			1		10
学士		1	1					2
合計	1	11	9	9	11	10	10	61

研究成果発表状況

区 分	著 書	解 説	査読論文	国際会議	学会発表	特 許	その他	計
校 長	1				3		1	5
人文科学部門	2	1	4		4		3	14
自然科学部門	1		2		3		2	8
機 械 工 学 科		3	3	8	9		3	26
電気情報工学科			4	7	27		1	39
電子制御工学科	1	3	2	1	10		3	20
建設システム工学科	2	1	2	4	15		8	32
教育研究支援センター				1	1			2
合 計	7	8	17	21	72		21	146

外部研究費受入

科学研究費助成事業(代表者)

研究種目等	研究課題名	研究代表者	配分額(千円)
基盤研究(C)	特別支援学校教員の技術力向上のために高専の実践教育を取り入れた教育システムの構築	船木 英岳 (電気情報工学科)	585
基盤研究(C)	「技術者としての地域貢献」を舞鶴市と連携して実施する教育モデルの構築	片山 英昭 (電気情報工学科)	390
基盤研究(C)	雑誌メディアによる戦後日本の秘教運動の宗教史的研究—『日本神学』の変遷を追って	吉永 進一 (人文科学部門)	390
若手研究(B)	放射線教育プラスチック検出器のエッチング特性改善による危険性の低減	石川 一平 (電子制御工学科)	910
若手研究(B)	シリコン太陽電池教材を用いた教育プログラムの開発	内海 淳志 (電気情報工学科)	780
若手研究(B)	超音波液中プラズマ制御によるパーム酸油の低温流動性改善とNOx低減機構の解明	野毛 宏文 (機械工学科)	390
基盤研究(C)	実践的に制御理論を学ぶための教材とカリキュラム開発	川田 昌克 (電子制御工学科)	1,300
基盤研究(C)	触地図ディスプレイと連動した視覚障害者を歩行支援する触地図情報配信システムの構築	丹下 裕 (電気情報工学科)	780
若手研究	耐震改修の耐久性向上に関する研究	毛利 聡 (建設システム工学科)	390
若手研究	ホテル照明による光環境制御システムの構築	室巻 孝郎 (機械工学科)	2,210
基盤研究(C)	官吏・典獄と被収容者から読み解く、明治日本の監獄	児玉 圭司 (人文科学部門)	780
若手研究	外交文書の「見た目」から読み解く近世日朝関係の特質	牧野 雅司 (人文科学部門)	1,430
若手研究	誤点弧ロック現象の発見と解明	七森 公碩 (電気情報工学科)	3,120
奨励研究	マシニングセンタ用NCプログラムの誤り検出ソフトウェアの開発	石井 貴弘 (教育支援センター)	370
研究活動スタート支援	源氏物語の受容を中心とした食に対する意識の変遷に関する研究	荻田 みどり (人文科学部門)	1,430
計 15 件			15,255

※間接経費を含む。学外分担者への送金分は含まない。千円未満四捨五入。

科学研究費助成事業(分担者)

研究種目等	研究課題名	研究分担者	配分額(千円)
基盤研究(C)	日米の新資料による日本仏教グローバル化過程の研究-鈴木大拙を事例として	吉永 進一 (人文科学部門)	130
基盤研究(B)	混合蒸気同軸導入フィルタードアーク蒸着装置の試作と高機能高密度カーボン膜の開発	清原 修二 (電気情報工学科)	390
基盤研究(B)	日本新宗教史像の再構築:アーカイブと研究者ネットワーク整備による基盤形成	吉永 進一 (人文科学部門)	475

基盤研究 (B)	近代日本の地域自治 - 村と大字の法史学的研究 -	児玉 圭司 (人文科学部門)	221
基盤研究 (B)	意匠性に配慮した既存木造建築の開口部補強構法の開発	渡部 昌弘 (建設システム工学科)	195
基盤研究 (C)	ヒューマンエラーゼロを実現する協働型工場内物流システムへの挑戦	若林 勇太 (電子制御工学科)	520
基盤研究 (C)	腐食した組立部材の圧縮耐荷力特性に関する研究	玉田 和也 (建設システム工学科)	130
計 7 件			2,061

※間接経費を含む。千円未満四捨五入。

受託事業

研究 題 目	相手先	受入額 (千円)
ジュニアドクター育成塾	国立研究開発法人科学技術振興機構	9,900
計 1 件		9,900

※間接経費を含む。千円未満四捨五入。

受託研究

研究 題 目	研究担当者	相手先	受入額 (千円)
舞鶴市イルミネーション設置事業（東舞鶴駅周辺）に関する研究	中川 重康 (電気情報工学科)	舞鶴市	1,120
橋梁長寿命化修繕計画実施における課題の検討及び調査研究	玉田 和也 (建設システム工学科)	舞鶴市	495
巻取機械制御器におけるデジタルフィルタの活用に関する研究	町田 秀和 (電子制御工学科)	株式会社 エフ・エ ー電子	300
巻取機械制御器における微分要素の活用に関する研究	町田 秀和 (電子制御工学科)	株式会社 エフ・エ ー電子	300
空き家を活用したお試し住宅の設置に係る建物改修業務に関する研究	尾上 亮介 (建設システム工学科)	舞鶴市	200
旧市民病院跡地（西棟）整備にかかる設計提案	尾上 亮介 (建設システム工学科)	舞鶴市	300
あやなす-黒谷和紙×IoTによる綾なすインテリア-	内海 淳志 (電気情報工学科)	株式会社 サイバー 創研	2,793
舞鶴市東地区小規模河川の水位上昇に関する研究	加登文学、上野卓也 (建設システム工学科)	KDDI 株 式会社	10,658
地区計画策定に向けた GPS 測量及び UAV 測量の活用に関する研究	加登 文学 (建設システム工学科)	舞鶴市	440
計 9 件			16,606

※間接経費を含む。千円未満四捨五入。

共同研究

研究題目	研究担当者	相手先	受入額 (千円)
電気自動車用電気システムに関する研究	七森 公碩 (電気情報工学科)	鈴木合金 株式会社	550
PLLによるフルモーションコントローラ ASICの開発に関する研究	町田 秀和 (電子制御工学科)	ローム 株式会社	2,160
GaNの並列駆動技術に関する研究	七森 公碩 (電気情報工学科)	シャープ 株式会社	480
山林におけるICT・IoT活用の研究	町田 秀和 (電子制御工学科)	株式会社 舞鶴計器	119
超音波液滴室温ナノインプリントによるDLCマイクロ・ナノデバイスの開発	清原 修二 (電子制御工学科)	豊橋技術 科学大学	183
トリリオンセンサ時代に即したフレキシブルIoTデバイスの構築	廣芝 伸哉 (電気情報工学科)	豊橋技術 科学大学	151
並列接続時における電流アンバランスと電流振動に関する研究	七森 公碩 (電気情報工学科)	長岡技術 科学大学	600
電力変換回路の高効率化に関する研究	平地 克也 (電気情報工学科)	株式会社 オートネット ワーク技 術研究所	330
車載用電力変換回路の小型・高効率化に向けた研究	七森 公碩 (電気情報工学科)	株式会社 ナチュラ ニクス	550
パルス信号によるモーター制御を用いた自動高さ調節機構の研究	町田 秀和 (電子制御工学科)	ながすな 繭 株式会社	22
計 10 件			5,145

※間接経費を含む。千円未満四捨五入。

寄附金

件名	研究担当者	受入額 (千円)
教育研究等奨励助成金 (舞鶴工業高等専門学校後援会)	教職員	3,000
オリエンタル白石寄附金 (オリエンタル白石株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	300
iMec 寄附金 (塩見測量設計株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	80
安部日鋼工業寄附金 (株式会社安部日鋼工業)	玉田 和也 (建設システム工学科)	300
iMec 寄附金 (日本ミクニヤ株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (一般社団法人 兵庫県測量設計業協会)	玉田 和也 (建設システム工学科)	190

iMec 寄附金 (扇コンサルタンツ株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	120
iMec 寄附金 (株式会社アーバンクリエイト)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (西山グリーン株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	80
iMec 寄附金 (有限会社ダイキ開発)	玉田 和也 (建設システム工学科)	60
iMec 寄附金 (株式会社ユーズ)	玉田 和也 (建設システム工学科)	80
iMec 寄附金 (有限会社神輝興産)	玉田 和也 (建設システム工学科)	540
近畿レントゲン工業社寄附金 (株式会社近畿レントゲン工業社)	平地克也 (電気情報工学科)	125
iMec 寄附金 (リノブリッジ株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	60
iMec 寄附金 (京福コンサルタント株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	60
堀場製作所寄附金 (株式会社堀場製作所)	清原修二 (電子制御工学科)	300
矢崎総業助成金 (矢崎総業株式会社)	平地克也 (電気情報工学科)	150
三社電機寄附金 (株式会社三社電機製作所)	平地克也 (電気情報工学科)	50
日進製作所寄附金 (株式会社日進製作所)	校長	300
iMec 寄附金 (日本空糸株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	220
iMec 寄附金 (河内山 聡)	玉田 和也 (建設システム工学科)	100
iMec 寄附金 (菅根測量株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	80
iMec 寄附金 (株式会社グラン・ソラリス)	玉田 和也 (建設システム工学科)	80
iMec 寄附金 (有限会社丸重屋)	玉田 和也 (建設システム工学科)	80
iMec 寄附金 (日本ラインサービス株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (株式会社 T-ROBO)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (澤田 悠太)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (有限会社 リーグスセイワ)	玉田 和也 (建設システム工学科)	100
iMec 寄附金 (森下 大輔)	玉田 和也 (建設システム工学科)	100
iMec 寄附金 (大日コンサルタント 株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	80

iMec 寄附金 (Lpia Sky 株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (森 哲也)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (株式会社 三東工業社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	60
iMec 寄附金 (田中シビルテック 株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	60
iMec 寄附金 (株式会社 大地)	玉田 和也 (建設システム工学科)	70
iMec 寄附金 (有限会社 今岡工業)	玉田 和也 (建設システム工学科)	70
iMec 寄附金 (近畿ニチレキ工事 株式会社 京都営業所)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (國上 一也)	玉田 和也 (建設システム工学科)	30
iMec 寄附金 (たち建設 株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	60
iMec 寄附金 (株式会社 昭建)	玉田 和也 (建設システム工学科)	60
iMec 寄附金 (株式会社 ユニオン)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
岡本寛昭寄附金 (岡本 寛昭)	校長	480
iMec 寄附金 (有限会社ふくだぐみ)	玉田 和也 (建設システム工学科)	60
iMec 寄附金 (深井 正由貴)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
計 44 件		7,985

※間接経費を含む。千円未満四捨五入。

その他助成金

件名	研究担当者	受入額 (千円)
上田記念財団助成金	玉田 和也 (建設システム工学科)	2,800
大林財団助成金	毛利 聡 (人文科学部門)	1,500
近畿建設協会助成金	玉田 和也 (建設システム工学科)	1,000
高浜町学生合宿誘致事業等助成金	玉田 和也 (建設システム工学科)	110
下中科学研究助成金	上野 卓也 (建設システム工学科)	300
計 5 件		5,710

※間接経費を含む。千円未満四捨五入。

補助金（代表校）

事業名(プロジェクト名)	相手先	受入額 (千円)
持続的な産学共同人材育成システム構築事業 (KOSEN 型産学共同インフラメンテナンス人材育成シ ステムの構築)	文部科学省	14,917
計 1 件		14,917

補助金（分担校）

事業名(プロジェクト名)	相手先	受入額 (千円)
地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+） (北京都を中心とする国公私・高専連携による京都創 生人材育成事業)	文部科学省	3,414
原子力人材育成等推進事業	文部科学省	60
計 1 件		3,474

学協会委員及び学会・研究会等の開催協力

校長

内海 康雄	ISO高温環境下での熱拡散率測定方法（周期加熱法）の国際標準化委員会委員
	ISO/TC163/SC1 国内対策委員会委員（TC163/SC1/WG10委員会幹事）
	経産省，グリーン建材・設備製品に関する国際標準化・普及基盤構築事業 国際提案委員会委員
	（一社）日本建築学会，換気・通風小委員会，気密性能WG委員 （公社）空気調和・衛生工学会，省エネシミュレーションツール評価法作成委員会，換気設備委員会委員

人文科学部門

吉永 進一	日本宗教学会理事
	日本近代仏教史研究会運営委員
	Japanese Religions（NCC宗教研究所）編集長

自然科学部門

上杉 智子	特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会，物理チャレンジ実行委員会 理論問題部会，委員，2019年4月～2020年3月
	特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会，国際物理オリンピック派遣委員会 理論研修部会，委員，2019年4月～2020年3月

機械工学科

篠原 正浩	先端材料技術協会（SAMPE Japan）コンポジット委員会，事務局，2019年度
	日本材料学会複合材料部門委員会，委員，2019年度
	関西工学会高専部会，幹事，2019年度
	第11回自動車用途コンポジットシンポジウム実行委員，2019年11月15日
小林 洋平	日本機械学会2019年度年次大会，J053再生可能エネルギー（2），座長，2019年9月9日
室巻 孝郎	日本設計工学会関西支部，商議員，2019年4月1日～2020年3月31日
村上信太郎	日本機械学会関西支部，第95期商議員，2019年4月1日～2020年3月31日

電気情報工学科

丹下 裕	日本福祉工学会第23回学術講演会大会実行委員，2019年11月
	日本福祉工学会第23回学術講演会大会，Session 3 生体情報分析1，座長，2019年11月23日
井上 泰仁	情報処理学会 高専教育委員会，委員，2019年4月～2020年3月
平地 克也	電子情報通信学会ソサイエティ論文誌編集委員会査読委員，2014年6月～2020年3月
	電気学会，論文委員会（D 1グループ）委員，2009年12月～2020年3月
	パワーエレクトロニクス学会，査読委員，2012年6月～2020年3月
	電気学会，最近の高周波スイッチング電力変換回路と応用電源技術調査専門委員会委員，2020年1月～2020年3月

電子制御工学科

野間 正泰	トライボロジー会議2019 春 東京, シンポジウムセッション「超を目指す軸受技術の最前線」, オーガナイザー, 2019年5月21日
	日本トライボロジー学会・“超”を目指す軸受技術研究会, 幹事, 2019年4月1日～2020年3月31日
	関西潤滑懇談会, 理事, 2019年4月1日～2020年3月31日

建設システム工学科

尾上 亮介	京都府景観アドバイザー, 2018年4月1日～2023年3月31日
-------	-----------------------------------

教職員の活動状況

受賞

人文科学部門	講師	山根 秀介	第7回宗教哲学会奨励賞, 宗教哲学会, 2019年3月
機械工学科	准教授	小林 洋平	(独) 国立高等専門学校機構理事長賞, 第4回廃炉創造ロボコン, 2019年12月15日
電気情報工学科	特任教授	平地 克也	パワーエレクトロニクス学会優秀論文賞, 小森耕太, 平地克也, パワーエレクトロニクス学会, 2019年12月21日
電子制御工学科	准教授	清原 修二	プレゼン大会敢闘賞, THE 高専@SEMICON Japan 2019, 清原修二, 石川一平, 伊藤大洋, 針谷 達, 滝川浩史, 倉島優一, 2019年12月12日
建設システム工学科	助教	上野 卓也	海岸工学論文賞, 由比政年, 山本朗宣, 木場正信, 上野卓也, 2019年10月

地域・社会活動

地域・社会業績	1 4 1
公開講座	1 4 1
出前授業	1 4 6
産学連携事業	1 4 9
学外講演, 講習, 展示	1 5 0
地域共同テクノセンター技術相談	1 5 4
地域委員	1 5 7

地域・社会業績

公開講座

開講日	開講時間	講座名	受講対象者	講師名	募集人数	受講者数
4月28日	9:00～15:00	電子工作「電子ホテル」の製作 (第7回クロスロードミーティング出展)	一般市民、 特に小中学生	町田 秀和	随時	30名
6月16日	8:00～12:00	防災授業 避難所設営訓練 (朝来小学校体育館)	一般市民 (朝来自主防災 会総合訓練参 加者)	加登 文学 西山 等	200名	100名
6月29日	18:00～21:00	舞鶴高専の工作教室 (八島商店街「産直マート」店舗内)	小中学生 一般市民	宝利 剛 加登 文学	随時	66名
7月6日	18:00～21:00	光であそぼう～セロテープのステンドグラス～ (八島商店街「産直マート」店舗内)	小中学生 一般市民	内海 淳志	随時	103名
7月13日	18:00～21:00	光であそぼう～光の万華鏡～ (八島商店街「産直マート」店舗内)	小中学生 一般市民	上杉 智子	随時	48名
7月20日	18:00～21:00	光であそぼう～万華鏡を作ろう～ (八島商店街「産直マート」店舗内)	小中学生 一般市民	石川 一平	随時	94名
7月21日	9:30～11:30	夏休み太陽電池教室～太陽電池で遊ぼう～	小学4～6年生	内海 淳志	10名	12名
7月21日	13:00～15:00	夏休み太陽電池教室～太陽電池を学ぼう～	中学生	内海 淳志	10名	4名
7月27日	10:00～12:00	水中 UFO キャッチャーをつくろう	小学生	梶田 勲 福井 繁雄 畑 亮次 櫻井 一樹 高本 優也	30名	25名
7月27日	9:00～12:00	ドローンを飛ばそう	中学生	小林 洋平	6名	5名
7月28日	10:30～12:00	テンセグリティ ～宙に浮かぶ構造体～を作ろう!	小中学生	玉田 和也 坂谷 真唯	20名	8名
7月28日	13:00～15:00	住宅建築模型制作	小学4年生～ 中学3年生	尾上 亮介 高本 優也	10名	10名
7月31日	9:30～11:30	リニアモーターをつくろう (舞鶴市大浦会館)	小学生	櫻井 一樹 福井 繁雄 畑 亮次 梶田 勲 高本 優也	15名	22名
8月3日	9:00～12:00	ドローンを飛ばそう	中学生	小林 洋平	6名	4名

開講日	開講時間	講座名	受講対象者	講師名	募集人数	受講者数
8月3日	10:00～14:30	電子工作:魔法の鉛筆	小学5年生～ 中学3年生	石川 一平 石井 貴弘 北代 浩次 高本 優也 櫻井 一樹 西村 良平 能勢 嘉朗 畑 亮次 福井 繁雄 梶田 勲	60名	45名
8月3日	14:30～16:30	光で遊ぼう～セロテープのスタンドグラス～	小学5年生～ 中学3年生	内海 淳志	45名	42名
8月18日	10:00～15:00	6足歩行ロボットをつくろう(大河を越えろ) 製作講習会	小学生 (4年生以上)	野間 正泰 石川 一平 畑 亮次	20名	20名
8月18日	10:00～15:00	リモコンロボットをつくろう(花を咲かせよう) 製作講習会	中学生	町田 秀和 若林 勇太	20名	18名
8月24日	9:30～11:30	作って学ぶソーラーカー 夏休み親子工作教室(舞鶴市大浦会館)	舞鶴市内在住の 小学3～6年生	内海 淳志 井上 泰仁 福井 繁雄	16名	17名
8月31日	13:30～16:30	第10回舞鶴高専平地研究室パワーエレクト ロニクス公開講座(メルパルク京都)	主に企業技術者	平地 克也 七森 公碩	40名	25名
9月1日	13:00～14:30	出張!公開講座 in 京都 LEGO ロボット製作とiPadを利用したプログラ ミング	中学生	川田 昌克	25名	8名
9月16日	12:50～14:55	入試説明会同時開催 in 舞鶴 エンジンを作ろう	中学生	篠原 正浩 野毛 宏文	15名	15名
9月16日	12:50～14:55	入試説明会同時開催 in 舞鶴 ゲーム開発を体験しよう	中学生	井上 泰仁	25名	15名
9月16日	12:50～14:55	入試説明会同時開催 in 舞鶴 LEGO ロボット製作とiPadを利用したプログラ ミング	中学生	川田 昌克	25名	16名
9月16日	12:50～14:55	入試説明会同時開催 in 舞鶴 レオナルド・ダ・ヴィンチの橋をつくろう! ～模型で学ぶ橋の仕組みと形～	中学生	玉田 和也	25名	11名
9月22日	13:00～14:30	出張!公開講座 in 滋賀 ノギスの作製と使い方(長さの測定)	中学生	谷川 博哉	20名	10名
9月22日	12:30～14:30	出張!公開講座 in 滋賀 振れば絵が出るイルミネーション	中学生	丹下 裕	20名	11名
9月22日	13:00～16:00	クレーンを作って遊ぼう!	小中学生	室巻 孝郎 須田 敦氏	10名	11名

開講日	開講時間	講座名	受講対象者	講師名	募集人数	受講者数
9月23日	12:30～16:30	考えて動かそう！きみにもできるロボットづくり	小中学生	室巻 孝郎 須田 敦氏	8名	8名
9月29日	13:00～14:30	出張！公開講座 in 大阪 LEGO ロボット製作とiPadを利用したプログラミング	中学生	川田 昌克	25名	3名
9月29日	13:00～14:30	出張！公開講座 in 大阪 篠原一男の住宅作品「白の家」の模型作り	中学生	尾上 亮介	15名	2名
10月5日	9:00～12:00	プログラミングによるドローンの自動飛行 ※中止	中学生	小林 洋平	8名	-
10月19日	10:00～12:00	魚釣りともものづくり	小学5年生～ 高校3年生	小林 洋平	20名	8名
10月19日	10:00～15:30	レオナルド・ダ・ヴィンチの橋をつくろう！ ～模型で学ぶ橋の仕組みと形～ 実験で学ぶ土木と防災	一般市民	玉田 和也	10名	40名
11月2日	10:30～16:30	舞鶴高専平地研究室パワーエレクトロニクス 初心者講座(メルパルク京都)	主に企業技術者	平地 克也	20名	18名
11月2日	9:00～16:00	防災について学ぼう	小中学生 一般市民	上杉 智子 金山 光一 加登 文学	随時	133名
11月2日	10:00～15:00	6足歩行ロボットをつくろう(大河を越えろ) 競技会	小学生 (4年生以上)	野間 正泰 清原 修二 石川 一平 若林 勇太 藤司 純一 畑 亮次	20名	15名
11月3日	9:00～16:00	光であそぼう	小中学生 一般市民	上杉 智子 内海 淳志 宝利 剛	随時	131名
11月3日	10:00～15:00	リモコンロボットをつくろう(花を咲かせよう) 競技会	中学生	伊藤 稔 町田 秀和 石川 一平 高木 太郎 若林 勇太 藤司 純一	19名	10名
11月9日	10:00～16:30	科学の祭典「プログラミング教室」 (京都市青少年科学センター)	小中学生 近隣住民	井上 泰仁	150名	100名
11月17日	13:30～15:30	小・中学生のための ナノテクノロジー体験教室	小学3年生～ 中学3年生	清原 修二	10名	12名
12月8日	13:00～16:00	聖夜を彩る光るクリスマスリース	小学4年生～ 中学3年生	船木 英岳 廣芝 伸哉 福井 繁雄	20名	18名

開講日	開講時間	講座名	受講対象者	講師名	募集人数	受講者数
12月21日	9:00～12:00	プログラミングによるドローンの自動飛行	中学生	小林 洋平	8名	4名
1月18日	13:00～15:00	水をきれいにする試み ～快適な環境の創造実験～	小学5年生～ 中学2年生	四蔵 茂雄	10名	1名
1月25日	13:00～15:00	住宅建築模型制作	小学4年生～ 中学3年生	尾上 亮介 高本 優也	10名	9名
1月25日	10:00～12:00	さわやかエネルギー風車入門	小学3年生～ 中学3年生	小林 洋平	10名	4名
2月1日	10:00～12:00	身の回りにある金属を探そう ～金属探知機をつくろう～	小学4年生～ 中学3年生	櫻井 一樹 福井 繁雄 畑 亮次 梶田 勲	15名	8名
2月22日	9:00～12:00	プログラミングによるドローンの自動飛行	小学5年生～ 中学3年生	小林 洋平	8名	7名
2月29日 ※中止	10:00～12:00	電子顕微鏡で絵を描こう	小学5年生～ 中学3年生	小林 洋平	10名	-
3月15日 ※中止	13:00～16:00	住まいの設計と模型作成	小学5年生～ 中学2年生	徳永 泰伸 加登 文学	10名	-
3月21日 ※中止	13:30～16:30	第11回舞鶴高専平地研究室パワーエレクトロニクス公開講座(メルパルク京都)	主に企業技術者	平地 克也	40名	-

iMec 公開講座

開講日	講座名	受講対象者	講師名	募集人数	受講者数
4月19日～4月21日	滋賀メンテナンス技術者養成講座 e+iMec 講習会【基礎編(橋梁点検)】	滋賀県メンテナンス 技術者養成協議会	玉田 和也	10名	7名
5月24日～5月26日				10名	9名
5月9日～5月10日	e+iMec 講習会【基礎編(橋梁点検)】	行政機関技術職員 及び民間企業技術者	玉田 和也	10名	10名
5月11日～5月12日				10名	11名
6月20日～6月21日				10名	10名
6月22日～6月23日				10名	1名
7月6日～7月7日				10名	9名
7月11日～7月12日				10名	10名
7月13日～7月14日				10名	5名
10月26日～10月27日				10名	6名
10月28日～10月29日				10名	10名
11月30日～12月1日				10名	5名
12月10日～12月11日				10名	10名
6月8日 ※中止				准橋梁点検技術者切替講習会	平成27年度以前の iMec 講習会(基礎編) 受講修了者
7月27日 ※中止	20名	-			
6月22日～6月23日	e+iMec 講習会【基礎編(橋梁点検)】 兵庫県建設業協会	兵庫県建設業協会	玉田 和也	10名	5名
8月19日 ※中止	e+iMec 講習会 【鋼構造物の非破壊検査】	行政機関技術職員 及び民間企業技術者	玉田 和也 佐々木 昇氏	10名	-
8月20日	e+iMec 講習会【舗装と防水層】	行政機関技術職員 及び民間企業技術者	玉田 和也 坂上 典幸氏	10名	3名
3月3日 ※延期				10名	-
8月23日～8月25日	e+iMec 講習会【応用編(橋梁点検)】	行政機関技術職員 及び民間企業技術者	玉田 和也 尾花 弘教氏 平川 和希氏 中 憲太郎氏 上田 直輝氏	10名	11名
9月6日～9月8日				10名	10名
10月31日、 11月1日、5日、9日	e+iMec 講習会 【コンクリートの品質管理】	行政機関技術職員	毛利 聡	10名	3名
11月9日～11月10日 ※中止	e+iMec 講習会【地盤と斜面】	行政機関技術職員	玉田 和也 沢田 和秀氏 加藤 十良氏 松田 雅嗣氏 天池 大樹氏 尾崎 武志氏 岩本 拓也氏	10名	-
11月21日～11月22日				10名	5名
3月17日～3月18日 ※延期	e+iMec 講習会【構造物の詳細調査】	行政機関技術職員 及び民間企業技術者	玉田 和也 掛 園恵	10名	-

出前授業

実施日	授 業 名	実施場所等	対象者	講師名
5月29日	ペットボトル掃除機を作ってみよう	京都市立近衛中学校	中学3年生	野毛 宏文
6月20日	クレーンを作って遊ぼう！	舞鶴市立若浦中学校	中学3年生	室巻 孝郎
6月20日	羽ばたけ！君のイルミネーションプログラム	舞鶴市立若浦中学校	中学3年生	七森 公碩 中川 重康
6月20日	LEGO ロボット製作と iPad を利用したプログラミング	舞鶴市立若浦中学校	中学3年生	高木 太郎 若林 勇太
6月20日	水をきれいにする試み	舞鶴市立若浦中学校	中学3年生	四蔵 茂雄
6月30日	志楽ダイヤモンド協議会主催 高専のロボットたちがやって来る2019(ロボット 操作他)	舞鶴市立志楽小学校	保育園児 幼稚園児 小中学生	西山 等
7月5日	レオナルド・ダ・ヴィンチの橋を作ろう！ ～模型で学ぶ橋の仕組みと形～	京都市立嵯峨中学校	中学3年生	玉田 和也
7月11日	ブロックを使ったプログラミング	京丹後市立丹後中学校	中学3年生	井上 泰仁
7月12日	真空で遊ぼう～真空ってなに？～	舞鶴市立与保呂小学校	小学4～6年生	内海 淳志
7月13日	土曜夜の市におけるロボコン展示	東舞鶴商店街 八島アーケード内	保育園児 幼稚園児 小学生 一般市民	町田 秀和 西山 等
7月18日	マーブリングをしてみよう！	舞鶴市立三笠小学校	小学1年生	野間 正泰 畑 亮次
8月19日	ペットボトルで作る動くおもちゃ	舞鶴市立志楽小学校	小学1～4年生	丹下 裕 福井 繁雄 井谷 武史
8月22日	ICTの活用・教育支援具作成実習	京都府立舞鶴支援学校	京都府立 舞鶴支援学校 教員	丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次 井谷 武史
9月12日 9月13日 9月18日	イルミネーションを作ろう！	舞鶴市立若浦中学校	中学3年生	芦澤 恵太 中川 重康 内海 淳志 七森 公碩 井上 泰仁
9月19日	技術・家庭(木材編)～木材にヒントを得た断熱 材の形成実験ならびに木工ガジェット製作～	舞鶴市立和田中学校	中学1年生	野毛 宏文

実施日	授 業 名	実施場所等	対象者	講師名
9月19日	技術・家庭(情報に関する技術編)～LEGO ロボット製作とiPad を利用したプログラミング～	舞鶴市立和田中学校	中学2年生	川田 昌克
10月19日	志楽子育て支援協議会 「虫の動きをする電子工作をしよう!!」	舞鶴市立志楽小学校	小中学生	丹下 裕 福井 繁雄 井谷 武史
10月25日 10月26日	イルミネーションを理解しよう!	舞鶴市立若浦中学校	中学生 保護者	中川 重康 七森 公碩 芦澤 恵太 片山 英昭
11月10日	LEGO ロボット製作とiPad を利用したプログラミング	北部産業創造センター	小学5年生～ 中学3年生	川田 昌克
11月16日	朝来小学校地域ふれあいクラブ 「マッピングをしてみよう!」 「身近な物体まわりの流れを見てみよう!」	舞鶴市立朝来小学校	小学5～6年生	野間 正泰 畑 亮次
11月19日	住まいの設計	舞鶴市立加佐中学校	中学2年生	加登 文学 徳永 泰伸
11月22日	プログラミングにチャレンジ	与謝野町立岩滝小学校	小学5年生	井上 泰仁
12月10日 12月18日	住まいの設計	舞鶴市立城北中学校	中学2年生	尾上 亮介 加登 文学 徳永 泰伸 渡部 昌弘 毛利 聡 今村友里子 西村 良平 高本 優也
12月13日	3D プリンタのためのプログラミング体験	舞鶴市立朝来小学校	小学4～6年生	丹下 裕 福井 繁雄 井谷 武史
12月19日	小さなコンピュータを使ったプログラミング	相楽東部広域連合立 和東中学校	中学2年生	井上 泰仁
12月24日	ICT の活用・教育支援具作成実習	京都府立舞鶴支援学校 行永分校	教員	船木 英岳 丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次
12月25日	ICT の活用・教育支援具作成実習	京都府立舞鶴支援学校	教員	船木 英岳 丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次 井谷 武史
1月24日	風車で動く車作り	舞鶴市立朝来小学校	小学4～6年生	丹下 裕 福井 繁雄 井谷 武史

実施日	授 業 名	実施場所等	対象者	講師名
1月28日 1月31日 2月3日	住まいの設計	舞鶴市立白糸中学校	中学2年生	加登 文学 徳永 泰伸 渡部 昌弘 毛利 聡 今村友里子 西村 良平
2月5日	住まいの設計	舞鶴市立和田中学校	中学2年生	尾上 亮介 徳永 泰伸 高本 優也
2月14日	LED イルミネーション作り	舞鶴市立朝来小学校	小学4～6年生	丹下 裕 福井 繁雄 井谷 武史
2月19日	ICTの活用、プログラム導入教育	京都府立舞鶴支援学校	教員	船木 英岳 丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次 井谷 武史
3月10日 ※中止	小さなコンピュータを使ったプログラミング	舞鶴市立若浦中学校	中学2年生	片山 英昭 井上 泰仁

産学連携事業

連携事業名称	連携先	実施期間	指導者
地域企業との連携による地域を担う機械技術者の育成	株式会社椿本チエイン	R1. 4. 5 ～6. 11	豊田 香 山田耕一郎 室巻 孝郎
地域企業との連携による地域を担う機械技術者の育成	オムロン株式会社 綾部工場	R1. 6. 18 ～10. 4	豊田 香 山田耕一郎 室巻 孝郎
専攻科エンジニアリングデザイン演習	株式会社堀場製作所 株式会社日進製作所	R1. 10～11	篠原 正浩 船木 英岳 野間 正泰 渡部 昌弘
地域企業との連携による地域を担う機械技術者の育成	株式会社イシダ	R1. 10. 18 ～12. 10	豊田 香 山田耕一郎 室巻 孝郎
地域企業との連携による地域を担うメカトロ技術者の育成	オムロン株式会社 綾部工場	R1. 11. 11 R2. 2. 21	仲川 力 町田 秀和 若林 勇太 藤司 純一
京都府の港湾を題材とした港湾管理に関する学習	国土交通省近畿地方整備局舞鶴港湾事務所 京都府港湾局	R1. 11～R2. 1	上野 卓也 加登 文学

学外講演, 講習, 展示

校長

内海 康雄	これからの高専人材育成～地域との連携についての視点～, 講演者, PMI日本フォーラム2019 (PMI日本支部), 東京, 2019年7月20日
	オープンワークショップ1:PM教育基礎の基とは, パネリスト, PMI日本フォーラム2019 (PMI日本支部), 東京, 2019年7月21日

人文科学部門

児玉 圭司	日本における人権・人権擁護委員制度の誕生とこれから, 講師, 京都府人権擁護委員連合会研修会, 京都市, 2019年6月6日
牧野 雅司	東郷平八郎と舞鶴の人びと, 大浦会館いきいきセミナー, 舞鶴市, 2019年5月24日
荻田みどり	講演, 『源氏物語』の食の世界, 舞鶴高専地域テクノアカデミア講演会, 舞鶴工業高等専門学校, 舞鶴市, 2019年10月31日

自然科学部門

上杉 智子	公開講座「光であそぼう」, 講師, はまっこ夜の市, 舞鶴市, 2019年7月13日
	公開講座「防災について学ぼう」, 講師, 舞鶴高専, 舞鶴市, 2019年11月2日
	公開講座「光であそぼう」, 講師, 舞鶴高専, 舞鶴市, 2019年11月3日
宝利 剛	公開講座「舞鶴高専の工作教室」, 講師, はまっこ夜の市, 舞鶴市, 2019年6月29日
	公開講座「光であそぼう」, 講師, 舞鶴高専, 舞鶴市, 2019年11月3日

機械工学科

西山 等	公開講座「防災授業 避難所設営訓練」, 朝来自主防災会, 舞鶴市, 2019年6月16日
	出前授業「高専のロボットたちがやってくる2019」, 志楽ダイヤモンド協議会, 舞鶴市, 2019年6月30日
	出前授業「ロボット展示」, はまっこ夜の市, 舞鶴市, 2019年7月13日
山田耕一郎	公開講座, 京都市青少年科学センター, 2020年2月3日
野毛 宏文	さかさにしてもこぼれない水等の展示, 夏の特別企画「まわす?まわる!」, あそびあむ, 舞鶴市, 2019年8月10日～25日
室巻 孝郎	出前授業「クレーンを作って遊ぼう!」, 舞鶴市立若浦中学校, 2019年6月20日
	公開講座「クレーンを作って遊ぼう!」, 舞鶴高専, 2019年9月22日
	公開講座「考えて動かそう!きみにもできるロボットづくり」, 舞鶴高専, 2019年9月23日

電気情報工学科

片山 英昭	視覚障害者の単独歩行を実現するチャレンジ, 講演, シーズ・ニーズマッチング交流会, 大阪市, 2019年12月18日
	視覚障害者の単独歩行を実現する歩行支援装置の展示, シーズ・ニーズマッチング交流会, 大阪市, 2019年12月17, 18日
船木 英岳	出前授業, ICTの活用とプログラミング教育支援具の作成実習, 京都府立舞鶴支援学校行永分校, 舞鶴市, 2019年12月24日
	出前授業, プログラミング教育支援具の作成実習, 京都府立舞鶴支援学校, 舞鶴市, 2019年12月25日
	出前授業, プログラミング～フローチャート編～, 京都府立舞鶴支援学校, 舞鶴市, 2020年2月19日

内海 淳志	公開講座，光であそぼう～セロテープのステンドグラス～，はまっこ夜の市，舞鶴市，2019年7月6日
	出前授業，真空で遊ぼう～真空ってなに？～，舞鶴市立与保呂小学校，舞鶴市，2019年7月12日
	公開講座，夏休み太陽電池教室～太陽電池で遊ぼう～(小学生対象)，舞鶴高専，舞鶴市，2019年7月21日
	公開講座，夏休み太陽電池教室～太陽電池を学ぼう～(中学生対象)，舞鶴高専，舞鶴市，2019年7月21日
	公開講座，光で遊ぼう～セロテープのステンドグラス～，舞鶴高専，舞鶴市，2019年8月3日
	公開講座，夏休み親子工作教室～作って学ぶソーラーカー～，舞鶴市大浦会館，舞鶴市，2019年8月24日
	公開講座，光で遊ぼう～光の性質を知ろう～，舞鶴高専，舞鶴市，2019年11月3日
	イルミネーション展示，舞鶴市イルミネーション設置事業，東舞鶴駅，舞鶴市，2019年11月20日～2020年2月20日
芦澤 恵太	内閣府主催「Let's be a STEM Girl!!!」ワークショップ：足し算から考えるアルゴリズム，講師，舞鶴市，2019年11月4日
丹下 裕	プログラミング～フローチャート編～，出前授業，京都府立舞鶴支援学校，舞鶴市，2020年2月
	LEDイルミネーション作り，出前授業，舞鶴市立朝来小学校理科クラブ，舞鶴市，2020年2月
	風車で動く車作り，出前授業，舞鶴市立朝来小学校理科クラブ，舞鶴市，2020年1月
	3Dプリンタのためのプログラミング体験，出前授業，舞鶴市立朝来小学校理科クラブ，舞鶴市，2019年12月
	ICTの活用とプログラミング教育支援具の作成実習，出前授業，京都府立舞鶴支援学校行永分校，舞鶴市，2019年12月
	プログラミング教育支援具の作成実習，出前授業，京都府立舞鶴支援学校，舞鶴市，2019年12月
	虫の動きをする電子工作をしよう！！，出前授業，志楽子育て支援協議会，舞鶴市，2019年10月
	ペットボトルで作る動くおもちゃ，出前授業，志楽小学校学童クラブ，舞鶴市，2019年8月
	プログラミング教育支援具の作成実習，出前授業，京都府立舞鶴支援学校，舞鶴市，2019年8月
井上 泰仁	出前授業，小さなコンピュータを利用したプログラミング，京丹後市，2019年7月11日
	中学校教員向け体験授業，小さなコンピュータを利用したプログラミング，舞鶴市，2019年8月6日
	中学校教員向け体験授業，小さなコンピュータを利用したプログラミング，舞鶴市，2019年8月30日
	公開講座，ゲーム開発を体験しよう タブレットの傾きセンサーを利用したゲームを作ってみよう，舞鶴市，2019年9月16日
	公開講座，プログラミング教室，青少年のための科学の祭典京都大会，京都市青少年科学センター，2019年11月9日
	出前授業，プログラミングにチャレンジ，与謝野町，2019年11月9日
	出前授業，小さなコンピュータを利用したプログラミング，和束町，2019年12月19日
平地 克也	DC/DCコンバータの基礎と設計・開発のポイント，セミナー講師，日本テクノセンター，2019年6月26日
	ハードスイッチング回路について，講演会講師，JEITAエネルギーマネジメント・材料デバイス技術分科会，大阪大学吹田キャンパス，2019年7月9日
	第10回舞鶴高専平地研究室パワーエレクトロニクス公開講座，講師，メルパルク京都，2019年8月31日
	舞鶴高専平地研究室パワーエレクトロニクス初心者講座，講師，メルパルク京都，2019年11月2日

電子制御工学科

野間 正泰	出前授業，マーブリングをしてみよう！，舞鶴市立三笠小学校，舞鶴市，2019年7月18日
	出前授業，マーブリングをしてみよう！，身近な物体まわりの流れを見てみよう！，舞鶴市立朝来小学校，舞鶴市，2019年11月16日
川田 昌克	プログラミング体験教室，講師，北部産業創造センター，綾部市，2019年11月10日
	PID 制御の基礎，講師，日本テクノセンター，堺市，2020年3月24日・25日
町田 秀和	公開講座「電子工作『電子ホテル』の製作」，舞鶴市，2019年4月28日
	出前授業「ロボコン展示」，土曜夜の市，舞鶴市，2019年7月13日
清原 修二	公開講座「小・中学生のためのナノテクノロジー体験教室」，舞鶴高専地域共同テクノセンター，舞鶴市，2019年11月17日
	ポスターおよび研究装置展示，パネラー，THE 高専@SEMICON Japan 2019，東京ビックサイト，東京都江東区，2019年12月11日～13日
若林 勇太	基調講演，サステナブル/ロボティック・システムデザイン研究会2019，茨城県大子町，2019年8月24日～25日

建設システム工学科

四蔵 茂雄	令和元年度舞鶴市ネイチャーガイド養成講座講師，2019年10月1日
玉田 和也	京都府北部・橋りょう維持管理研修会，講師，京都府及び8市町，第1回舞鶴市(2019年6月4日)，第2回綾部市(2019年7月18日)，第3回綾部市(2019年8月6日)，第4回綾部市(2019年9月10日)，第5回綾部市(2019年10月8日)，第6回綾部市(2019年11月12日)，第7回綾部市(2019年12月5日)，第8回綾部市(2020年1月31日)
	iMec講習会，講師，基礎編14回(4月19日，5月9日，5月11日，5月24日，6月20日，6月22日，7月6日，7月11日，7月13日，10月26日，10月28日，11月30日，12月10日，1月25日)，応用編2回(8月23日，9月6日)，舗装と防水層1回(8月20日)
	平成31年度京都市町村道路メンテナンス推進協議会，「メンテナンス技術者の育成」，講師，ルビノ京都堀川，京都市，2019年5月16日
	令和元年度舞鶴市の公共工事の取り組みに関する研修会，「老朽化する社会資本の対策について」，講師，舞鶴市商工観光センターコンベンションホール，舞鶴市，2019年6月25日
尾上 亮介	公開授業「住宅建築模型制作」，講師，舞鶴高専，舞鶴市，2019年7月27日
	公開授業「篠原一男の住宅作品「白の家」の模型づくり」，講師，大阪教育大学天王寺キャンパス，2019年9月29日
	宮津景観シンポジウム，講演，コーディネーター，宮津市，2019年10月26日
	KOINデザインラボ，講演，舞鶴市，2019年11月15日
	出前授業「住まいの設計」，講師，城北中学校，舞鶴市，2019年12月19日
	公開授業「住宅建築模型制作」，講師，舞鶴高専，舞鶴市，2020年1月25日
加登 文学	出前授業「住まいの設計」，講師，和田中学校，舞鶴市，2020年2月5日
	「わかりやすい地盤工学基礎シリーズ講習会」，講師，地盤工学会，東京，2019年6月14日
	公開講座，防災授業～避難所設営訓練～，朝来小学校体育館，2019年6月16日
	公開講座，舞鶴高専の工作教室(COC+事業)，八島商店街，2019年6月29日
	出前授業「住まいの設計」，講師，加佐中学校，城北中学校，白糸中学校，2019年11月19日，12月10，18日，2020年1月28日
「土木技術力向上講座－土質力学－」，講師，CPDS講習会，舞鶴市，2020年2月22日	
徳永 泰伸	出前授業「住まいの設計」，講師，舞鶴市立加佐中学校，2019年11月19日
	出前授業「住まいの設計」，講師，舞鶴市立城北中学校，2019年12月18日
	出前授業「住まいの設計」，講師，舞鶴市立白糸中学校，2020年2月3日
	出前授業「住まいの設計」，講師，舞鶴市立和田中学校，2020年2月5日

渡部 昌弘	出前授業「住まいの設計」, 講師, 城北中学校, 2019年12月10日
	出前授業「住まいの設計」, 講師, 白糸中学校, 2020年1月28日
毛利 聡	令和元年度京都府中丹土木事務所管内建設業者研修, 講師, 京都府中丹土木事務所, 中丹文化会館, 2019年10月1日
	iMec講習会「コンクリートの品質管理」, 講師, 舞鶴高専社会基盤メンテナンス教育センター, 2019年10月31日, 11月1日, 11月5日, 11月9日
	出前授業「住まいの設計」, 講師, 舞鶴市立城北中学校, 2019年12月10日
	出前授業「住まいの設計」, 講師, 舞鶴市立白糸中学校, 2020年1月31日
今村友里子	建築家・沖種郎の設計思想からみた宮津市庁舎の文化的価値, 今村友里子, 宮津まちなみシンポジウムVol.10 つながるまちづくり, 2019年10月26日
	出前授業「住まいの設計」, 講師, 舞鶴市立城北中学校, 2019年12月18日
	出前授業「住まいの設計」, 講師, 舞鶴市立白糸中学校, 2020年2月3日
上野 卓也	津波実験水槽の展示, 舞鶴市総合防災訓練, 舞鶴市, 2019年10月27日
	津波実験水槽の展示, 第54回高専祭Cプロ展示, 舞鶴市, 2019年11月2日~3日

教育研究支援センター

西村 良平	技術相談, 金剛院ライトアップ撮影, 舞鶴市, 2019年9月9日
	技術相談, 加佐地区農地ドローン活用, 舞鶴市, 2019年11月8日

地域共同テクノセンター技術相談

	相談内容	対応教員	備考
1	量産技術向上について(近畿7高専マッチング交流会にて)	室巻孝郎 七森公碩	○
2	回転歯車ポンプの圧力分布について(近畿7高専マッチング交流会にて)	室巻孝郎 七森公碩	○
3	放送の音声の同一性の認識について(近畿7高専マッチング交流会にて)	室巻孝郎 七森公碩	○
4	都市計画の変更に関して	尾上亮介	○
5	ゴミ収集の変更に関して	尾上亮介	○
6	移住者促進住宅に関して 広報について	尾上亮介	○
7	地区計画の変更に伴う都市計画の変更に関して	尾上亮介	○
8	東舞鶴地区における浸水対策および河川モニタリングに関して	加登文学 上野卓也	○
9	伝統産業で用いられている自動織機の改良について	金山光一	○
10	H31年度改訂の定期点検要領における新技術(ドローン等)の取り扱いについて	玉田和也	○
11	耐候性鋼材を使用した橋梁の桁端部の重防食塗装について	玉田和也	○
12	ミッションケースの設計について	室巻孝郎	○
13	小容量DDコンの最新技術動向を教えてください	平地克也	○
14	芥川作品「鼻」に関する情報提供について	田村修一	○
15	3相整流回路の設計方法を教えてください	平地克也	○
16	箱詰め装置の開発について	室巻孝郎	○
17	並列駆動技術について	七森公碩	○
18	LLCコンバータを双方向に使用した時にリアクトルLmを追加する理由について	平地克也	○
19	搬送機器のトライボロジーについて	野間正泰	○
20	ある機関が所蔵する裁判記録の史的価値(研究への利用可能性)について	児玉圭司	○
21	充電器の破損原因について問い合わせ	平地克也	○
22	PFCコンバータの新製品開発に協力してほしい	平地克也	○
23	東舞鶴地区における浸水対策および河川モニタリングに関して	加登文学 上野卓也	○
24	位相シフトフルブリッジ方式の動作モードの詳細を教えてください	平地克也	○
25	共同研究等に関する情報交換について	背戸柳実 片山英昭 平地克也 金山光一	○
26	ねじの疲労試験依頼	山田耕一郎	○
27	真空チャックの圧損評価法	豊田 香 村上信太郎	○
28	舞鶴市の移住者促進に関して	尾上亮介	○
29	舞鶴市の環境計画の推進に関して	尾上亮介	○
30	戸島活用の可能性について	尾上亮介	○
31	簡易自動搬送車(AGV)について	片山英昭 平地克也 金山光一	○
32	AI活用 食品工場品質管理システムについて		
33	GPS精密単独測位法について		
34	ドローンの飛行精度(GPS)について		
35	農機ガイダンス端末について		

36	磷酸鉄Liイオンバッテリーシステムについて	片山英昭 平地克也 金山光一	○
37	3相整流回路のダイオードとコンデンサの選び方	平地克也	○
38	宮津市街地の街路整備について	尾上亮介	○
39	舞鶴市公共施設の活用に関して	尾上亮介	○
40	綾部市の都市計画施策に関して	尾上亮介	○
41	舞鶴市のゴミ削減に関して	尾上亮介	○
42	真空チャックの圧損評価実験装置の製作について	村上信太郎	○
43	水陸両用救急車の開発について	篠原正浩	○
44	新技術表面処理(マルチ nano)の表面処理後の観察・解析について	清原修二	○
45	DAB コンバータの貫通電流のメカニズムについて	平地克也	○
46	「DC/DC コンバータの基礎から応用まで」のハーフブリッジ回路の理解方法	平地克也	○
47	福知山市の都市計画施策に関して	尾上亮介	○
48	舞鶴市子育て支援施設 あそびあむの運営に関して	尾上亮介	○
49	GPS精密単独測位法について	丹下 裕	○
50	AI活用 食品工場品質管理システムについて	片山英昭	○
51	簡易自動搬送車(AGV)について	若林勇太	○
52	大型モノレールの強度評価について	室巻孝郎	○
53	半導体モジュールについて	平地克也 七森公碩	○
54	景観まちづくりに関して	尾上亮介	○
55	自動車用 DD コンの適切な回路方式の考え方について	平地克也	○
56	CAM ソフト(NC Viewer and Converter)に関する技術質問への回答	眞柄賢一	○
57	福知山市の都市計画マスタープランに関して	尾上亮介	○
58	浸水対策について	加登文学 上野卓也	○
59	旧市民病院の活用に関して	尾上亮介	○
60	舞鶴市空き屋活用に関して	尾上亮介	○
61	有休国有地の活用に関して	尾上亮介	○
62	舞鶴港の計画に関して	尾上亮介	○
63	舞鶴市公共施設の長寿命化に関して	尾上亮介	○
64	古文書史料と研究者とのマッチングについて	牧野雅司	○
65	旧市民病院の活用に関して	尾上亮介	○
66	CAM ソフト(NC Viewer and Converter)に関する一般質問への回答	眞柄賢一	○
67	北丹地域の農業(お茶)に関して	尾上亮介	○
68	京丹後市の都市計画に関して	尾上亮介	○
69	通信装置用整流装置の SID の破損原因について	平地克也	○
70	PID 制御について	川田昌克	○
71	公営住宅の長寿命化に関して	尾上亮介	○
72	アクティブクランプ方式の制御方法	平地克也	○
73	LLC コンバータとアクティブクランプコンバータの比較	平地克也	○
74	アクティブクランプ方式の2次側短絡方式についての論文紹介依頼	平地克也	○
75	同期整流 FET の駆動回路で、変圧器の2次巻線を利用できる条件について	平地克也	○
76	浸水対策について	加登文学 上野卓也	○
77	CAM ソフト(NC Viewer and Converter)のアドイン・スクリプトについて	石井貴弘	○

78	今後パワエレ関連に力を入れたいと考えており、連携して技術開発を進めたい	平地克也	○
79	浸透探傷試験、放射線透過試験、超音波探傷試験について	加登文学	○
80	フルブリッジ DD コンの FET 電圧波形について	平地克也	○
81	モータ制御について	川田昌克	○
82	位相シフトフルブリッジ方式のデジタル制御にした場合の効率改善効果について	平地克也	○
83	舞鶴市の都市計画(地区計画)に関して	尾上亮介	○
84	防水防食テープ(ウルトラワックステープ)の適用について	玉田和也	○
85	半波整流電流共振型の特性について	平地克也	○
86	舞鶴市空き屋活用に関して	尾上亮介	○
87	パルス信号によるモーター制御を用いた自動高さ調節機構の研究	町田秀和	○
88	舞鶴市のゴミ削減に関して	尾上亮介	○
89	まちづくり会社に関して	尾上亮介	○
90	舞鶴市三条通りの未来に関して	尾上亮介	○
91	舞鶴市の観光まちづくりに関して	尾上亮介	○
92	GPS精密単独測位法について	丹下 裕	○
93	AI活用 食品工場品質管理システムについて	片山英昭	○
94	浸水対策について	加登文学 上野卓也	○
95	舞鶴市空き屋活用に関して	尾上亮介	○
96	光学系教育コンテンツの活用について	宝利 剛	○
97	有休国有地の活用に関して	尾上亮介	○
98	騒音の伝搬特性について	徳永泰伸	○
99	3~4kW クラスの DC/DC コンバータの回路方式選択方法について	平地克也	○
100	モータ制御について	川田昌克	○
101	ドローンの自動飛行について	小林洋平	○
102	第9回公開講座(DAB コンバータ)のスライド資料を購入したい	平地克也	○
103	DAB と LLC の出前授業依頼	平地克也	○

備考：○印……本校で対応した相談

■印……他の機関に紹介した相談

※2019年1月1日～2019年12月31日に相談があったものを掲載

地 域 委 員

校長

内海 康雄	舞鶴市総合計画審議会，座長，2019年10月～2020年3月
	(一社)持続可能で安心安全な社会をめざす新エネルギー活用推進協議会(JASFA)，副会長，2011年～現在
	内閣府，「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」SDGsスタートアップ研究分科会，メンバー，2019年5月～
	PMI日本支部教育国際展開委員会，委員，2018年4月～

人文科学部門

児玉 圭司	舞鶴市情報公開・個人情報保護審査会，委員，(2010年6月～2020年5月(予定))
	舞鶴市情報公開・個人情報保護審議会，委員，(2013年1月～2021年1月(予定))
	舞鶴市行政不服審査会，委員，(2016年6月～2020年5月(予定))
	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター・倫理委員会，委員，(2020年2月7日～2020年3月31日)
	綾部市行政不服審査会，委員，(2016年12月～2020年12月(予定))
	舞鶴市ふるさと納税事務代行業者の募集に係る選定委員，委員，(2020年3月25日)

機械工学科

西山 等	舞鶴工業高等専門学校同窓会，理事長，2019年4月～2020年3月
------	-----------------------------------

電気情報工学科

中川 重康	舞鶴市公共工事事故調査委員会，委員，2019年4月～2021年3月
	舞鶴子ども発明クラブ，指導員，2019年7月～2020年2月

建設システム工学科

四蔵 茂雄	舞鶴市上下水道審議会，委員，2019年4月～2020年3月
	宮津市上水道審議会，委員，2019年4月～2020年3月
玉田 和也	舞鶴市入札監視委員会，委員，2019年4月～2020年3月
	舞鶴市地域公共交通会議，委員，2019年4月～2020年3月
	国土交通省近畿地方整備局，橋梁ドクター，2019年4月～2020年3月
	国土交通省近畿地方整備局，近畿地方整備局新技術活用評価会議，委員，2019年7月～2020年3月
尾上 亮介	舞鶴市都市計画審議会，委員，2018年4月～
	宮津市都市計画審議会，会長，2018年4月～
	宮津市景観審議会，委員，会長職務代理，2018年11月～
	宮津市文化的景観検討委員会，委員，2018年11月～
	京都府舞鶴港港湾審議会，委員，2018年10月～
加登 文学	高野川橋梁に係る橋台変位対策検討会，委員，2019年7月～2019年12月
今村友里子	宮津市景観デザイン委員会，委員，2019年4月～2020年3月
上野 卓也	舞鶴市浸水対策プロジェクト，2019年4月～現在

報 道 記 事

報道記事一覧	1 5 9
--------------	-------

報道記事一覧

見出し	掲載紙(誌)	掲載年月日
“眠る旧軍施設” どう活用 舞鶴 保存不十分、課題多く (人文科学部門 牧野准教授(日本近代史)が危機感)	京都新聞	平成31年4月14日(日)
天滝への「トラス橋」完成 養父 山開き、住民ら30人安全祈願 (建設システム工学科 玉田教授らが再建に協力)	神戸新聞	平成31年4月16日(火)
名瀑・天滝楽しんで 大屋 山開きで安全願う (建設システム工学科 玉田教授ら)	読売新聞	平成31年4月16日(火)
ファッションと食で舞鶴盛り上げ 初のシティコレクション 市民企画 公募モデルショーや料理投票 (舞鶴高専の学生ら市民5人がプロデュースチーム)	京都新聞	平成31年4月17日(水)
昨年度舞鶴移住 最多13組33人 市体制強化 空き家改修・仲介/12課連携しPR (住宅の改修に舞鶴高専の学生が協力)	読売新聞	平成31年4月26日(金)
女子高生 夢や社会問題発表 舞鶴で「クラブ・ユース・フォーラム」 (市内3高校と舞鶴高専の7人が参加)	京都新聞	令和元年5月22日(水)
避難所運営 住民学ぶ 舞鶴で訓練 ペット連れや外国人 対応策考える (防災士の資格を持つ舞鶴高専の学生ら5人が協力)	京都新聞	令和元年6月17日(月)
【催し】 志楽小「高専のロボットたちがやってくる2019」(6/30)	舞鶴市民新聞	令和元年6月28日(金)
はまっこ夜の市 東舞鶴 7/6 光のワークショップ「舞鶴高専の光であそぼう」 7/13「ロボコン」、光のワークショップ「舞鶴高専の光であそぼう」 (COC+事業による舞鶴高専公開講座)	新聞折込み ちらし	令和元年6月28日(金)
【各公民館で毎月イベント実施中】 大浦会館《夏休み親子工作教室》 太陽電池の仕組みとソーラーカーづくり(8/24) (電気情報工学科 内海教授)	広報まいづる	2019年7月号
志楽小児童 ロボ操作体験 舞鶴高専生が手ほどき	京都新聞	令和元年7月2日(火)
7月6日から京都大会開幕 第101回全国高校野球選手権大会 甲子園めざす地元4校 舞鶴高専 好球必打でつなぐ野球 波に乗れば大量得点も	舞鶴市民新聞	令和元年7月5日(金)
書道通し留学生と交流 舞鶴のNPO 市内観光でもてなし (舞鶴高専の留学生4人が参加)	京都新聞	令和元年7月7日(日)
高専で JICA 研修 5カ国の6人が地方のインフラメンテを学ぶ (舞鶴高専社会基盤メンテナンス教育センター)	舞鶴市民新聞	令和元年7月12日(金)

見出し	掲載紙(誌)	掲載年月日
科学興味ある小中生 指導「塾」 舞鶴高専、来月から (舞鶴高専ジュニアドクター育成塾)	京 都 新 聞	令和元年7月18日(木)
マーブリング「きれい」 三笠小 舞鶴高専生ら出前授業 (電子制御工学科 野間研究室)	京 都 新 聞	令和元年7月19日(金)
マーブリングを体験 舞鶴高専の学生ら 三笠小で出前授業	毎 日 新 聞	令和元年7月19日(金)
高専生が出前授業 毎年恒例 ロボットイベント 児童ら40人が歓声 (舞鶴高専創造技術研究会)	舞鶴市民新聞	令和元年7月19日(金)
舞鶴高専でKDDI 防災講座 情報見極め 避難適切に 府内初 SNS 駆使 (建設システム工学科1年生)	京 都 新 聞	令和元年7月20日(土)
災害情報 スマホで正しく KDDI 舞鶴高専で出前講座	毎 日 新 聞	令和元年7月23日(火)
幽霊の姿 母国と違う? 高専留学生がお化け屋敷体験	舞鶴市民新聞	令和元年7月23日(火)
【募集】大浦会館 舞鶴高専出前授業「夏休み親子工作教室/作って学ぶソーラーカー」(8/24) (電気情報工学科 内海教授)	舞鶴市民新聞	令和元年7月23日(火)
舞鶴高専 KDDI が出前講座 災害時の情報 正しく見極め	舞鶴市民新聞	令和元年7月30日(火)
【募集】 「舞鶴高専ジュニアドクター育成塾」第1期受講生募集	舞鶴市民新聞	令和元年7月30日(火)
【特集】SDGs 未来都市まいつる モデル事業 未来創造人材の育成 (舞鶴高専など市内に所在する教育機関と連携)	広報まいつる	2019年8月号
水がつくる模様「きれい！」 高専生が「マーブリング」出前授業	舞鶴市民新聞	令和元年8月2日(金)
近畿から北陸から 高校・高専バンド 舞鶴集結 31日コンテスト初開催	読 売 新 聞	令和元年8月27日(火)
【催し】 第1回北近畿高等学校軽音楽コンテスト(8/31) (舞鶴高専などが出場)	舞鶴市民新聞	令和元年8月27日(火)
軽音部 舞鶴に集結 31日・近畿北陸高校コンテスト 市の知名度アップへ初開催	毎 日 新 聞	令和元年8月29日(木)
舞鶴で11組熱演 第1回近畿北陸高校軽音コン 峰山「スニーカーバンド」3位入賞 舞鶴市長賞＝舞鶴高専「foolcool(フールクール)」	毎 日 新 聞	令和元年9月2日(月)
音楽の魅力で地域振興 軽音コン近畿北陸大会を初開催 各地から来場の400人 音楽の一日を楽しむ 舞鶴市長賞＝foolcool (舞鶴高専)	舞鶴市民新聞	令和元年9月6日(金)
文科省、実務家教員養成へ5件採択 リカレント教育促進 (舞鶴高専「KOSEN 型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築」中核拠点に)	日刊工業新聞	令和元年9月13日(金)

見出し	掲載紙(誌)	掲載年月日
クレーン車 作れたよ 舞鶴高専で講座 親子連れら夢中	読売新聞	令和元年9月23日(月)
【まいづるトピックス】 ミュージックコミッションが市内にコンテストを誘致 初開催の軽音コンテストで11バンドが熱演 (舞鶴高専が市長賞)	広報まいづる	2019年10月号
【催し】 松尾寺駅舎コンサート (舞鶴高専の学生による軽音楽や吹奏楽の演奏など)	広報まいづる	2019年10月号
プログラミング学ぼう 舞鶴で来月から 参加児童募る (舞鶴高専などが協力)	読売新聞	令和元年10月9日(水)
「実務家教員」産学で養成 東北大など 企業の経験教える (舞鶴高専を代表とするグループが文科省の補助金事業に採 択)	日本経済新聞	令和元年10月28日(月)
【催し】 レッツ・ピ・ア・ステムガール!!～地域から未来の理工系女子 を～(11/4) (舞鶴高専 実験教室 「足し算から考えるアルゴリズム」)	舞鶴市民新聞	令和元年11月1日(金)
「永遠に回るコマ」に挑戦 舞鶴高専祭きょうまで	毎日新聞	令和元年11月3日(日)
秋の叙勲受章者 (瑞宝小綬章に西村萬平名誉教授)	京都新聞他	令和元年11月3日(日)
空き家改修プラン紹介 舞鶴高専生 市の移住者向け事業	京都新聞	令和元年11月13日(水)
【催し】 JR 東西舞鶴駅周辺のイルミネーション点灯(11/20～2/20) JR 東舞鶴駅(北口)＝舞鶴高専の学生が製作・設置・運営 全て担当	舞鶴市民新聞	令和元年11月19日(火)
舞鶴高専生ら飾り付け 東、西舞鶴両駅 LED オブジェ 光彩放つ	京都新聞	令和元年11月21日(木)
輝く東舞鶴駅前 高専生が制作	読売新聞	令和元年11月21日(木)
地震の仕組みに驚き 岩滝小で地元出身・京大准教授 授業 「避難場所 家族と共有を」 (5年生は舞鶴高専電子制御工学科の井上准教授からプログ ラミングの基礎を学ぶ)	京都新聞	令和元年11月23日(土)
【催し】 第44回情報科学センター講演会(11/28)	舞鶴市民新聞	令和元年11月26日(火)
オカルトか、宗教か、医学かー大正期流行「霊術」読み解く 新著「近現代日本の民間精神療法」編者 舞鶴高専・吉永進 一教授に聞く	京都新聞	令和元年11月27日(水)
居住促進住宅整備 舞鶴高専学生ら「お試し住宅」プラン説明	舞鶴市民新聞	令和元年11月29日(金)
叙勲、全国大会等出場者を紹介 秋の叙勲 瑞宝小綬章 西村萬平 教育研究功労(舞鶴高専 名誉教授)	広報まいづる	2019年12月号

見出し	掲載紙(誌)	掲載年月日
【子育て】京都府青少年すこやかフォーラム(1/25) 第2部 舞鶴高専特命教授の後野文雄さんによる「よりよい親子関係を築くコミュニケーション～子どもとの望ましい関わり方について～」	広報まいづる	2019年12月号
【人間発見】さくらインターネット社長・田中邦裕さん 高専のワクワクを経営に 在学中に起業、挑戦いまでも (舞鶴高専卒業生)	日本経済新聞 電子版	令和元年12月9日(火) ～12月13日(金)
【催し】 講演「日本における恩赦制度の歴史」(舞鶴地方史研究会12月例会)(12/15) (講師:人文科学部門 児玉教授)	舞鶴市民新聞	令和元年12月13日(金)
【まちかど】 舞鶴地方史研究会例会「日本における恩赦制度の歴史」 (12/15) (講師:人文科学部門 児玉教授)	京都新聞	令和元年12月14日(土)
舞鶴高専と近畿建設協会など コンソーシアムを発足 インフラ補修 土木技術者育成へ	京都新聞	令和元年12月14日(土)
舞鶴を彩る光 高専生ら共演	朝日新聞	令和元年12月17日(火)
若き感性が躍動 伝統産業の維持・再生に活力を 高専生の研究 総務省主催のコンテストで採択受ける	舞鶴市民新聞	令和元年12月24日(金)
ロボットでデブリを掴み取れ! 高専生が挑む廃炉創造ロボコンが熱い	電気新聞 デジタル	令和2年1月7日(火)
税の作文 高専 小山さんらが受賞 「思いやりのある社会」を提言	舞鶴市民新聞	令和2年1月10日(金)
黒谷和紙×LEDでモダン照明 舞鶴高専生、表具店と共同で商品化研究 ゲストハウスで評価聞く	京都新聞	令和2年1月21日(火)
舞鶴市 西舞鶴初のお試し住宅 入居開始は4月 (設計と居住プラン策定を舞鶴高専の学生らが担当)	北近畿経済 新聞	令和2年1月21日(火)
【募集】 プログラミングによるドローンの自動飛行(2/22)	舞鶴市民新聞	令和2年1月28日(火)
小型風力発電装置 親子ら手作り体験 舞鶴高専で公開講座	京都新聞	令和2年1月30日(木)
【募集】 電子顕微鏡で絵を描こう(2/29)	舞鶴市民新聞	令和2年1月31日(金)
舞鶴高専志願者 121人で倍率1.5倍 一般入試	京都新聞	令和2年2月4日(火)
舞鶴市20年度予算案「SDGs未来都市」重点 福祉・教育にも目配り (舞鶴高専や企業との防災情報発信システム構築に向け予算計上)	京都新聞	令和2年2月19日(水)
【募集】 舞鶴高専公開講座「住まいの設計と模型作成」(3/15)	舞鶴市民新聞	令和2年2月28日(金)
舞鶴市優秀スポーツ賞・優秀文化賞 偉業をたたえ表彰 受賞者ら更なる飛躍誓う (優秀スポーツ賞優秀賞に2019年世界女子ペタンク選手権大会出場の舞鶴高専4年堅田さん)	舞鶴市民新聞	令和2年2月28日(金)

見出し	掲載紙(誌)	掲載年月日
舞鶴高専 堅田さん ペタンクで世界へ 市優秀スポーツ賞受賞 老若男女が親しめるスポーツ『競技の普及を目指したい』	舞鶴市民新聞	令和2年3月6日(金)
舞鶴のモノづくり発展へ 舞鶴高専退官の町田さんが模型店開業 今後は模型コンテストや市民ロボコンなども企画	舞鶴市民新聞	令和2年3月20日(金)
合否判定ミス 1人追加合格 舞鶴高専	読売新聞	令和2年3月20日(金)
舞鶴高専で入試合否ミス、1人追加合格	産経新聞	令和2年3月20日(金)
合格判定入力ミス 1人を追加合格に 舞鶴高専	京都新聞	令和2年3月20日(金)

Annual Report 2019

– Education and Research Activities –



National Institute of Technology, Maizuru College

No.16 April 2020